

四日市市
子ども・子育てに関するアンケート調査
【集計結果速報版】

平成 26 年 1 月

調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、「四日市市子ども・子育て支援事業計画」の策定に向けた基礎資料とすることを目的として、就学前児童（0～5歳児）及び小学校児童（1～6年生）の保護者の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために実施しました。

2. 調査の方法

調査対象地域	四日市市全域
調査対象者	対象年齢児童のいる保護者
調査期間	平成25年11月～12月
調査方法	郵送による配布・回収

3. サンプル数及び有効回収数

調査種別	配布数	回収数	回収率
就学前児童調査	3,000	1,920	64.0%
小学校児童調査	1,300	799	61.5%

4. 注意事項

集計は、すべてパーセントで示しましたが、小数点第2位で四捨五入しているため、パーセントの合計が100.0%にならない場合もあります。

複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%をこえる場合があります。

グラフ及び表のN数（number of case）は、「無回答」や「不明」を除く有効標本数（集計対象者総数）を表しております。

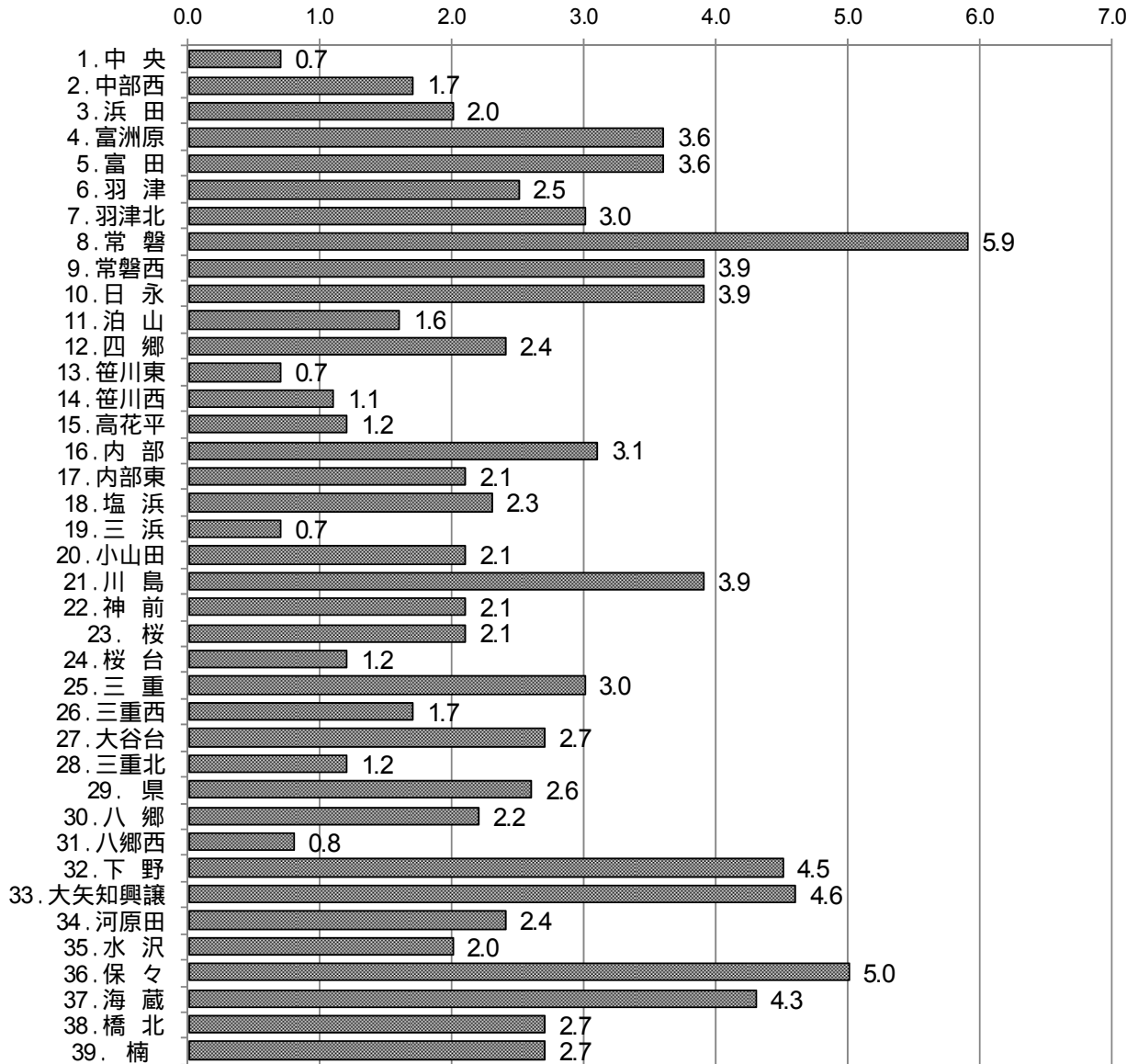
5. 調査の内容

調査項目	就学前児童用	小学校児童用
1 お住まいの地域	問1	問1
2 子どもと家族の状況	問2～6	問2～6
3 子どもの育ちをめぐる環境	問7～7-	問7～7-
4 保護者の就労状況	問8～15-	問8～15-
5 定期的な教育・保育事業の利用状況と利用希望	問16～18	
6 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望	問19～20	問19～20
7 子どもの病気の際の対応	問21～21-	問21～21-
8 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用状況	問22～24-	問22～22-
9 小学校就学後の放課後の過ごし方	問25	問16～20
10 子育て支援事業の利用状況と利用希望	問26～27	
11 育児休業など職場の両立支援制度	問28～29-	
12 子育て全般	問30～34	問23～31

【就学前児童用調査結果・速報】

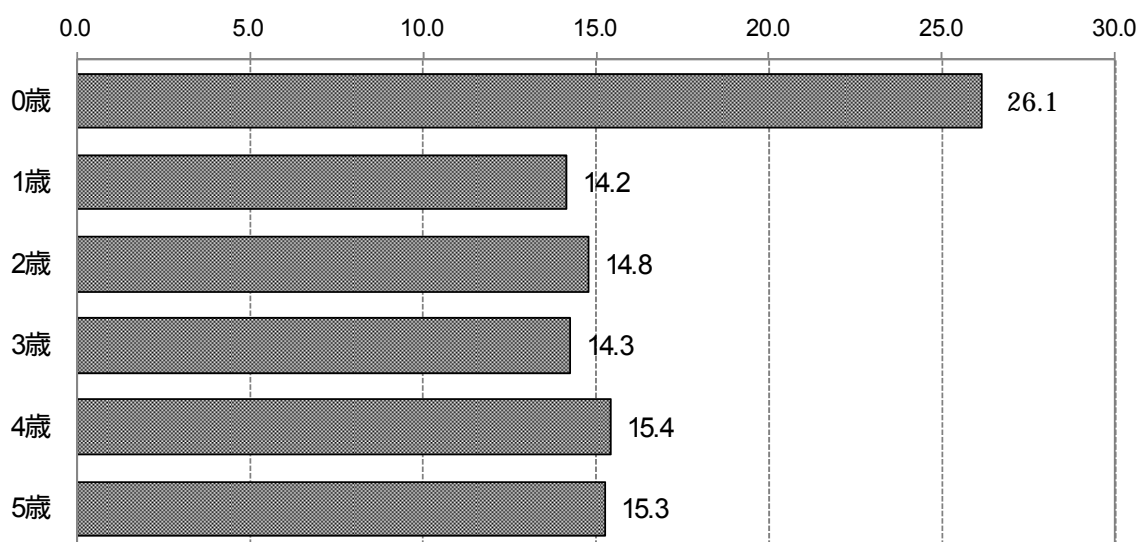
お住まいの地域についてうかがいます

問 1 お住まいの地域の小学校区は、どちらですか。(はひとつ)【N=1,788】

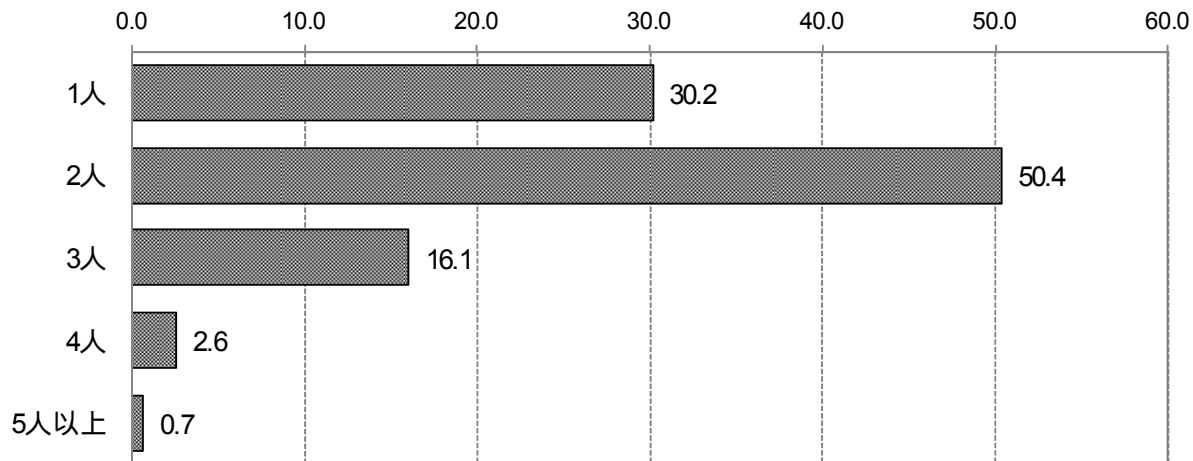


封筒のあて名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます

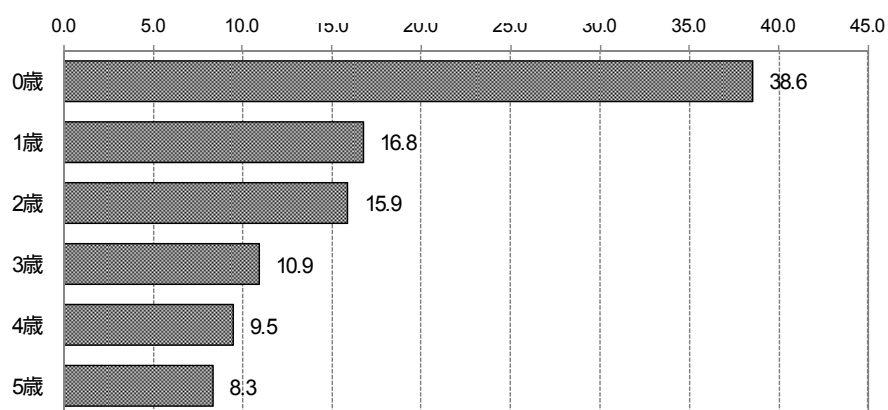
問2 あて名のお子さんの生年月月をご記入ください。(数字で記入)【N=1,893】



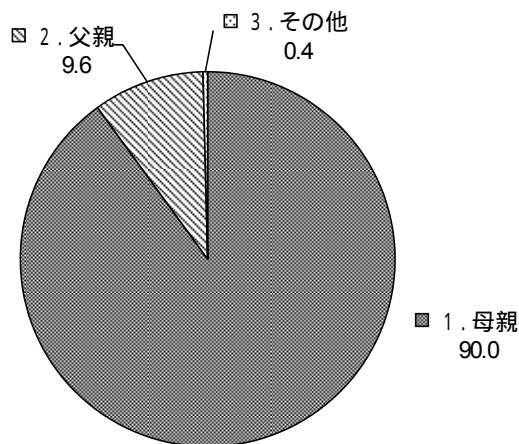
問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。【N=1,878】



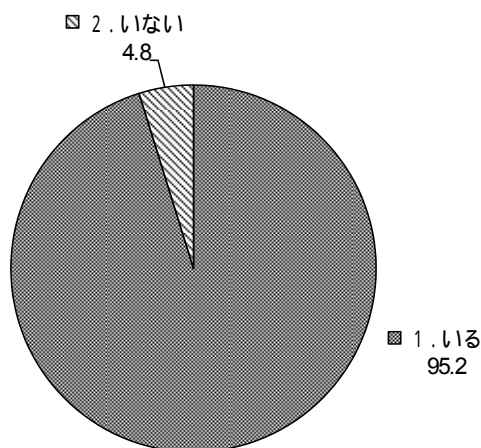
また、2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月月をご記入ください。(数字で記入)【N=1,307】



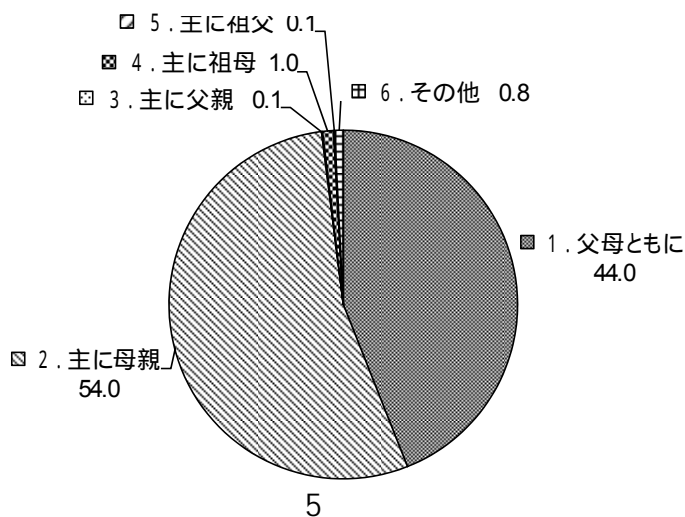
問 4 このアンケートにご回答いただいている方の、あて名のお子さんからみた関係をお答えください。(はひとつ)【N=1,902】



問 5 このアンケートにご回答いただいている方に、配偶者はいらっしゃいますか。(どちらかに)【N=1,893】



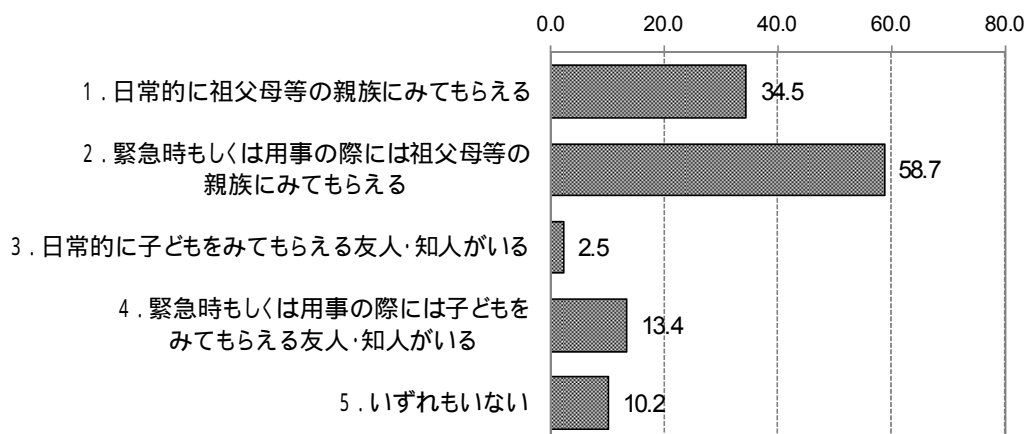
問 6 あて名のお子さんの子育てを主に行っている方は、あて名のお子さんからみて、どなたですか。(はひとつ)【N=1,902】



子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

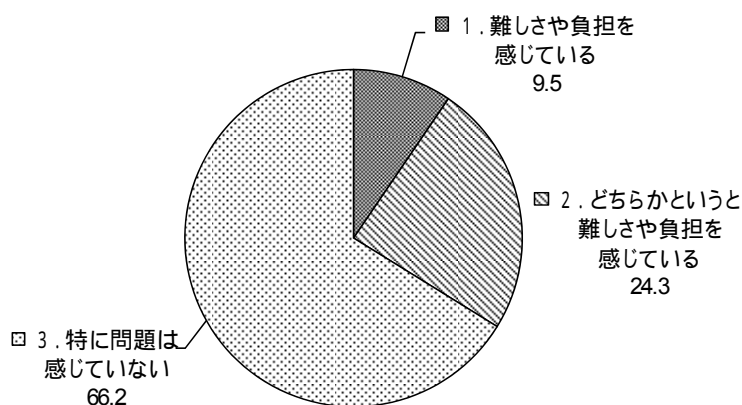
問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに)【N=1,888】

日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人がいるかどうかについては、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が58.7%で最も多くなっています。次いで、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が34.5%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が13.4%が続いています。一方、10.2%の人が「いずれもない」と回答しています。



問7 - 問7で「1」～「4」に をつけた方にうかがいます。お子さんをみてもらっている状況について、あなたはどのように感じていますか。(はひとつ)【N=1,683】

お子さんを親族や知人にみてもらっている状況については、「難しさや負担を感じている」(9.5%)と「どちらかというとなんか難しさや負担を感じている」(24.3%)の負担感を感じている方を合わせると33.8%となっていますが、「特に問題は感じていない」と回答した方が66.2%と、負担感を感じている人の約2倍に上っています。

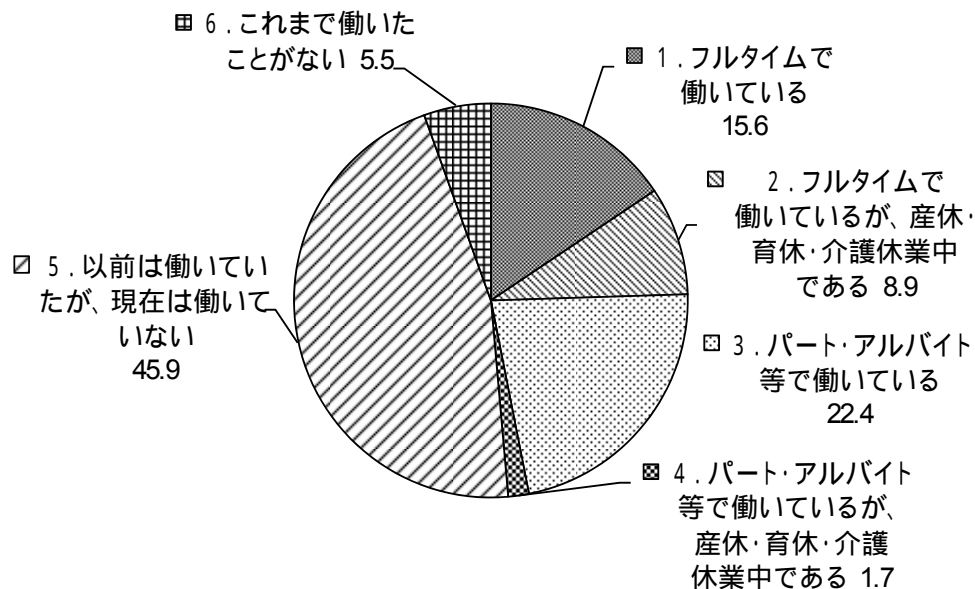


問7 - 問7で「5. いずれもない」に をつけた方にうかがいます。子育てをする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。(自由記述)
【今回の資料では省略します】

あて名のお子さんの母親の就労状況についてうかがいます

問 8 あて名のお子さんの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（ はひとつ）【N=1,886】

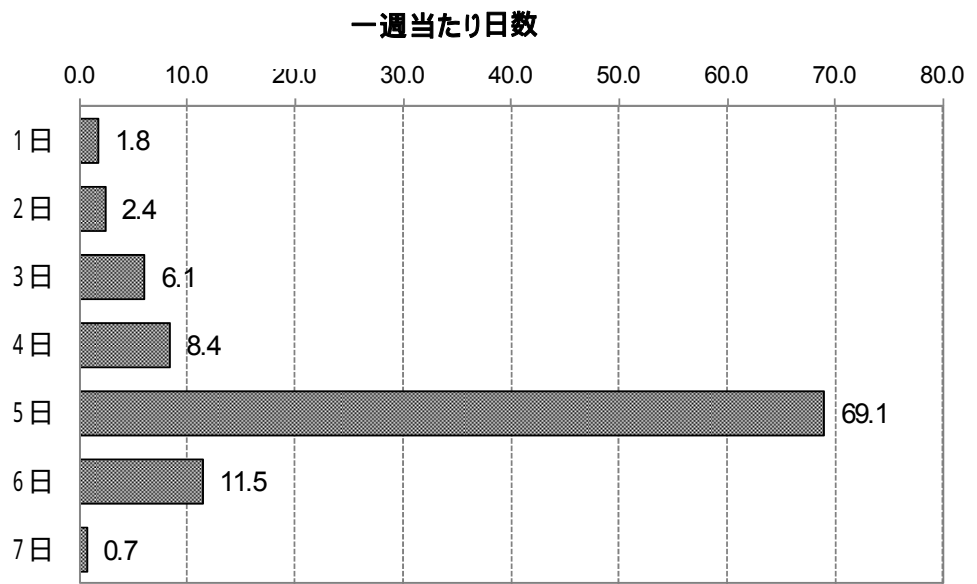
母親の現在の就労状況は、「以前は働いていたが、現在は働いていない」が45.9%で最も多く、「これまで働いたことがない」を加えると、半数を超える人が「働いていない」という状況です。また、「パート・アルバイト等で働いている」（22.4%）、「フルタイムで働いている」（15.6%）と続き、産休・育休・介護休業中の人を加えると、「フルタイム」と「パート・アルバイト」の人がほぼ同率となっています。



問9 問8で「1」～「4」に をつけた方にうかがいます。
 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。（数字で記入）

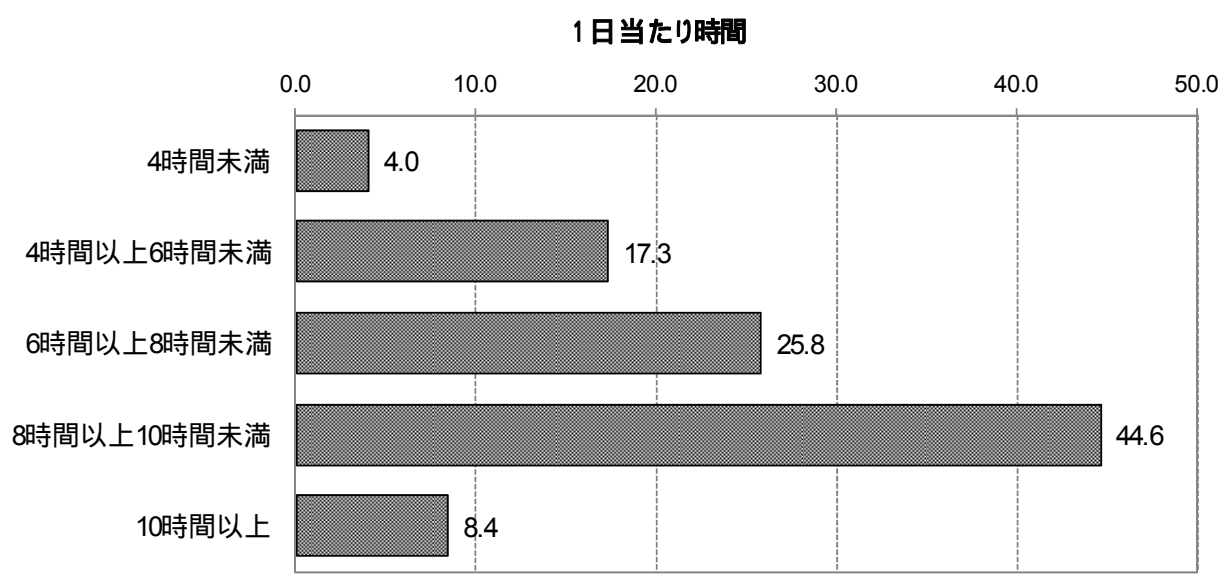
（1）就労日数【N=722】

母親の週当たりの就労日数は、「5日」が70%近くを占め最も多くなっています。



（1）就労時間【N=718】

1日当たりの就労時間は、「8時間以上10時間未満」が44.6%で最も多くなっています。

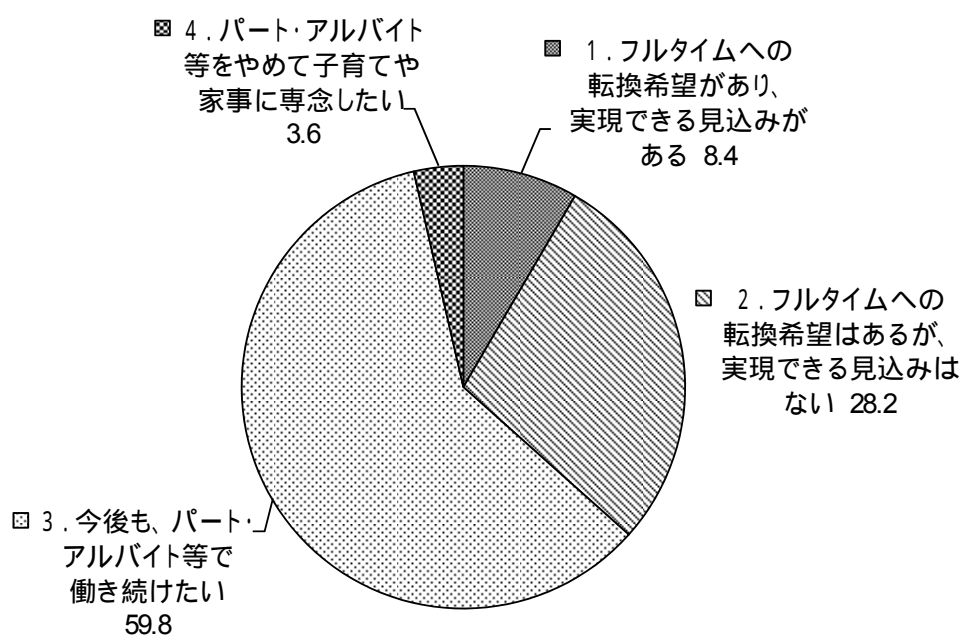


（2）家を出る時刻、帰宅時刻

【今回の資料では省略します】

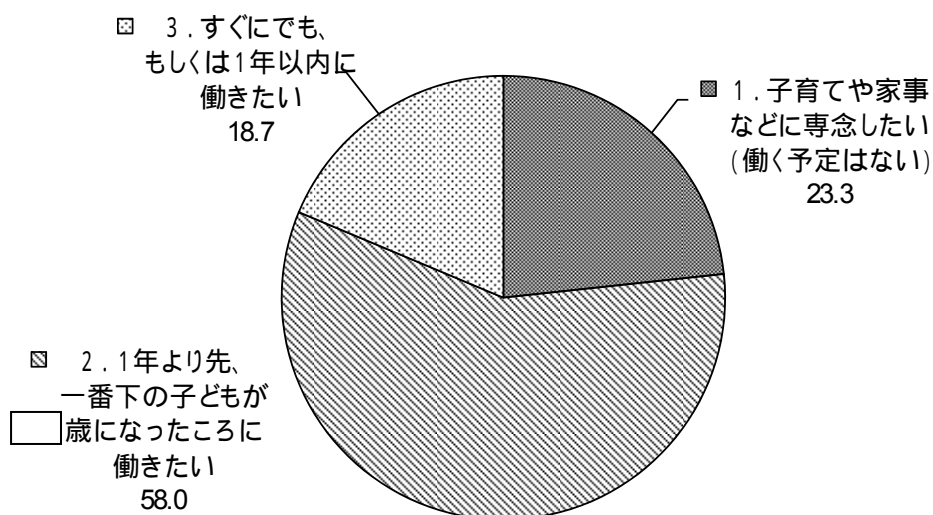
問 10 問 8 で「3」または「4」に つけた方にかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。(はひとつ)【N=450】

現在パート・アルバイト等で働いている方のフルタイムへの転換希望は、「今後も、パート・アルバイト等で働き続けたい」が 59.8%で最も多いという状況です。次いで、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 28.2%で続き、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は 8.4%であり、「フルタイム」への転換を希望する人が約3分の1となっています。

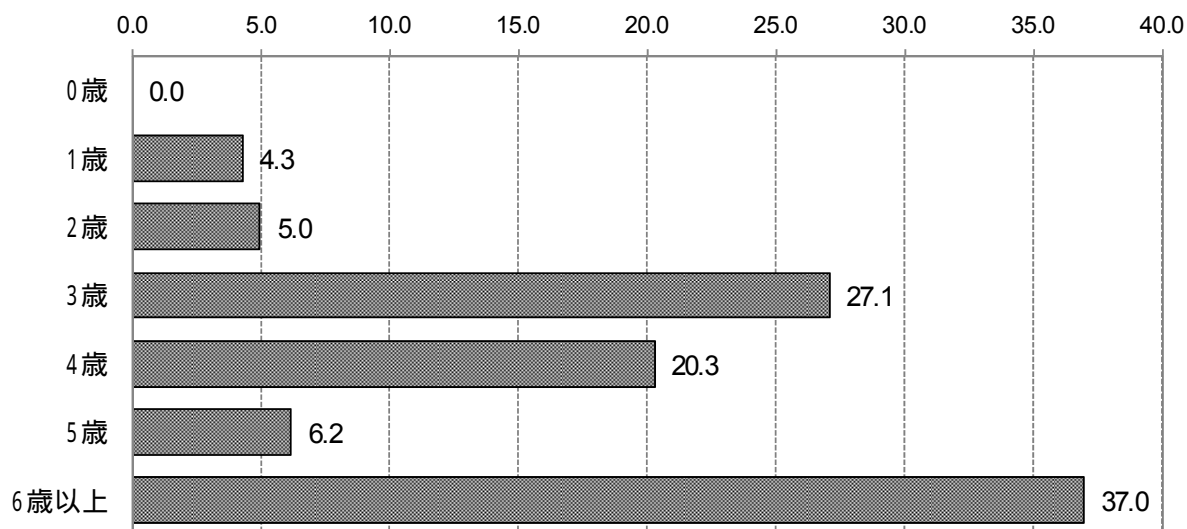


問 11 問 8 で「5」または「6」に つけた方にうかがいます。
働きたいという希望はありますか。(はひとつ)【N=919】

現在働いていない方の就労希望は、「1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに働きたい」が58.0%を占めて最も多くなっており、「すぐにも、もしくは1年以内に働きたい」(18.7%)を合わせると『働きたい』方は76.7%に上っています。一方、「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」人は23.3%で2番目に多くなっています。
1番下の子どもが「6歳以上」になったら働きたいと考える方が37.0%で最も多く、次いで、「3歳」(27.1%)、「4歳」(20.3%)と続いています。



「2」を選んだ方は希望する年齢を記入してください。【N=516】



「3」を選んだ方は希望する働き方1つにし、パートタイム・アルバイト等を希望の方は希望就労日数・時間を数字で記入してください。

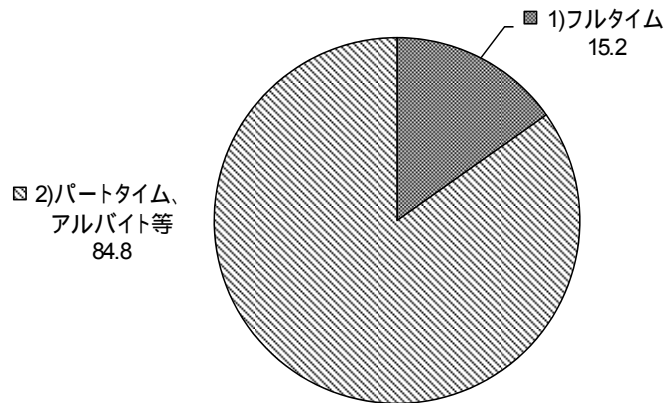
【N=165】

すぐにも、もしくは1年以内に働きたい方の希望する働き方は、「パートタイム、アルバイト等」が84.8%を占め、「フルタイム」は15.2%となっています。

パートタイム、アルバイト等で就労する場合の1週当たりの希望日数は、「4日」が34.3%で最も多く、次いで、「5日」(31.4%)、「3日」(29.3%)と続いています。

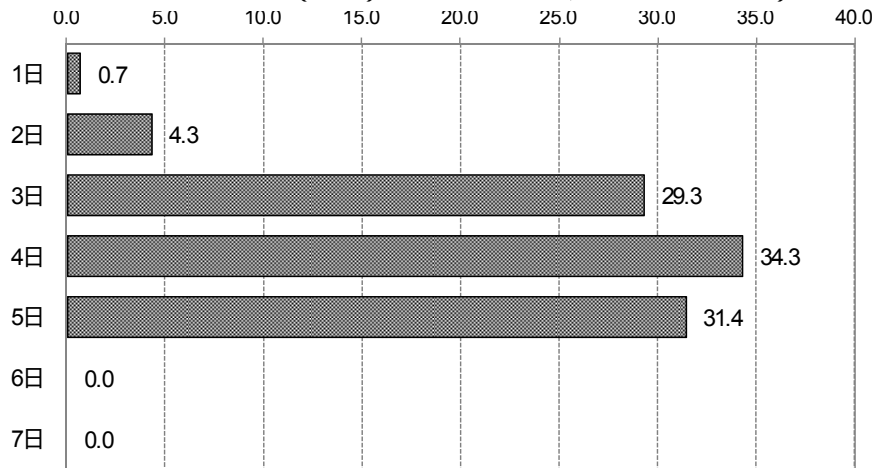
1日当たりの希望時間は、「4～6時間」が70%以上を占め、最も多くなっています。

希望する働き方



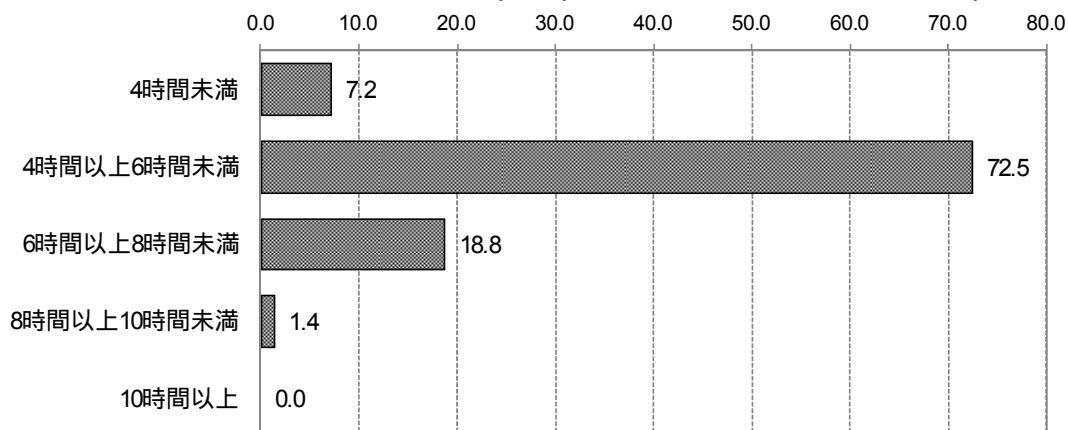
1週当たりの日数 (2) パートタイム、アルバイト等)

【N=140】



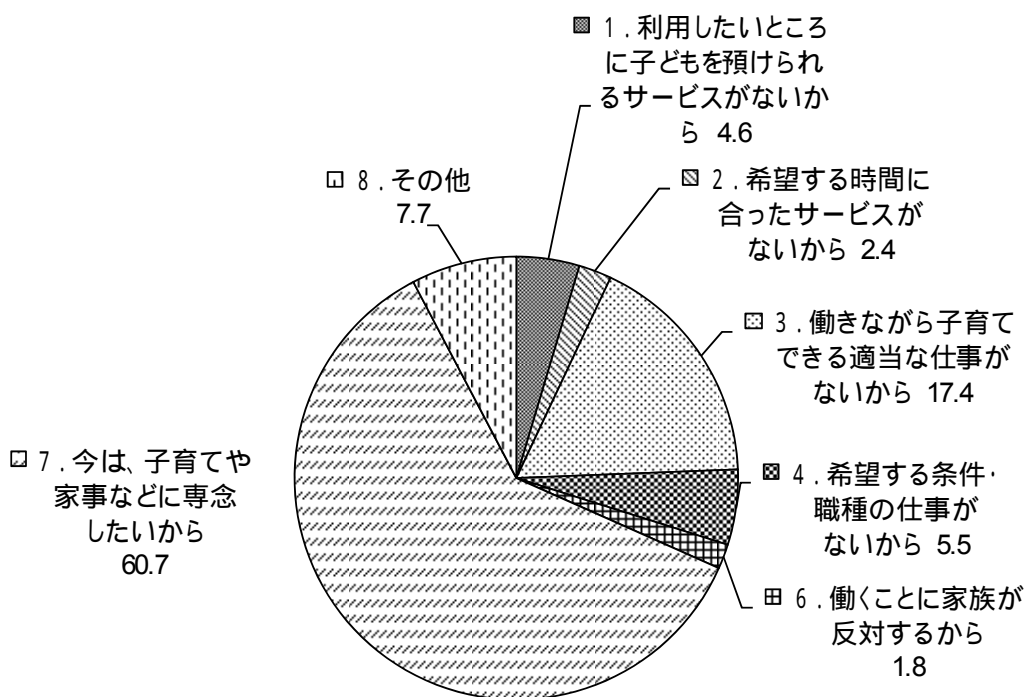
1日当たりの時間 (2) パートタイム、アルバイト等)

【N=138】



問 11 - 問 11 で「 2 」または「 3 」に をつけた方にうかがいます。
 働く希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。(もっとも近いもの 1 つに)【N=677】

働く希望がありながら働いていない理由は、「今は、子育てや家事などに専念したいから」が 60.7%を占めます。次いで、「働きながら子育てできる適当な仕事がないから」(17.4%)、「希望する条件・職種の仕事がないから」(5.5%)が続いています。

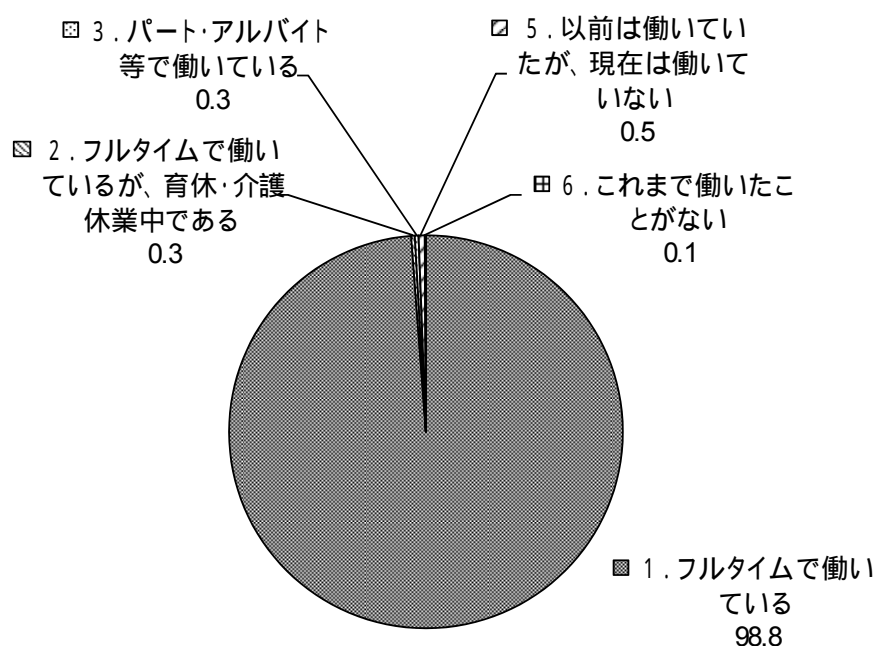


あて名のお子さんの父親の就労状況についてうかがいます

問 12 あて名のお子さんの父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（ はひとつ）【N=1,799】

父親の現在の就労状況は、「フルタイムで働いている」が98.8%を占めています。「以前は働いていたが、現在は働いていない」は0.5%（9人）、「パート・アルバイト等で働いている」は0.3%（6人）となっています。

一方、「フルタイムで働いているが、育休・介護休業中である」は0.3%（5人）となっています。

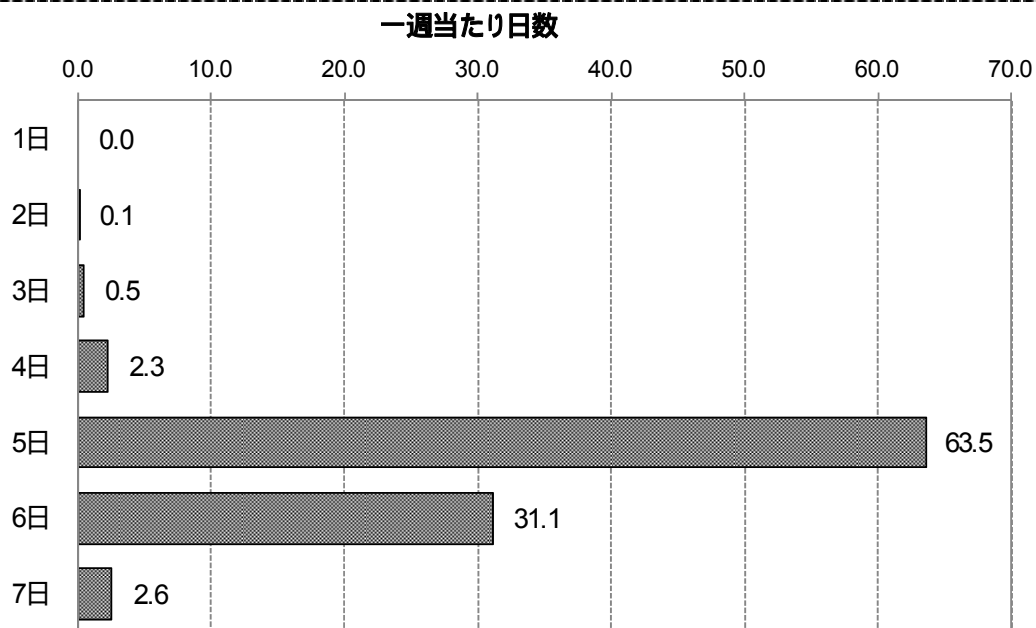


問 13 問 12 で「1」～「4」に をつけた方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。（数字で記入）

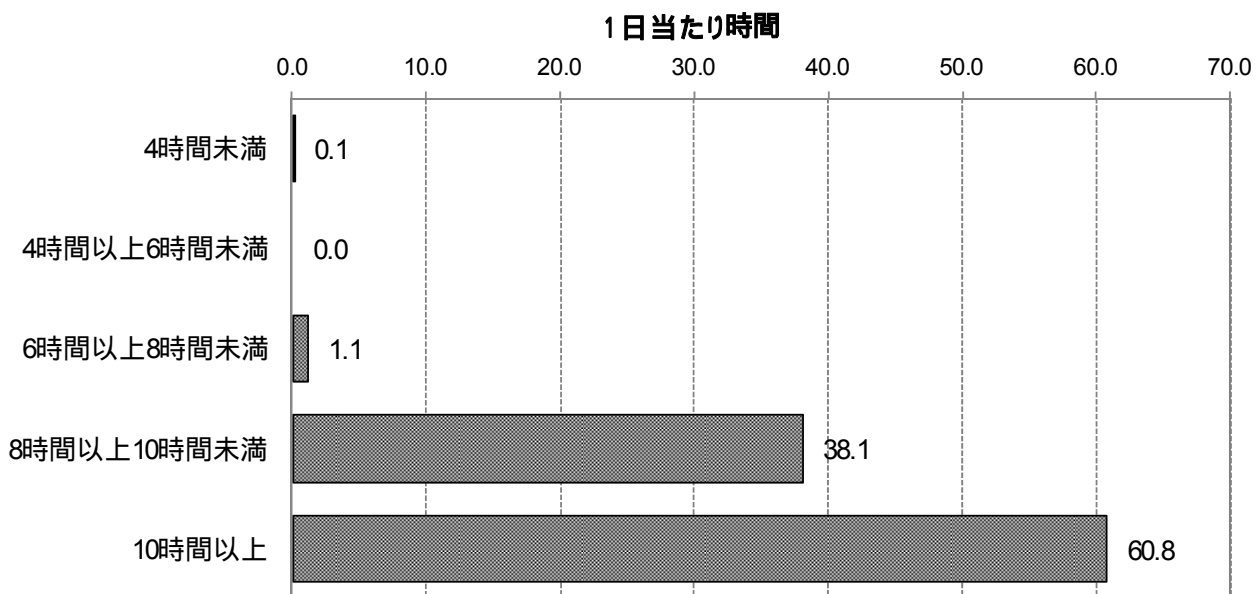
(1) 就労日数【N=1,766】

父親の週当たりの就労日数は、「5日」が63.5%を占め最も多く、次いで、「6日」が31.1%で続いています。



(1) 就労時間【N=1,713】

1日当たりの就労時間は、「10時間以上」が60.8%を占めており、次いで、「8時間以上10時間未満」が38.1%で続いています。

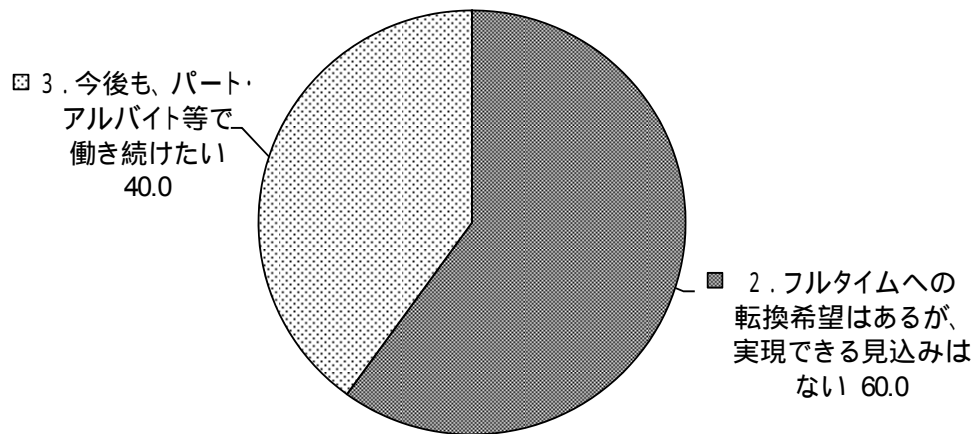


(2) 家を出る時刻、帰宅時刻

【今回の資料では省略します】

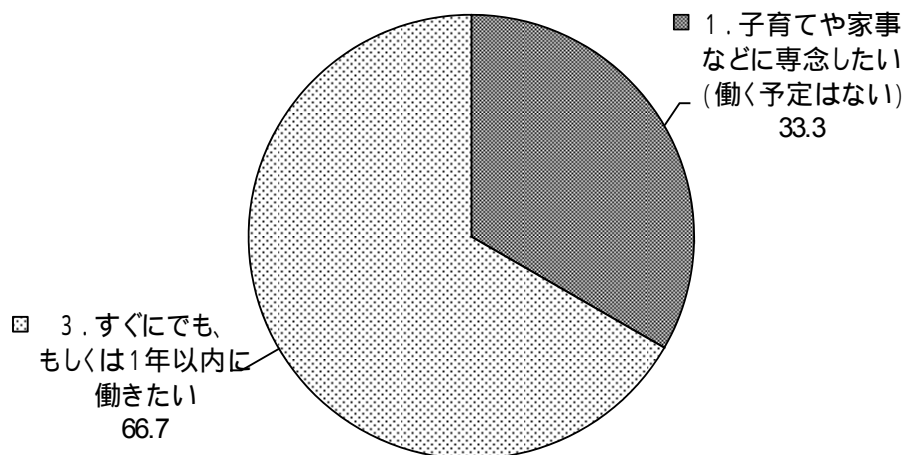
問 14 問 12 で「3」または「4」に をつけた方にうかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。(はひとつ)【N=5】

現在パート・アルバイト等で働いている方のフルタイムへの転換希望は、「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 60.0% (3 人) 「今後も、パート・アルバイト等で働きたい」が 40.0% (2 人) となっています。



問 15 問 12 で「5」または「6」に ○ をつけた方にうかがいます。
働きたいという希望はありますか。(○ はひとつ)【N=9】

現在働いていない方の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が66.7% (6人)を占めています。一方、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」方は33.3%(3人)となっています。
また、「1年より先、一番下の子どもが 歳になったころに働きたい」はいません



【- 2 年齢 回答なし】

【- 3 希望する働き方 回答なし】

【- 3 1週あたり日数 回答なし】

問 15 - 問 15 で「2」または「3」に○をつけた方にうかがいます。
働く希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。(もっとも近いもの1つに○)【N=0】

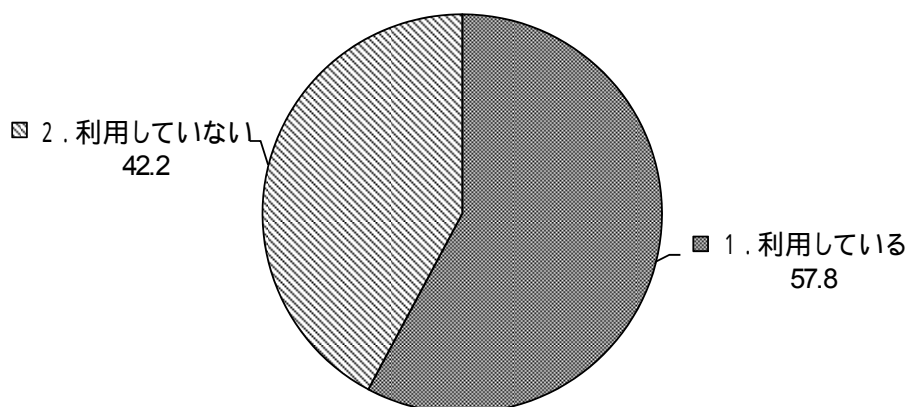
【回答なし】

あて名のお子さんの平日の「定期的な」教育・保育事業の利用状況についてうかがいます

問 16 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。（どちらかに ）【N=1,912】

定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」が57.8%となっています。一方、「利用していない」は42.2%となっています。

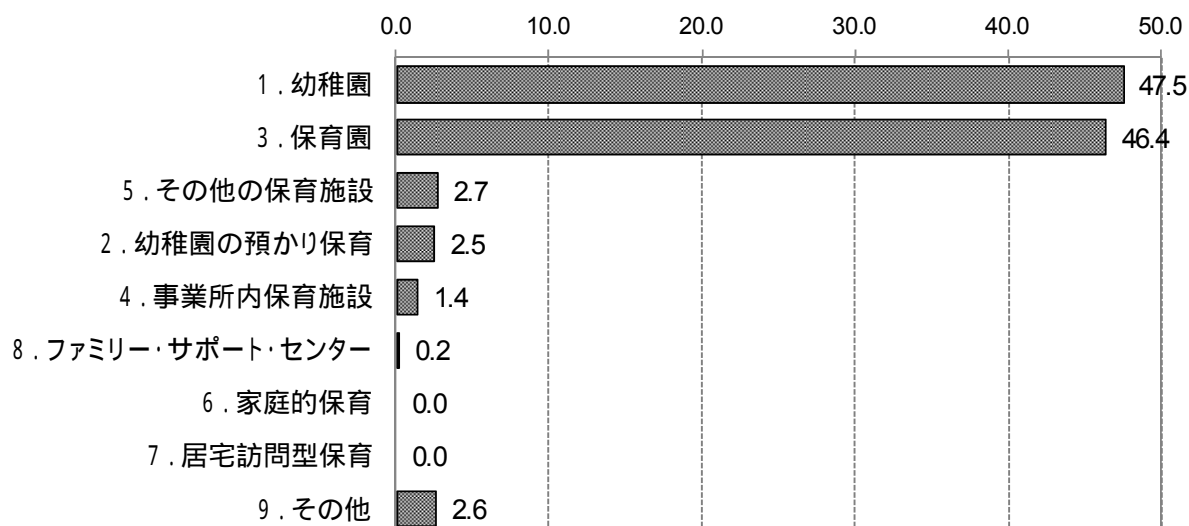
利用状況



問 16 - ~ は、問 16 で「1. 利用している」に をつけた方にうかがいます。

問 16 - あて名のお子さんは、平日、どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。（あてはまるものすべてに ）【N=1,105】

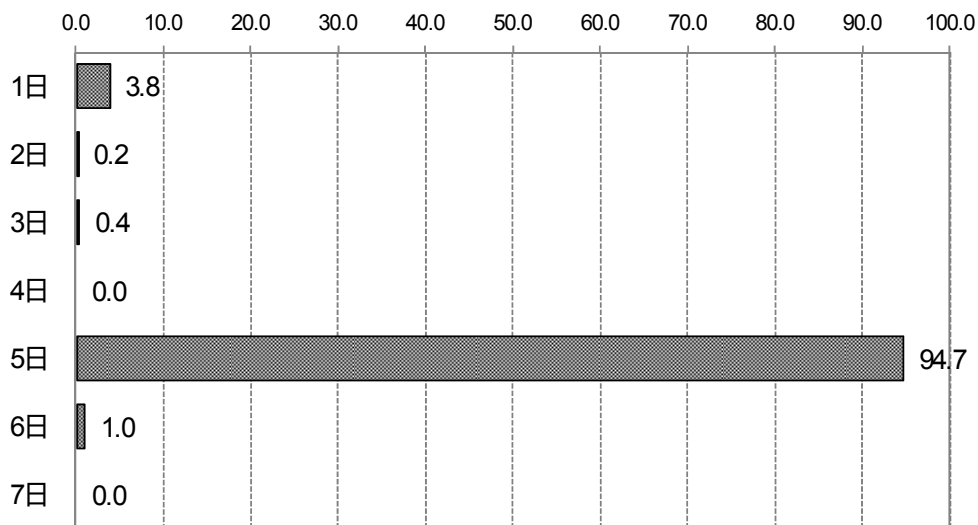
平日に定期的にご利用している教育・保育事業は、「幼稚園」が47.5%を占め最も多いですが、「保育園」が46.4%とその差は僅かです。



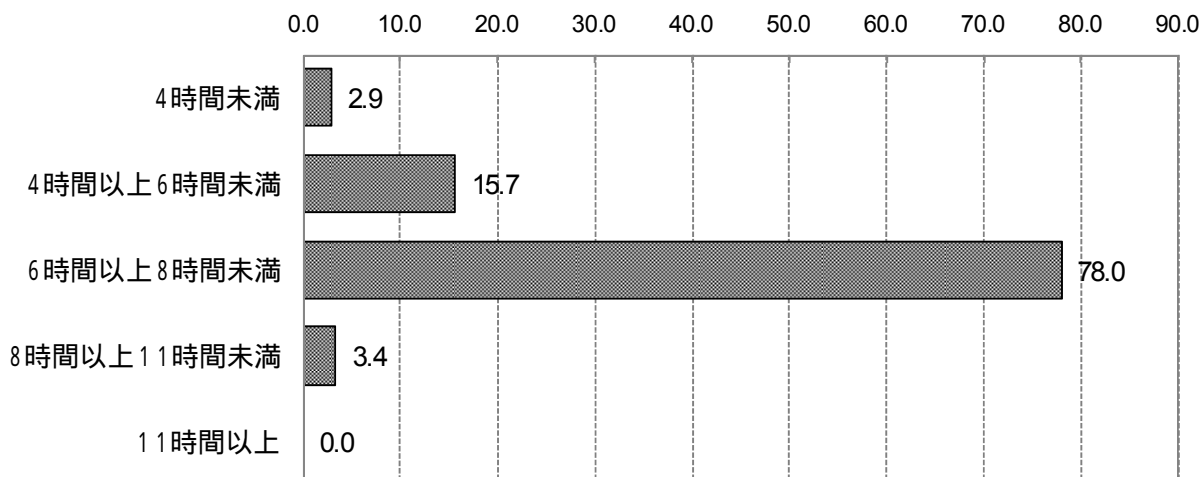
問 16 - 問 16 - で選んだ教育・保育の事業それぞれについてお答えください。
現在、どのくらい利用していますか。（数字で記入）

1. 幼稚園 - 利用日数【N=525】

幼稚園の利用日数は、「5日」が94.7%を占めています。
利用時間は、「6時間以上8時間未満」が78.0%を占め最も多くなっています。

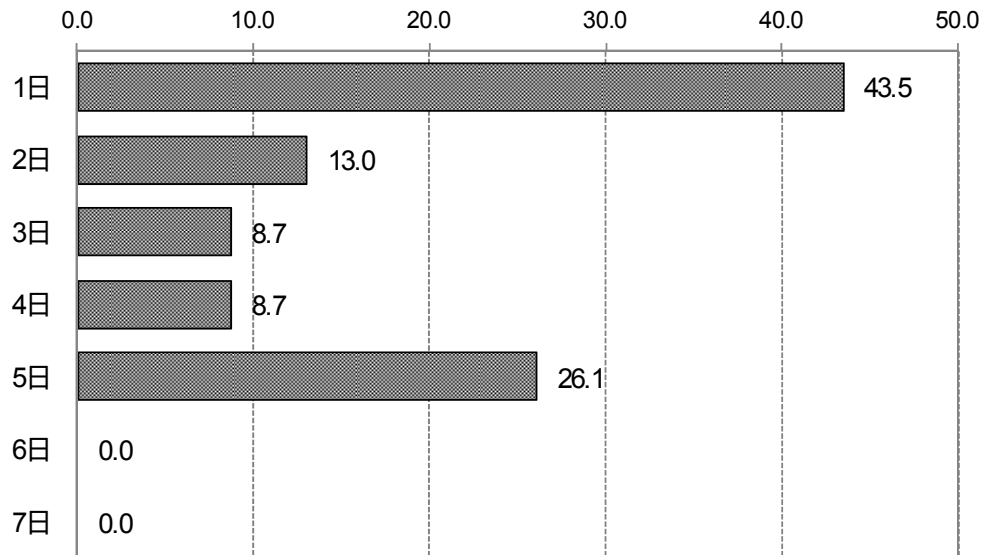


- 利用時間【N=522】

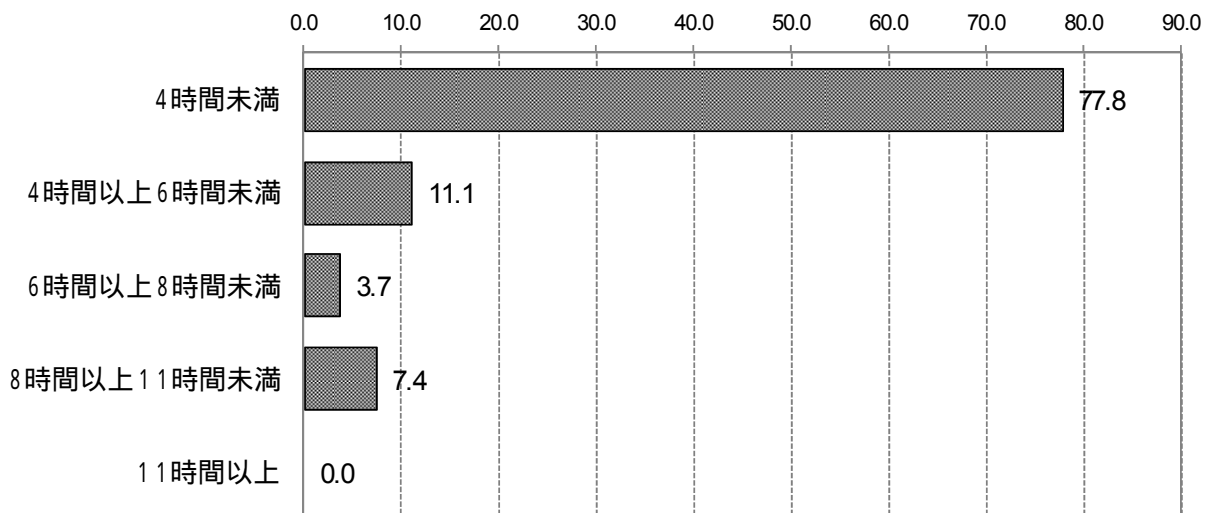


2. 幼稚園の預かり保育 - 利用日数【N=23】

幼稚園預かり保育の利用日数は、「1日」が43.5%（10人）で最も多く、次いで、「5日」が26.1%（6人）が続いています。
利用時間は、「4時間未満」が77.8%を占め最も多くなっています。

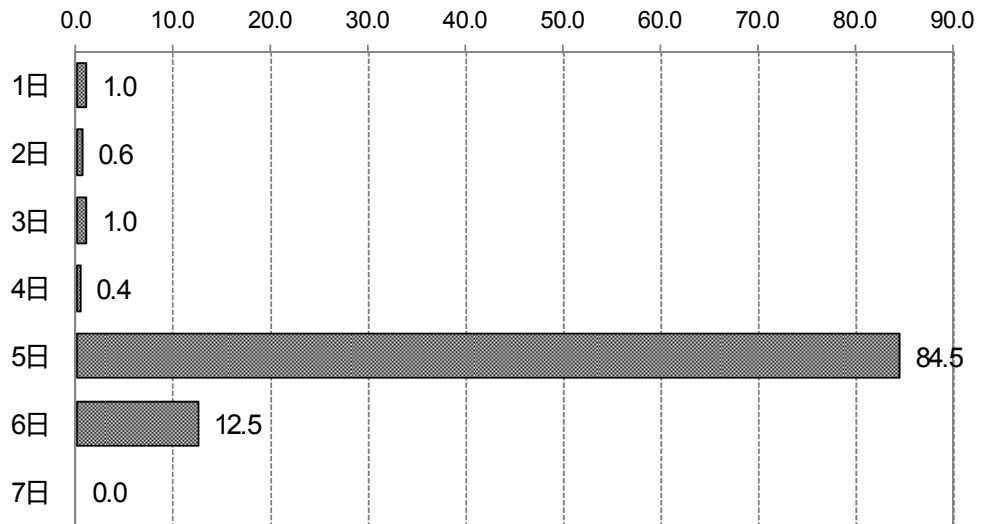


- 利用時間【N=27】

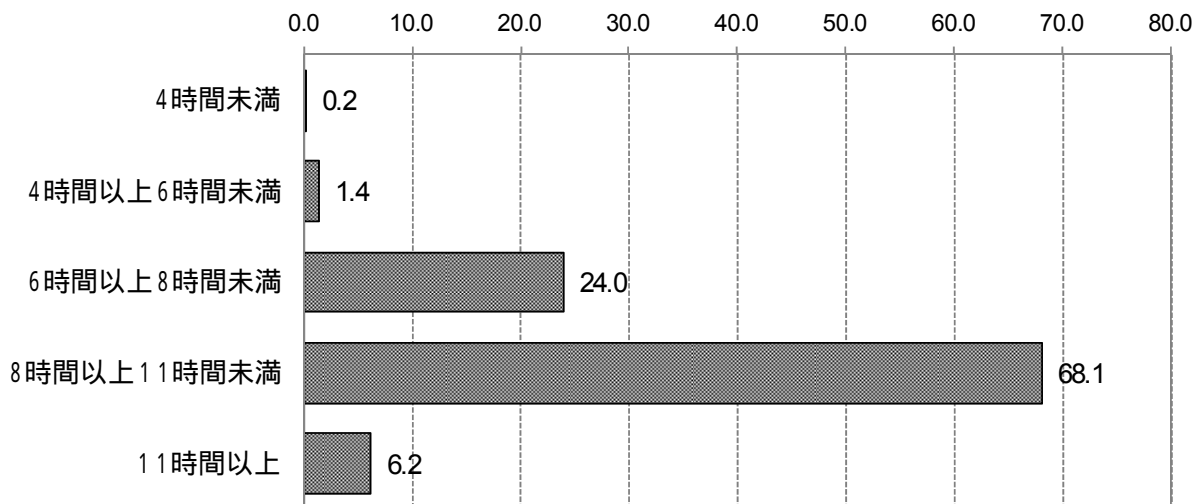


3. 保育園 - 利用日数【N=489】

保育園の利用日数は、「5日」が84.5%を占めており、「6日」も12.5%あります。
利用時間は、「8時間以上11時間未満」が68.1%を占め最も多く、「6時間以上8時間未満」が24.0%で続いています。

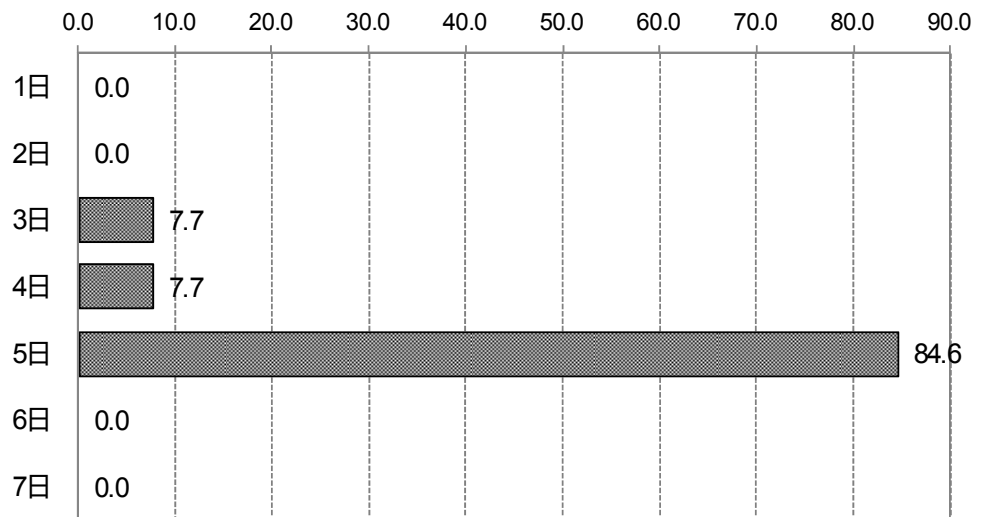


- 利用時間【N=483】

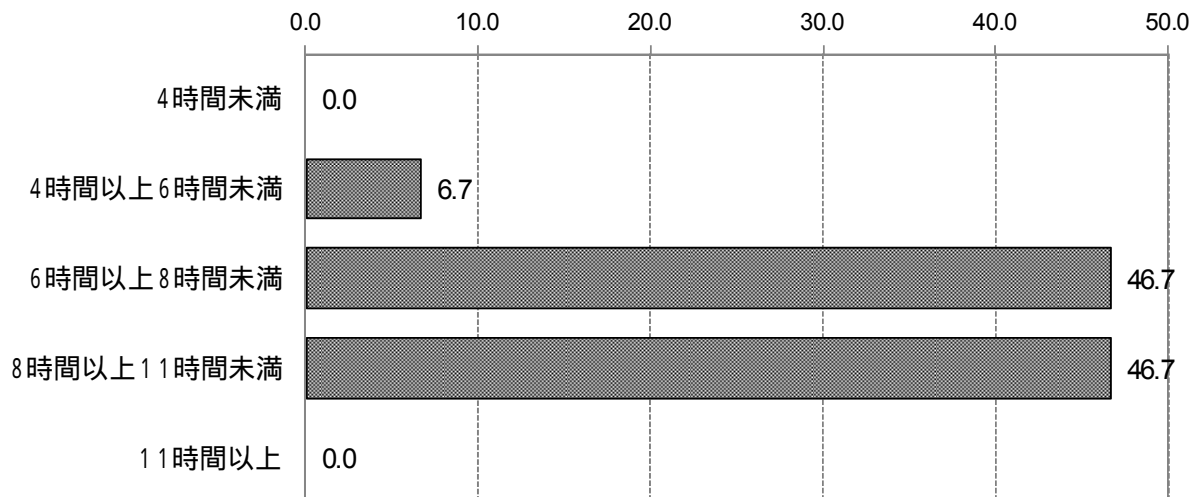


4. 事業所内保育施設 - 利用日数【N=13】

事業所内保育施設の利用日数は、「5日」が84.6%（11人）を占めています。
利用時間は、「6時間以上8時間未満」と「8時間以上11時間未満」がそれぞれ46.7%（7人）を占めています。



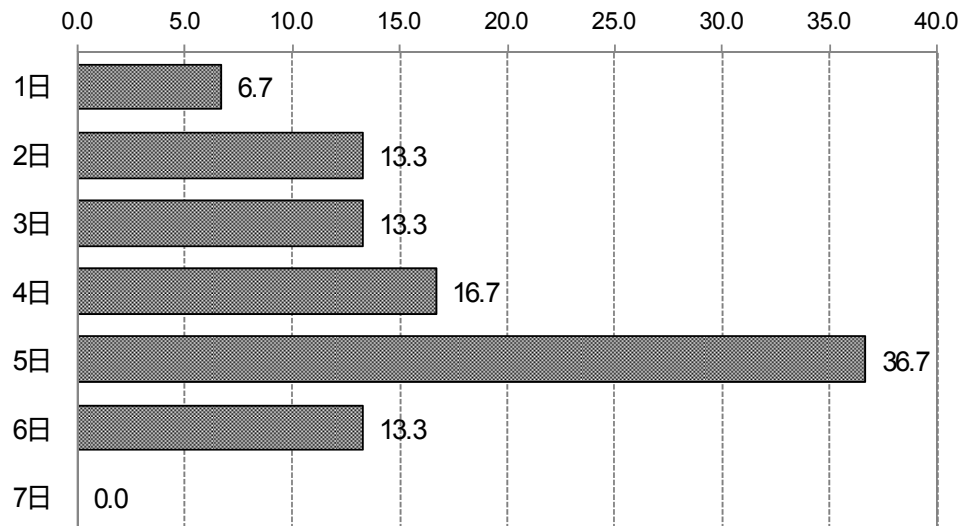
- 利用時間【N=15】



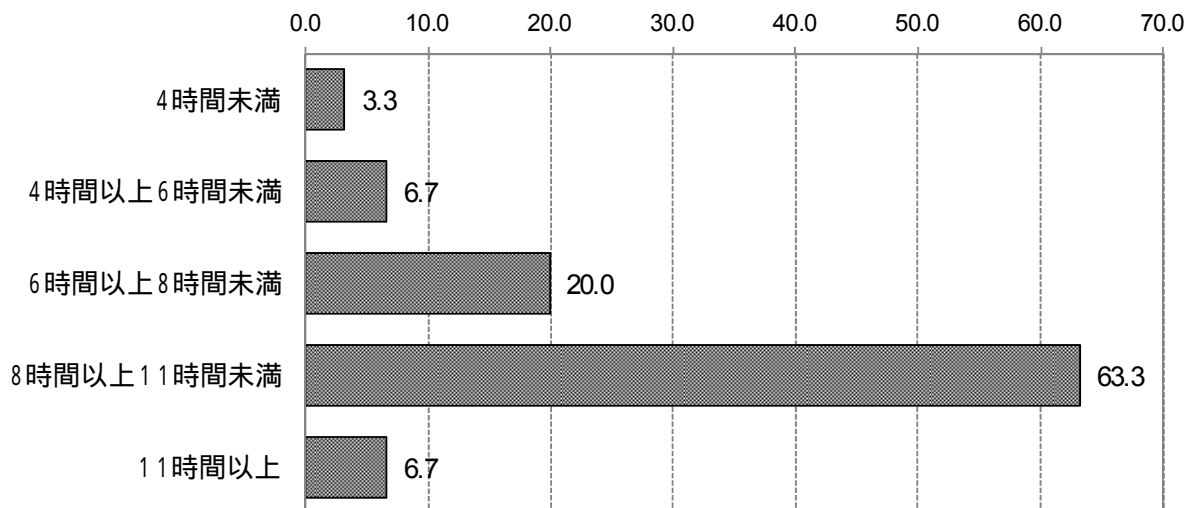
5. その他の保育施設 - 利用日数【N=30】

その他の施設の利用日数は、「5日」が36.7%（11人）で最も多く、次いで「4日」が16.7%（5人）、「3日」と「2日」が13.3%（4人）で続いています。

利用時間は、「8時間以上11時間未満」が63.3%（19人）で最も多く、次いで、「6時間以上8時間未満」が20.0%（6人）で続いています。



- 利用時間【N=30】



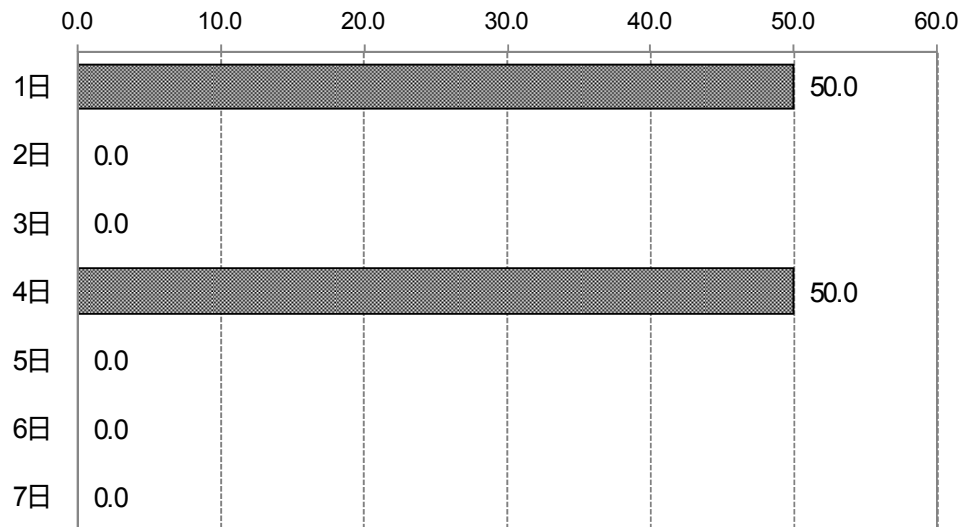
6. 家庭的保育、7. 居宅訪問型保育

【該当なし】

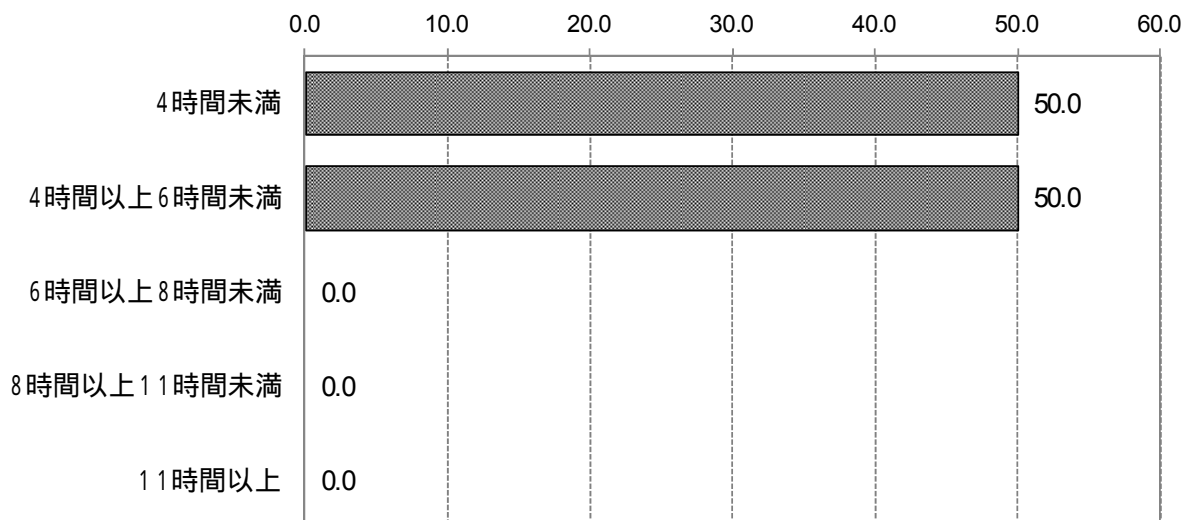
8 . ファミリー・サポート・センター - 利用日数【N=2】

ファミリー・サポート・センターの利用日数は、「1日」と「4日」が50%（1人）ずつとなっています。

利用時間は、「4時間未満」と「4時間以上6時間未満」が50%（1人）ずつとなっています。

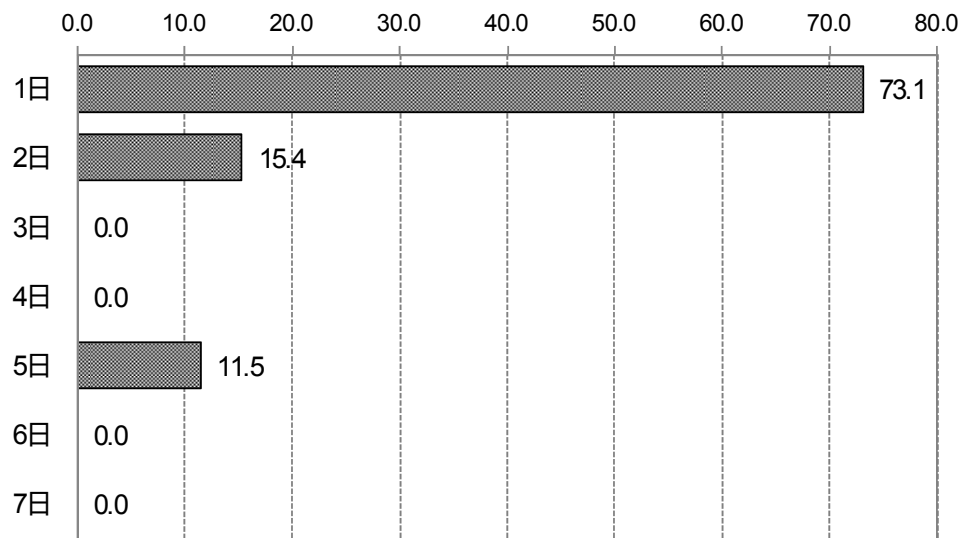


- 利用時間【N=2】

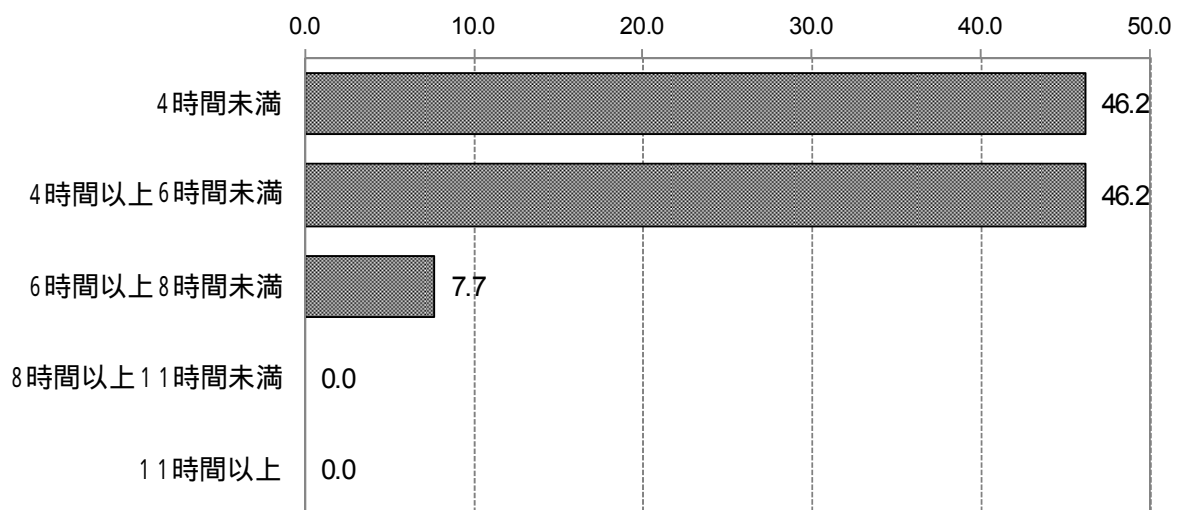


9 . その他 - 利用日数【N=26】

その他の利用日数は、「1日」が73.1%（19人）で最も多く、次いで「2日」が15.4%（4人）、「5日」が11.5%（3人）が続いています。
利用時間は、「4時間未満」と「4時間以上6時間未満」が46.2%（12人）ずつ、「6時間以上8時間未満」が7.7%（2人）となっています。



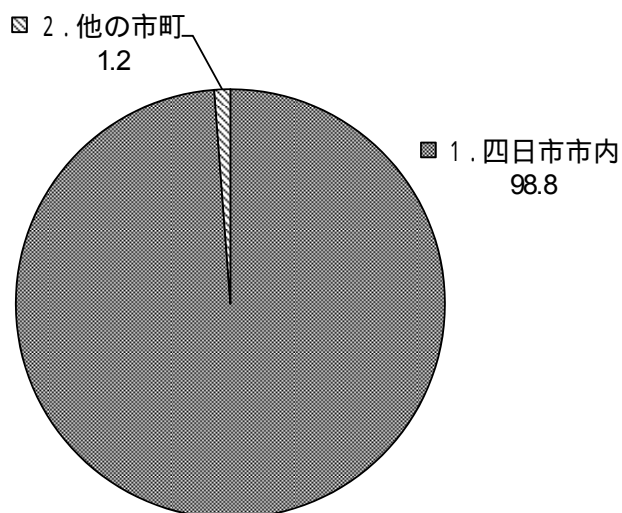
- 利用時間【N=26】



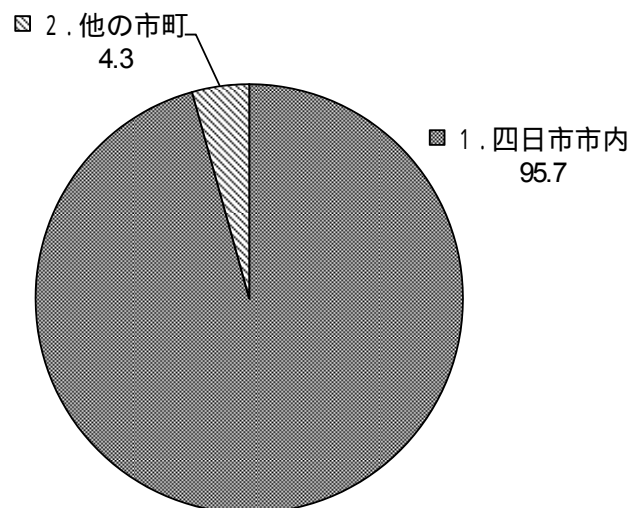
問 16 - 問 16 - で選んだ教育・保育の事業それぞれについてお答えください。
 問 16 - で選んだ教育・保育事業の実施場所はどこにありますか。（ど
 ちらかに ）

教育・保育事業の実施場所は、「幼稚園」「幼稚園の預かり保育」「保育園」「ファミリー・サポート・センター」「その他」では「四日市市内」が90%以上を占めています。
 一方、「事業所内保育施設」と「その他保育施設」では「四日市市内」は80%前後となっており、「他の市町」が20%前後を占めています。

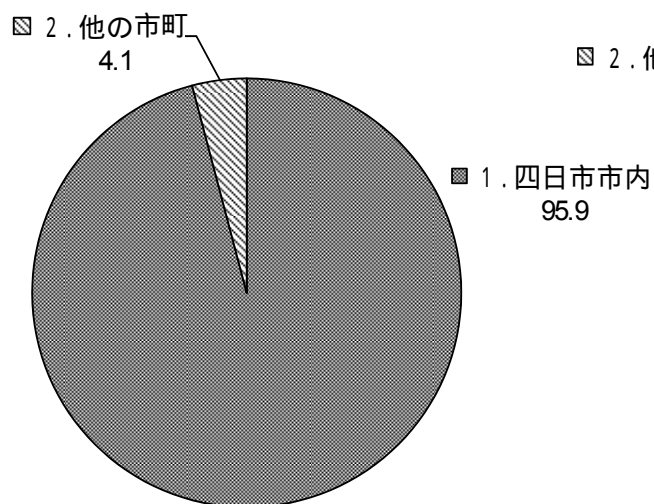
1. 幼稚園【N=516】



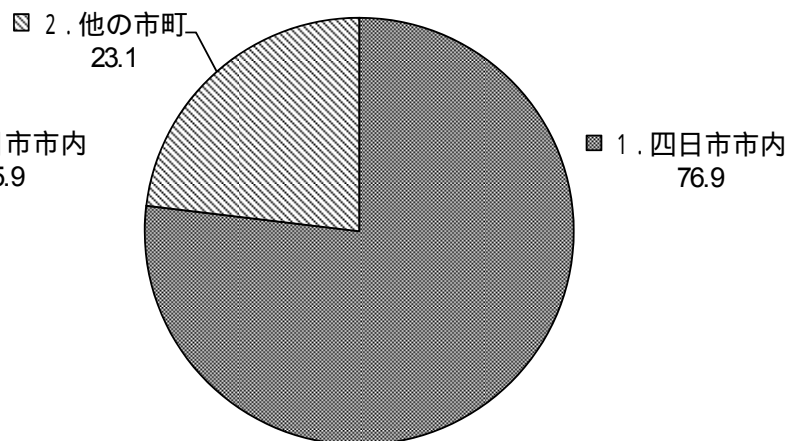
2. 幼稚園の預かり保育【N=23】



3. 保育園【N=483】



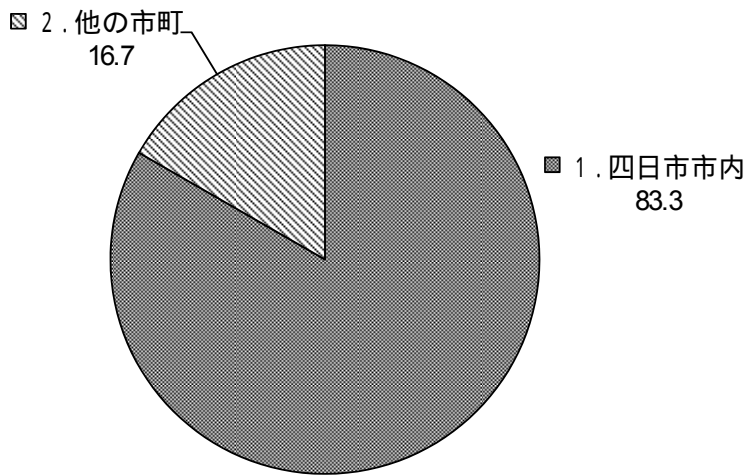
4. 事業所内保育施設【N=13】



5. その他の保育施設【N=30】

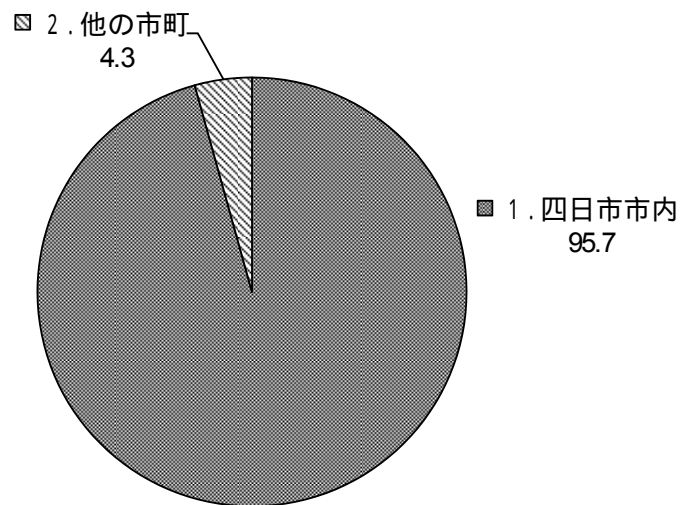
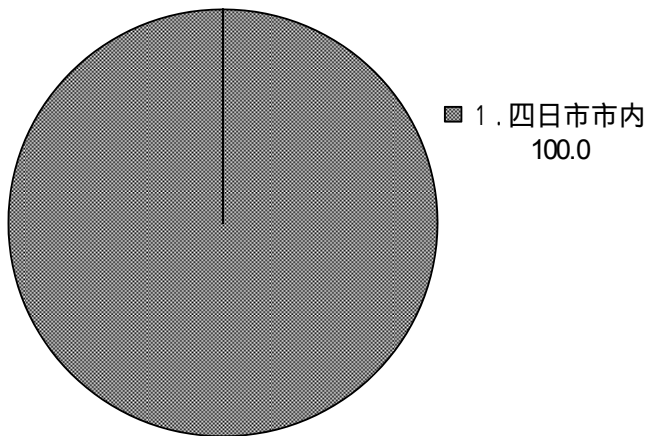
6. 家庭的保育、7. 居宅訪問型保育

【該当なし】



8. ファミリー・サポート・センター【N=2】

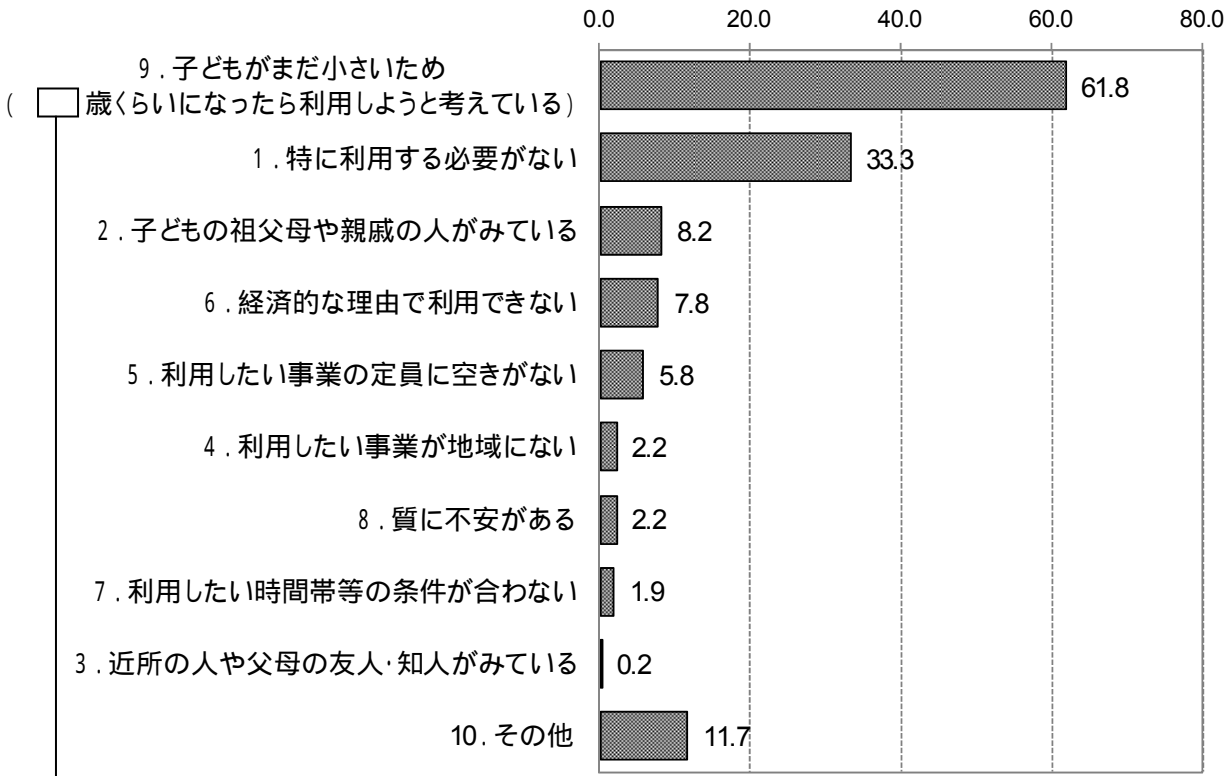
9. その他【N=23】



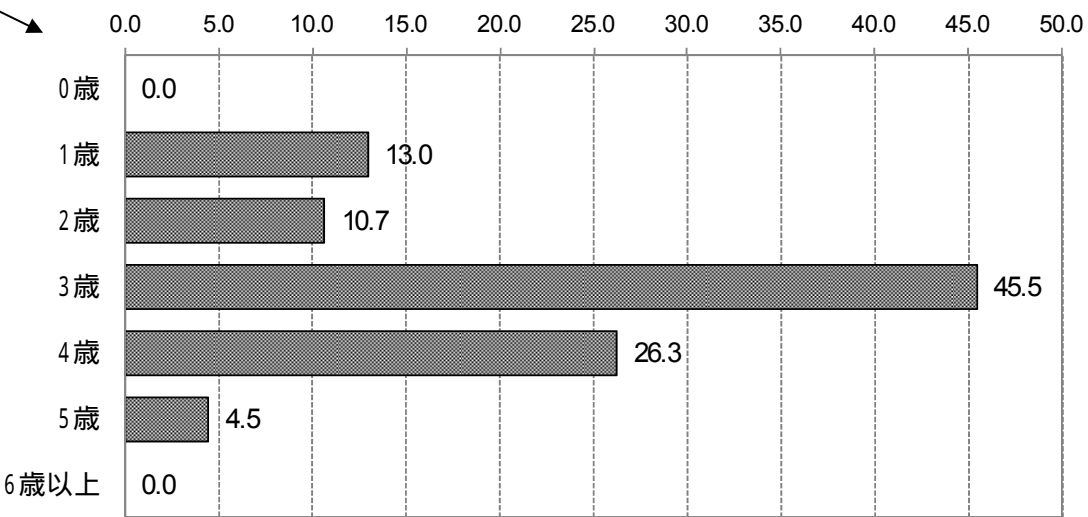
問 16 で「2. 利用していない」に つけた方にうかがいます。

問 16 - 利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)【N=806】

教育・保育事業を利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため(歳くらいになったら利用しようと考えている)」が 61.8%で最も多く、次いで、「特に利用する必要がない」が 33.3%で続いています。
 子どもが「3 歳」になったら利用しようと考えている方が 45.5%で最も多く、次いで、「4 歳」(26.3%)、「1 歳」(13.0%)、「2 歳」(10.7%)、「5 歳」(4.5%)と続いています。



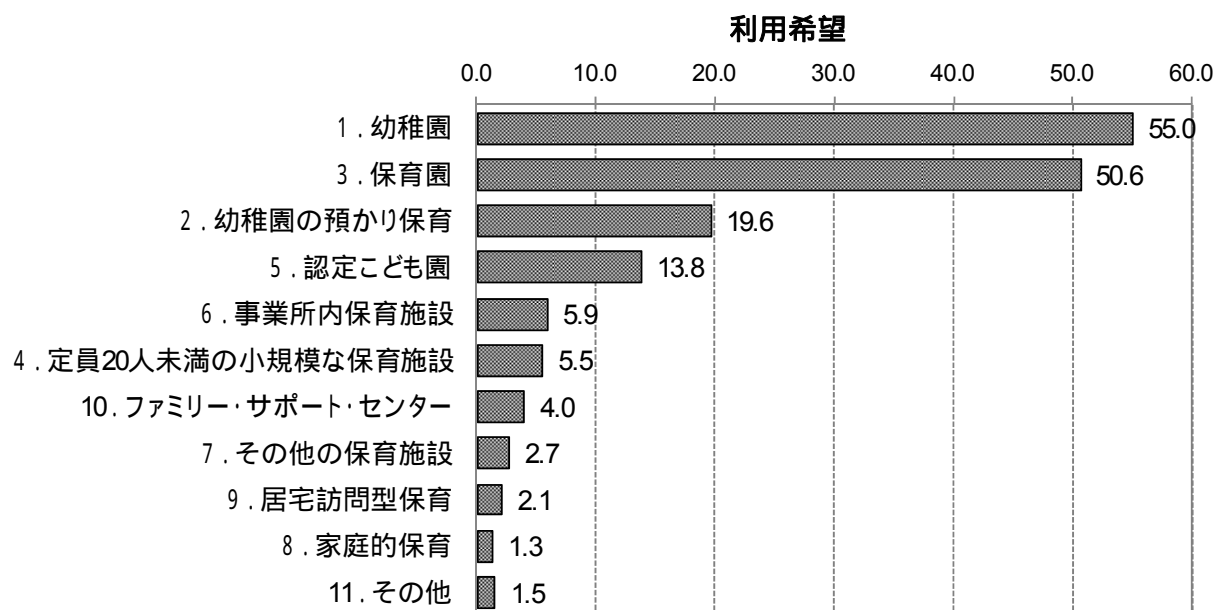
【N=486】



すべての方にうかがいます。

問 17 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。（あてはまるものすべてに ）【N=1,787】

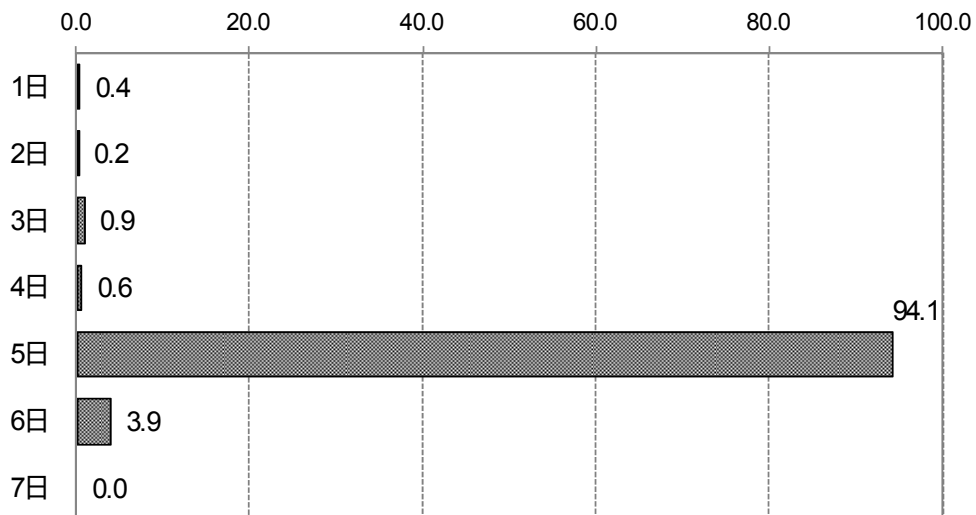
平日に定期的に利用したい教育・保育事業については、「幼稚園」が55.0%で最も多く、僅かな差で「保育園」が50.6%となっています。以下、「幼稚園の預かり保育」(19.6%)、「認定子ども園」(13.8%)と続いています。



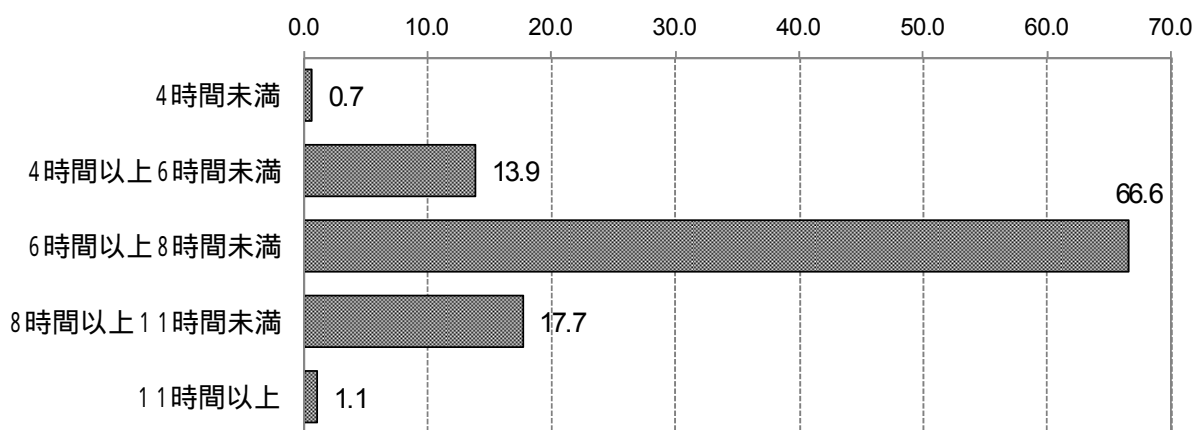
問 17 - 問 17 で選んだ教育・保育の事業それぞれについてお答えください。
希望としてはどのくらい利用したいですか。（数字で記入）

1. 幼稚園 - 利用希望日数【N=909】

幼稚園の利用希望日数は、「5日」が94.1%を占めています。
利用希望時間は、「6時間以上8時間未満」が66.6%を占め最も多くなっています。

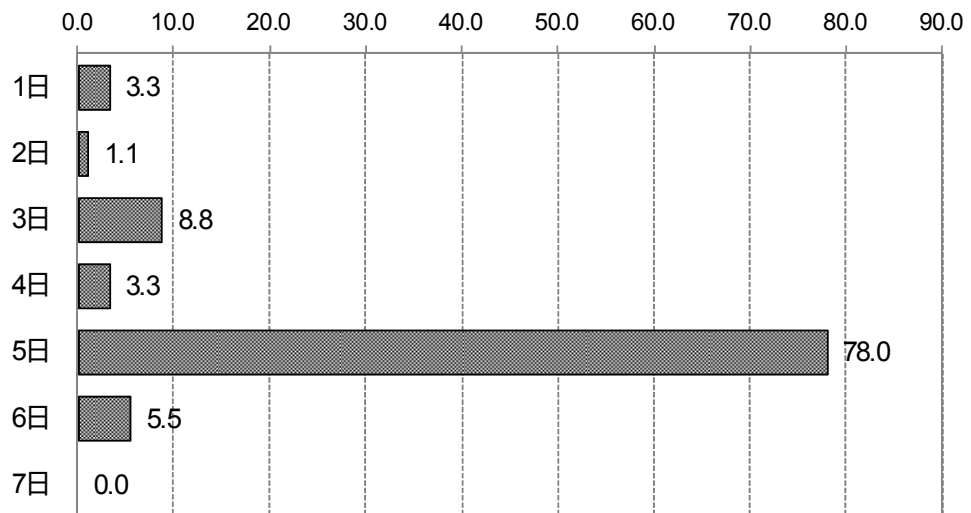


- 利用希望時間【N=882】

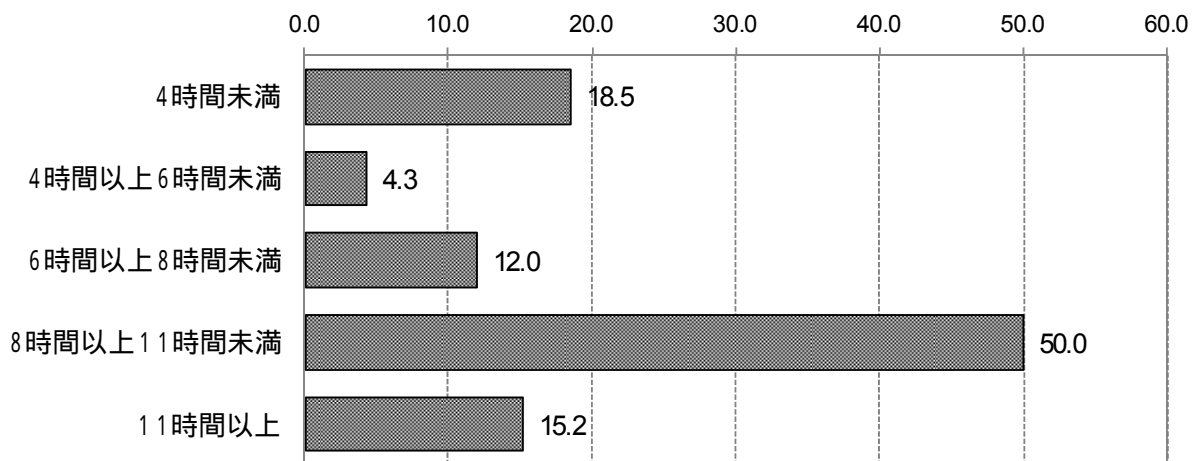


2. 幼稚園の預かり保育 - 利用希望日数【N=91】

幼稚園の預かり保育の利用希望日数は、「5日」が78.0%を占めています。
利用希望時間は、「8時間以上11時間未満」が50.0%で最も多く、次いで、「4時間未満」(18.5%)、「11時間以上」(15.2%)、「6時間以上8時間未満」(12.0%)と続いています。



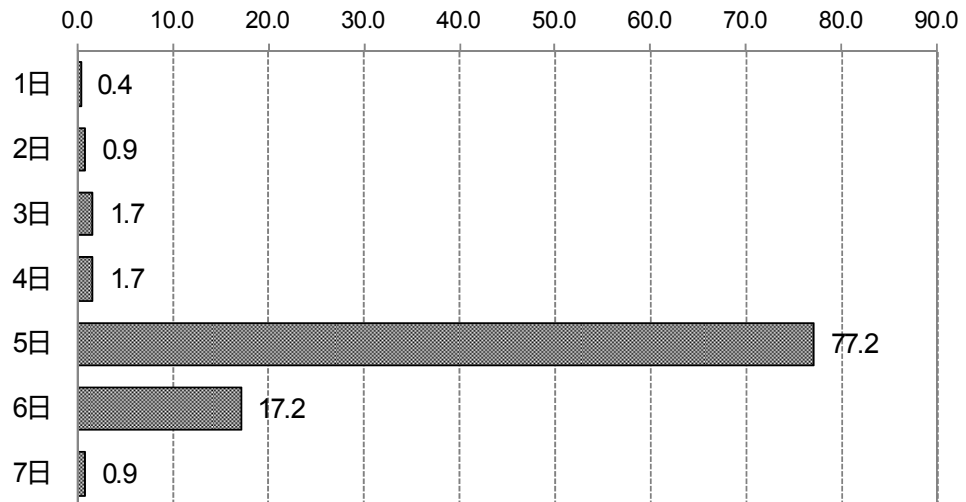
- 利用希望時間【N=92】



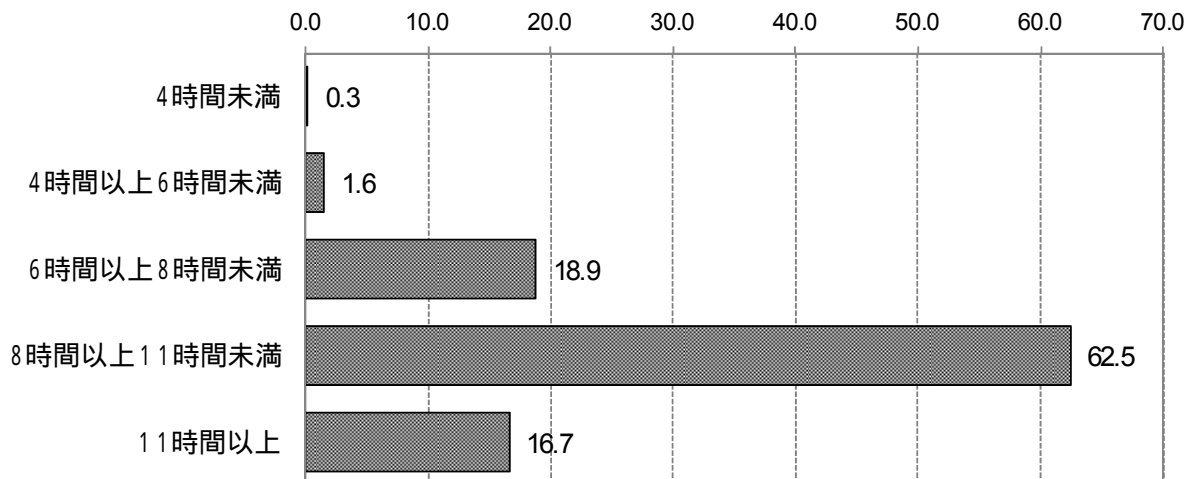
3. 保育園 - 利用希望日数【N=692】

保育園の利用希望日数は、「5日」が77.2%で最も多く、「6日」が17.2%が続いています。

利用希望時間は、「8時間以上11時間未満」が62.5%で最も多く、次いで、「6時間以上8時間未満」(18.9%)、「11時間以上」(16.7%)と続いています。



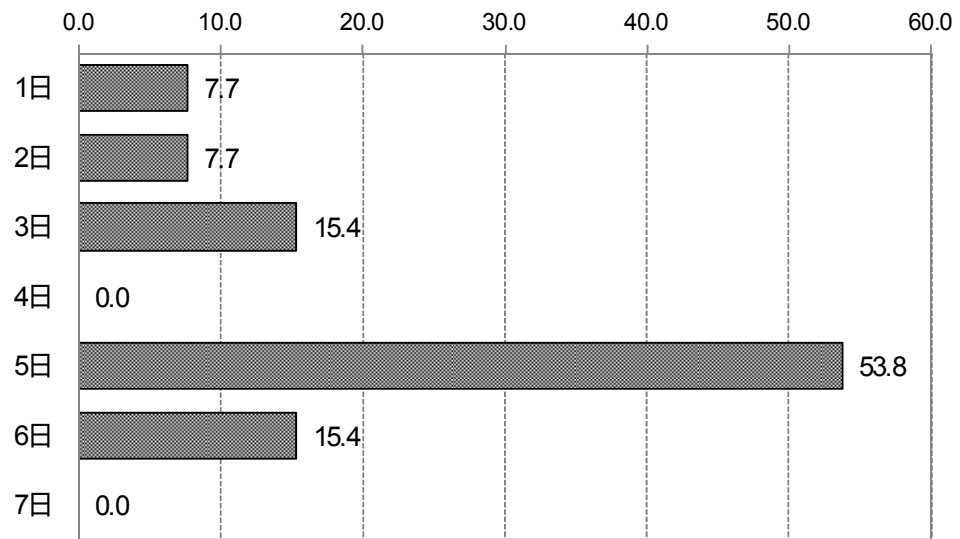
- 利用希望時間【N=677】



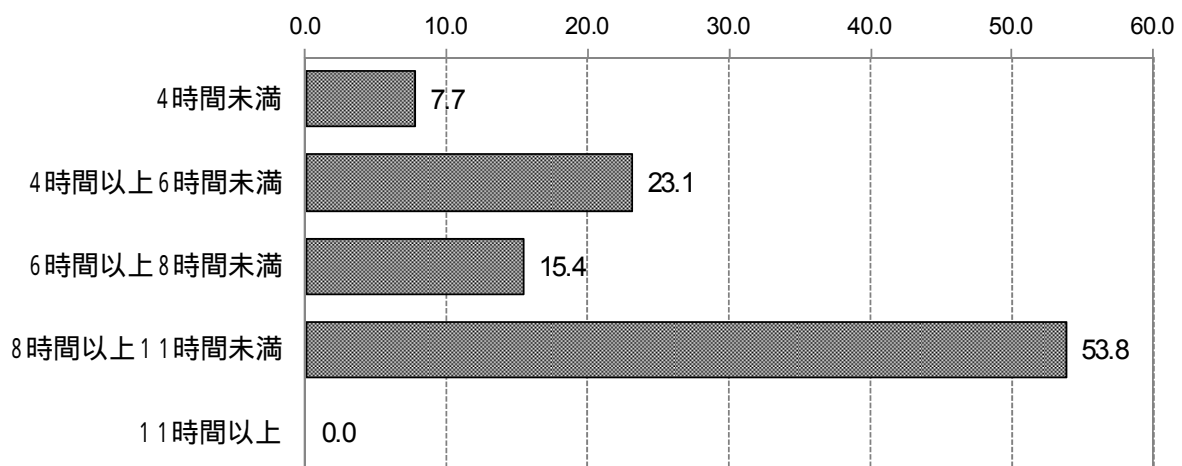
4 . 定員 20 人未満の小規模な保育施設 - 利用希望日数【N=26】

定員 20 人未満の小規模な保育施設の利用希望日数は、「5 日」が 53.8%（14 人）で最も多く、「3 日」と「6 日」が 15.4%（4 人）が続いています。

利用希望時間は、「8 時間以上 11 時間未満」が 53.8%（14 人）で最も多く、次いで、「4 時間以上 6 時間未満」（23.1%・6 人）、「6 時間以上 8 時間未満」（15.4%・4 人）と続いています。

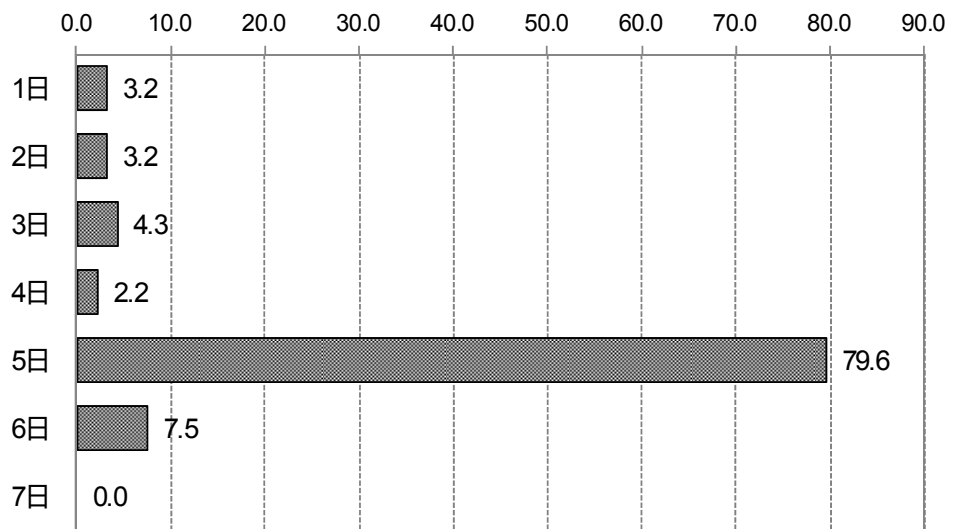


- 利用希望時間【N=26】

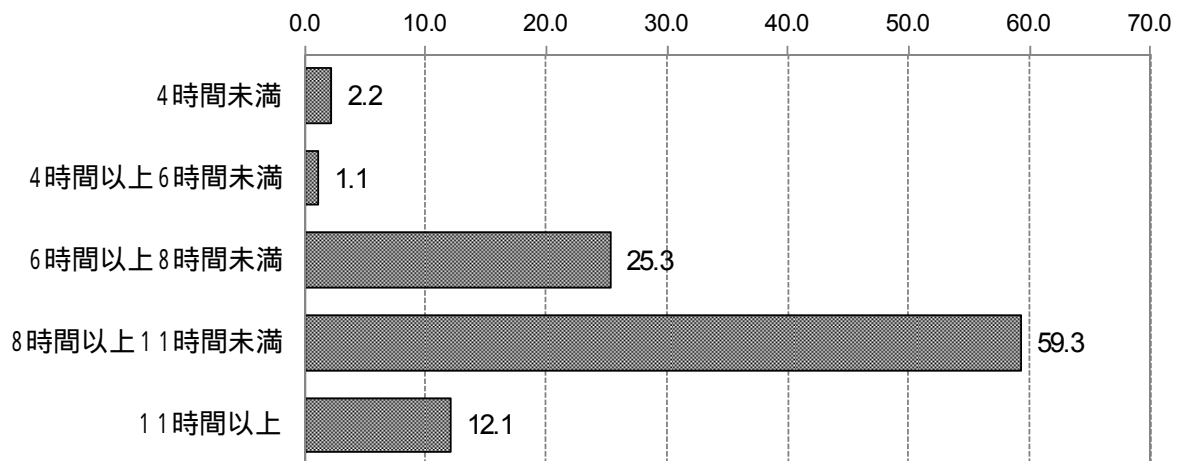


5 . 認定こども園 - 利用希望日数【N=93】

認定こども園の利用希望日数は、「5日」が79.6%を占めています。
 利用希望時間は、「8時間以上11時間未満」が59.3%で最も多く、次いで、「6時間以上8時間未満」(25.3%)、「11時間以上」(12.1%)と続いています。

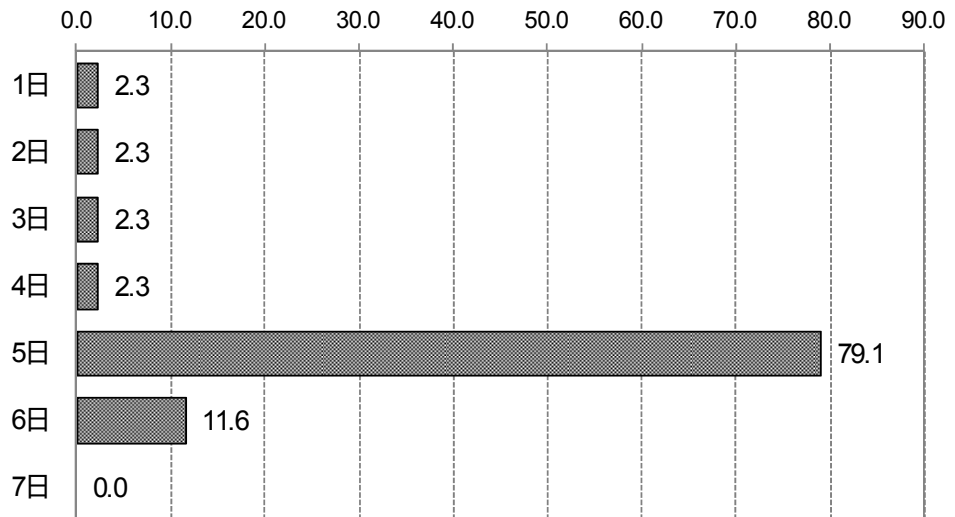


- 利用希望時間【N=91】

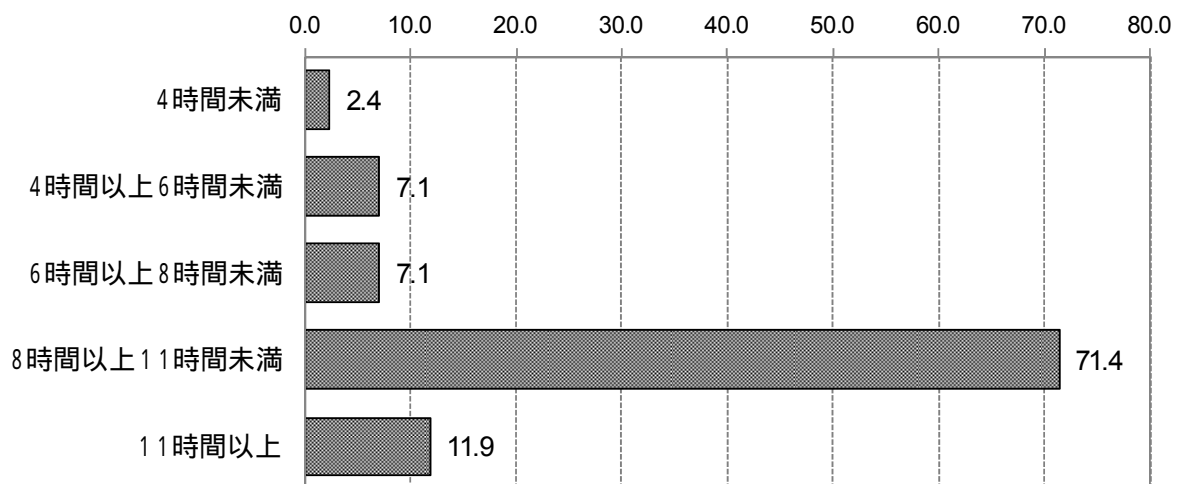


6 . 事業所内保育施設 - 利用希望日数【N=43】

事業所内保育施設の利用希望日数は、「5日」が79.1%を占めています。
利用希望時間は、「8時間以上11時間未満」が71.4%で最も多く、次いで、「11時間以上」が11.9%（5人）が続いています。



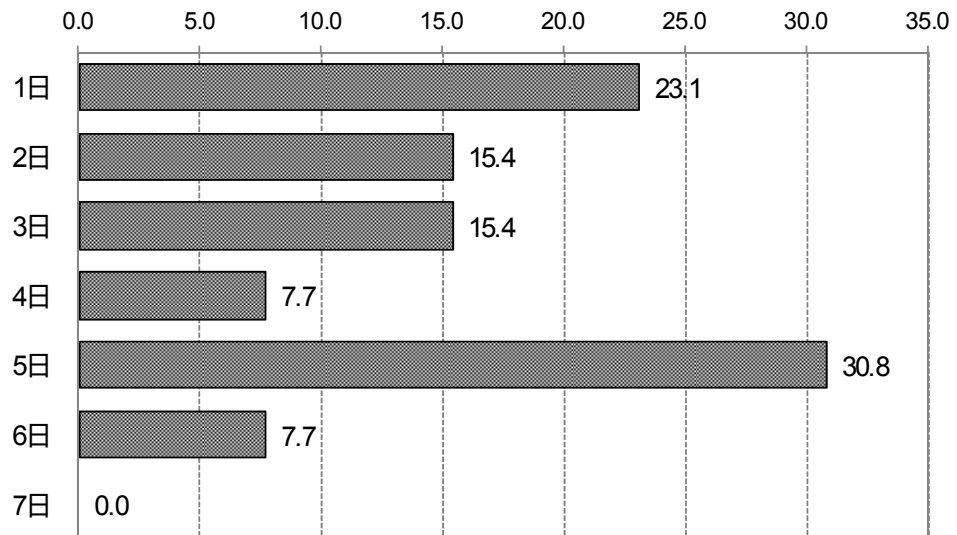
- 利用希望時間【N=42】



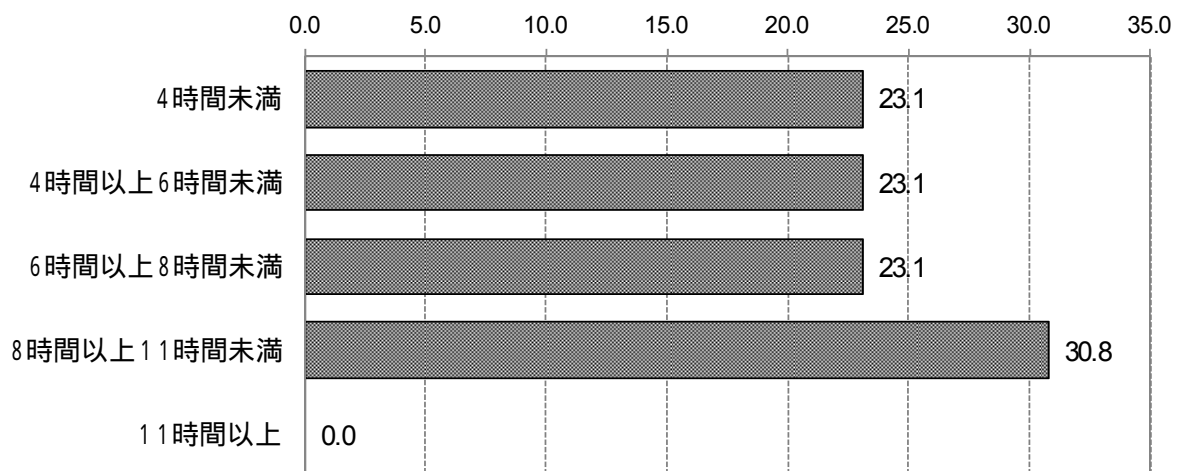
7. その他の保育施設 - 利用希望日数【N=13】

その他の保育施設の利用希望日数は、「5日」が30.8%（4人）、「1日」が23.1%（3人）、「2日」と「3日」が15.4%（2人）となっています。

利用希望時間は、「8時間以上11時間未満」が30.8%（4人）、「4時間未満」「4時間以上6時間未満」「6時間以上8時間未満」が23.1%（3人）となっています。



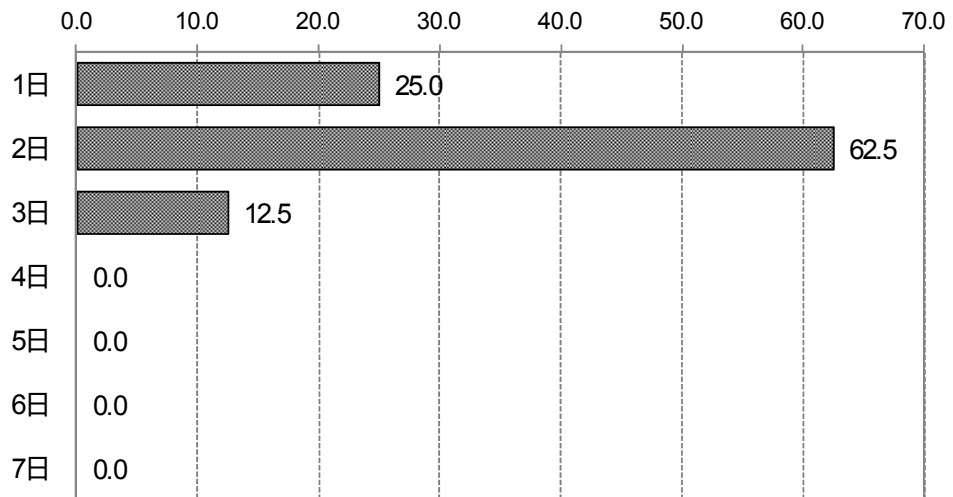
- 利用希望時間【N=13】



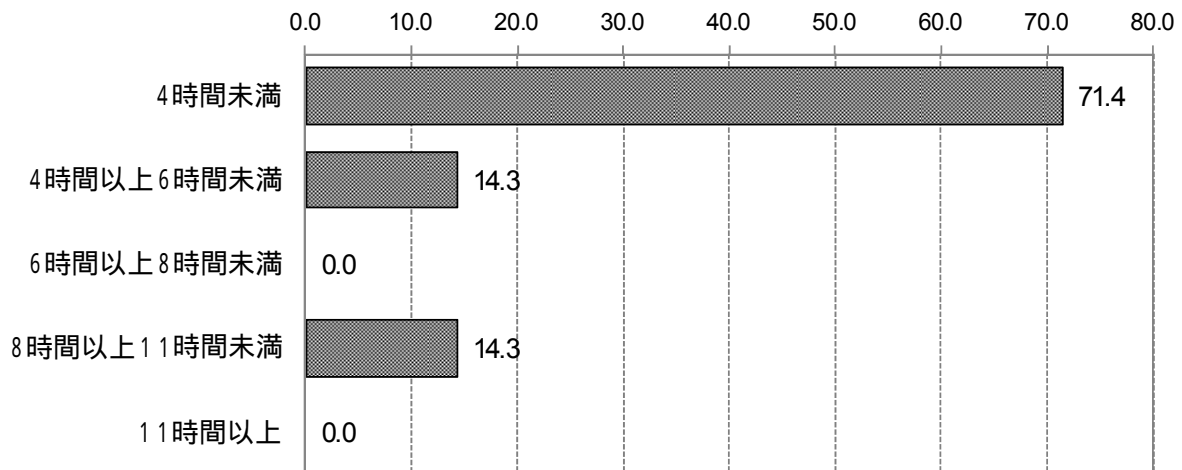
8 . 家庭的保育 - 利用希望日数【N=8】

家庭的保育の利用希望日数は、「2日」が62.5%（5人）、「1日」が25.0%（2人）、「3日」が12.5%（1人）となっています。

利用希望時間は、「4時間未満」が71.4%（5人）、「4時間以上6時間未満」と「8時間以上11時間未満」が14.3%（1人）となっています。



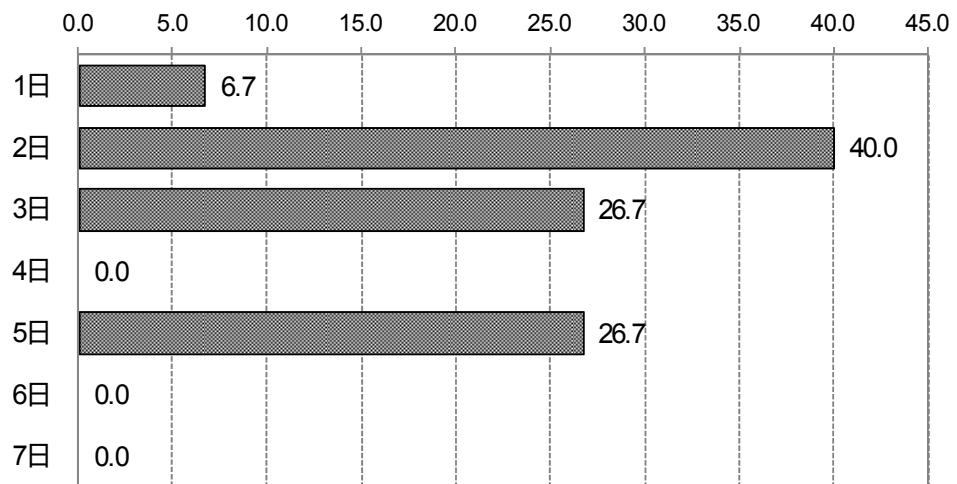
- 利用希望時間【N=7】



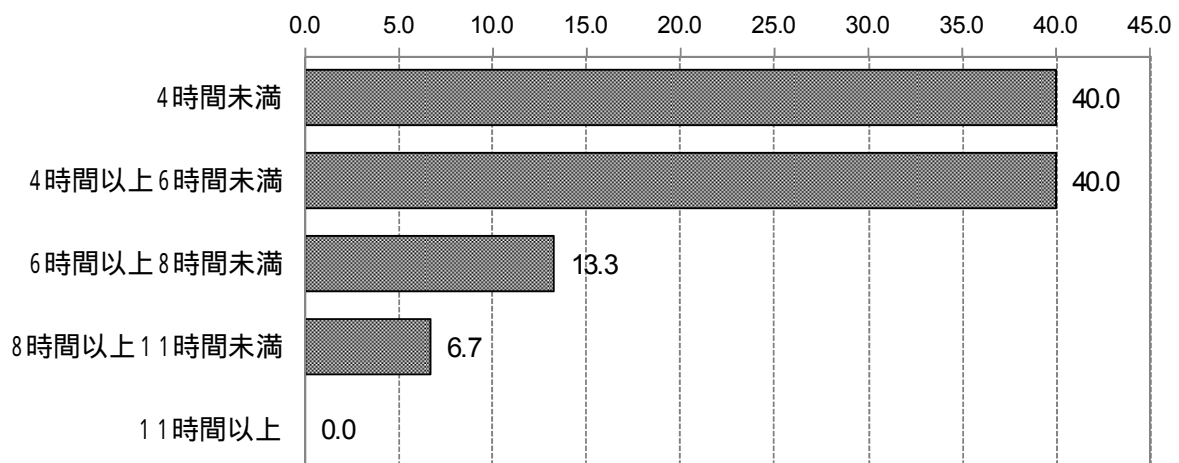
9 . 居宅訪問型保育 - 利用希望日数【N=15】

居宅訪問型保育の利用希望日数は、「2日」が40.0%（6人）で最も多く、次いで、「3日」と「5日」が26.7%（4人）で続いています。

利用希望時間は、「4時間未満」と「4時間以上6時間未満」が40.0%（6人）、「6時間以上8時間未満」が13.3%（2人）、「8時間以上11時間未満」が6.7%（1人）となっています。



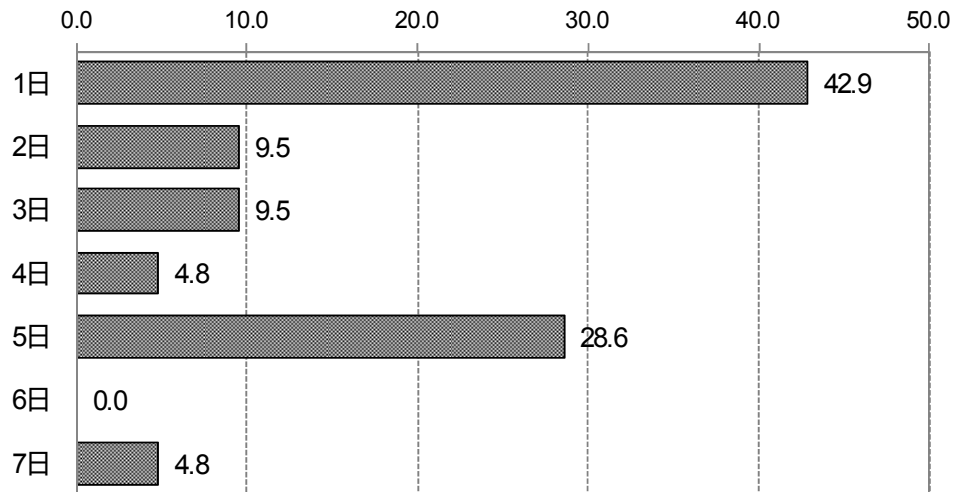
- 利用希望時間【N=15】



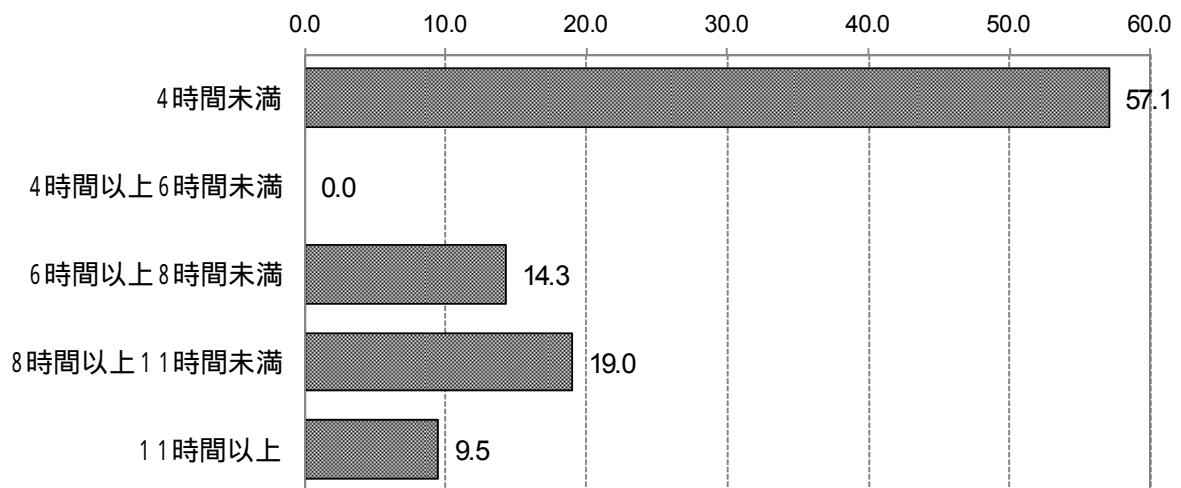
10. ファミリー・サポート・センター - 利用希望日数【N=21】

ファミリー・サポート・センターの利用希望日数は、「1日」が42.9%（9人）、「5日」が28.6%（6人）となっています。

利用希望時間は、「4時間未満」が57.1%（12人）、「8時間以上11時間未満」が19.0%（4人）、「6時間以上8時間未満」が14.3%（3人）となっています。



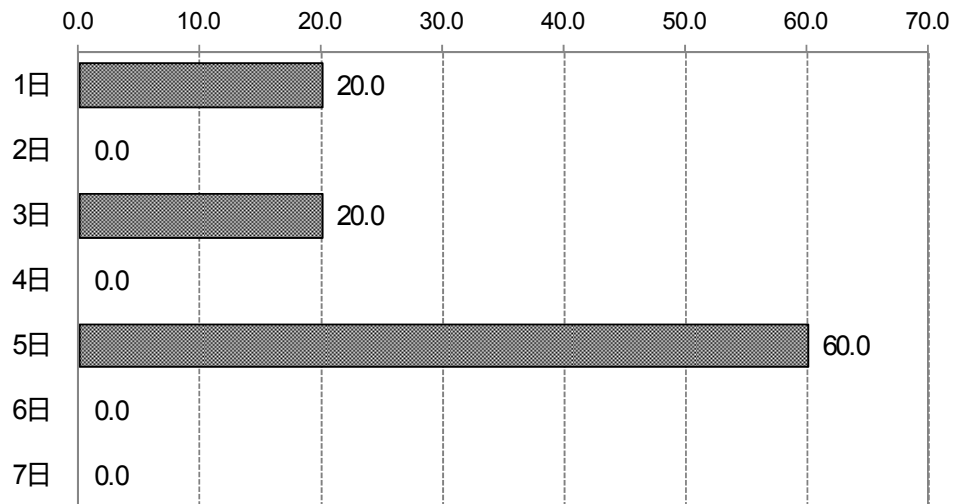
- 利用希望時間【N=21】



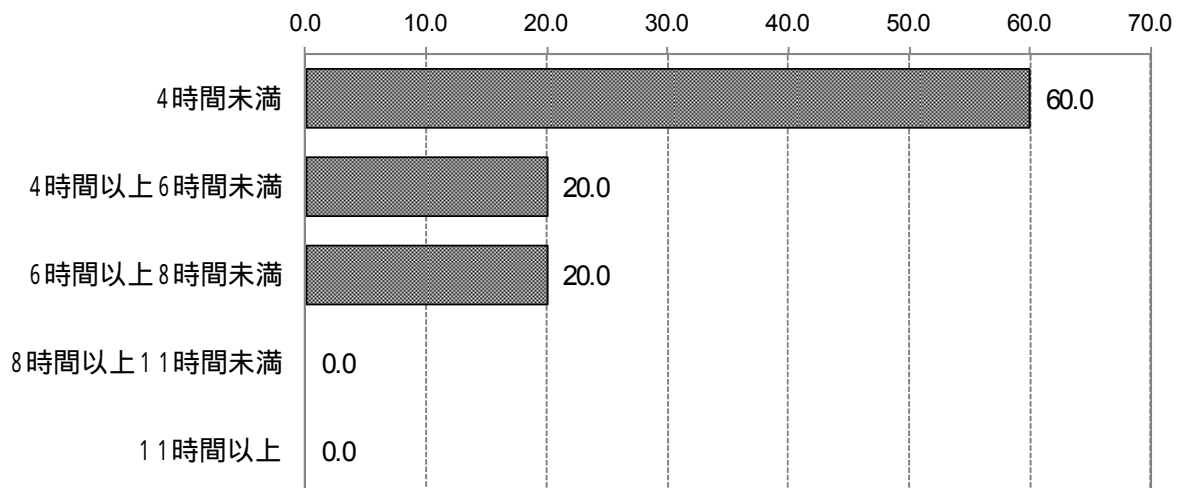
11. その他 - 利用希望日数【N=5】

その他の利用希望日数は、「5日」が60.0%（3人）、「1日」と「2日」が20.0%（1人）となっています。

利用希望時間は、「4時間未満」が60.0%（3人）、「4時間以上6時間未満」と「6時間以上8時間未満」が20.0%（1人）となっています。



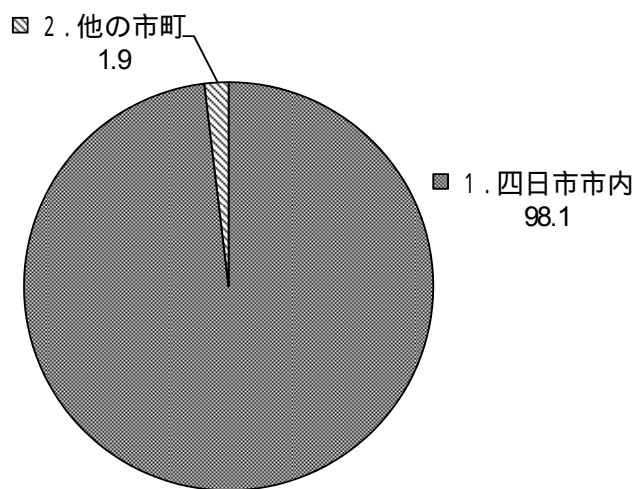
- 利用希望時間【N=5】



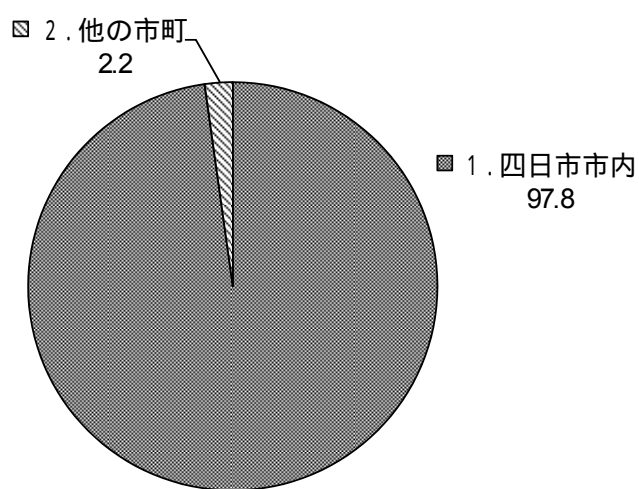
問 17 - 問 17 で選んだ教育・保育の事業それぞれについてお答えください。
 問 17 で選んだ教育・保育事業を利用したい場所はどちらですか。(どちらかに)

教育・保育事業の希望実施場所は、いずれの教育・保育事業も「四日市市内」が 90%以上を占めています。とくに、「家庭的保育」と「その他」は 100%となっています。

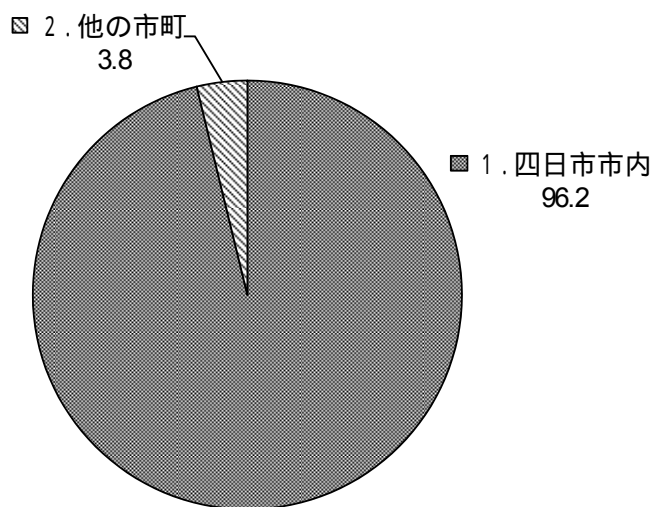
1. 幼稚園【N=886】



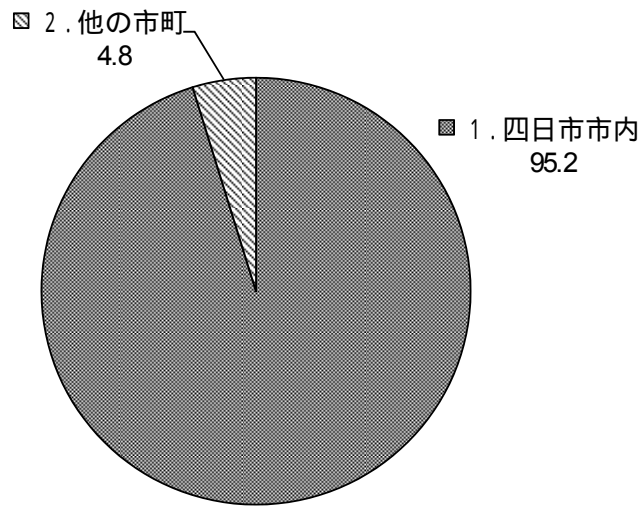
2. 幼稚園の預かり保育【N=276】



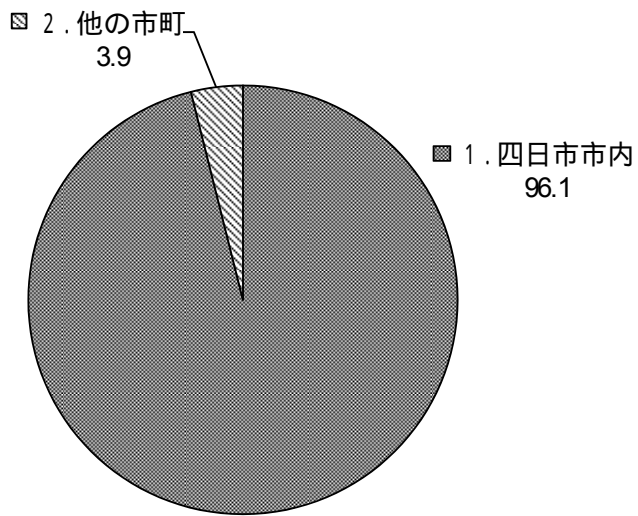
3. 保育園【N=816】



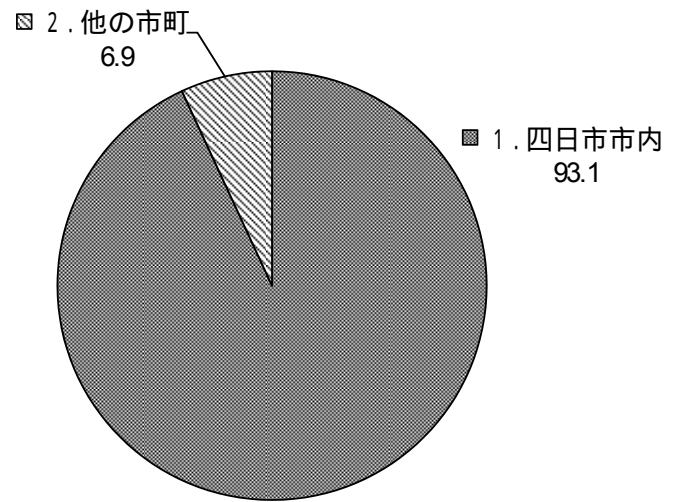
4. 定員 20 人未満の小規模な保育施設【N=63】



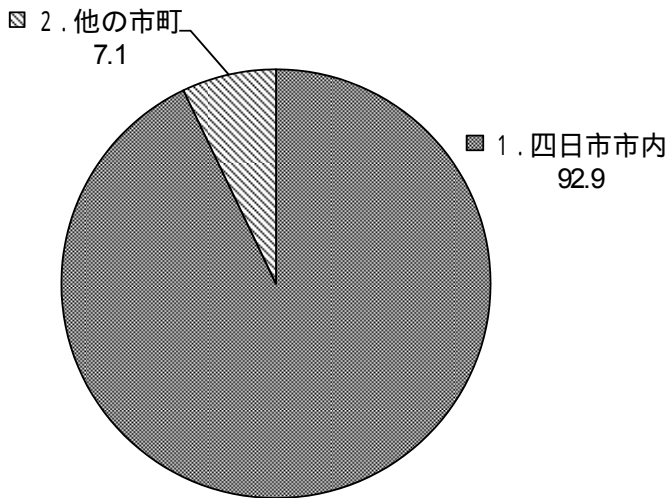
5. 認定こども園【N=181】



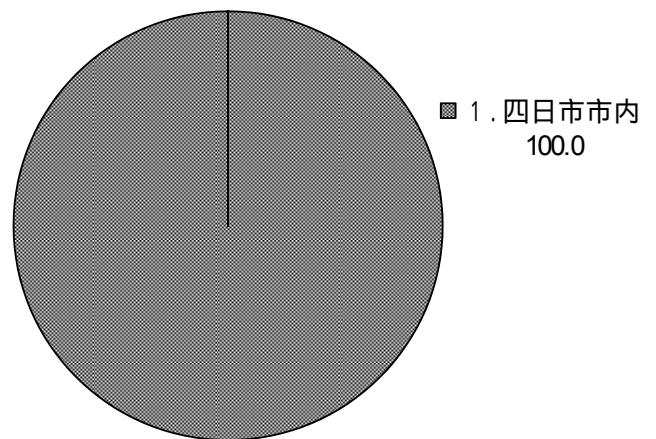
6. 事業所内保育施設【N=72】



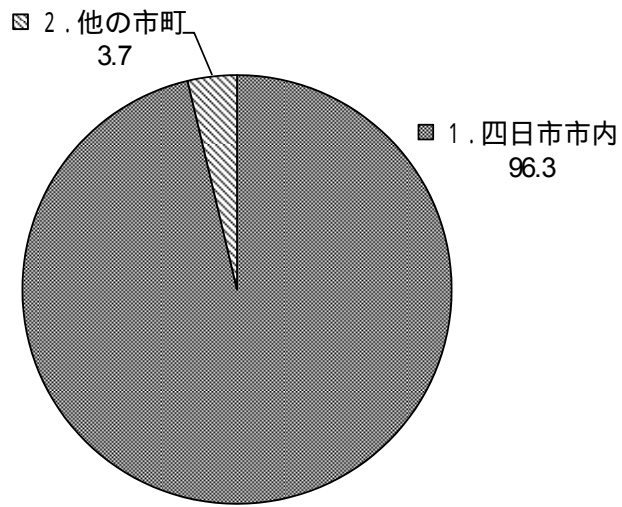
7. その他の保育施設【N=28】



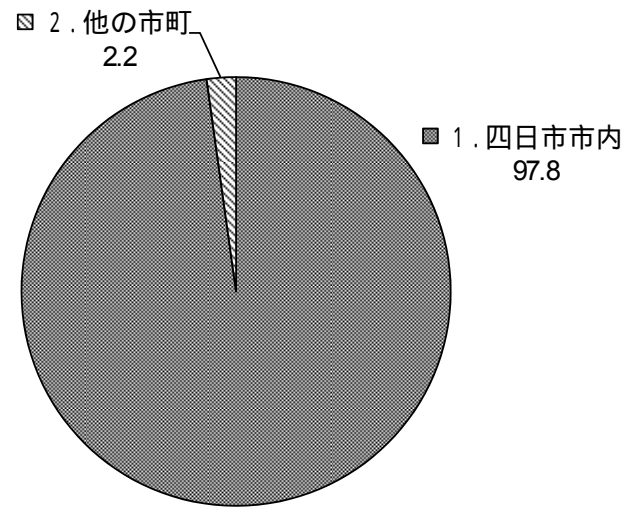
8. 家庭的保育【N=15】



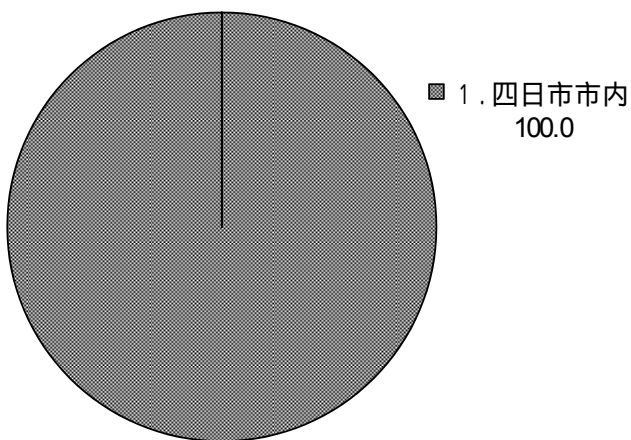
9 . 居宅訪問型保育【N=27】



10 . ファミリー・サポート・センター【N=46】



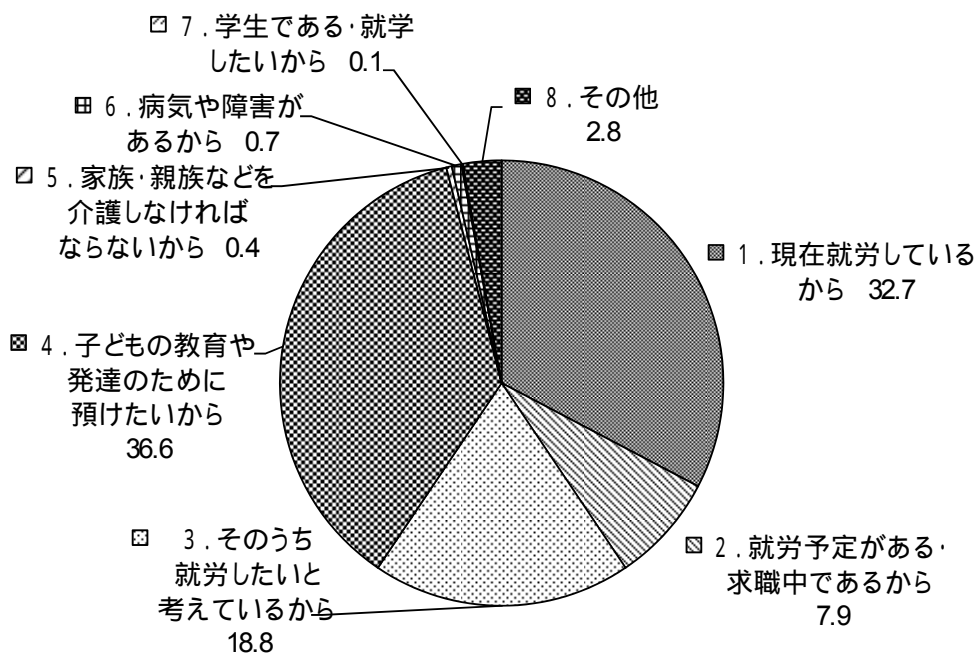
11 . その他【N=5】



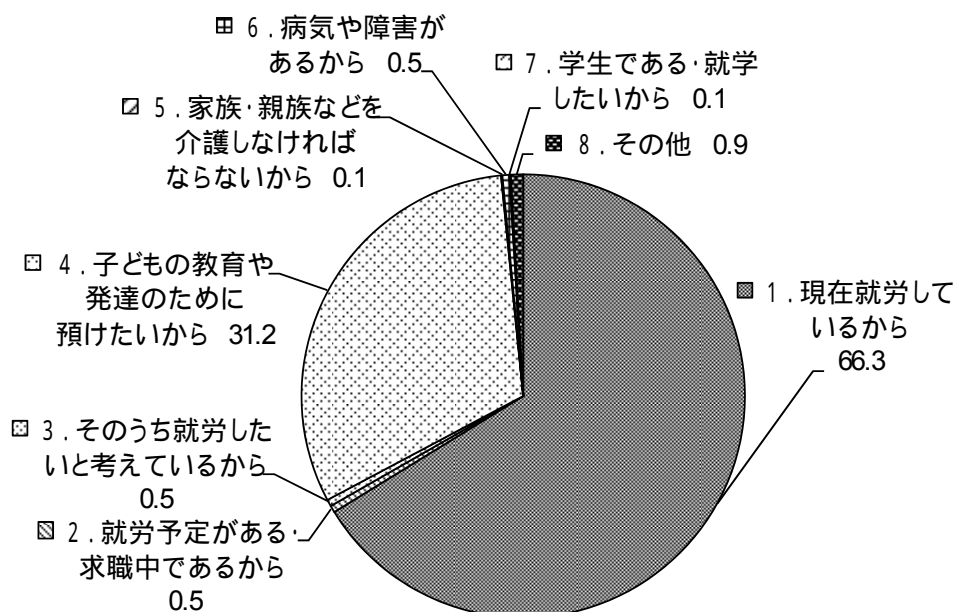
問 18 問 17 で選んだ教育・保育の事業を利用したいと考えている理由は主にどのようなことですか。、それぞれについてお答えください。(はひとつずつ)

教育・保育事業を利用したい理由は、母親では、「子どもの教育や発達のために預けたいから」が 36.6%で最も多く、「現在就労しているから」が 32.7%で続いています。
 父親では、「現在就労しているから」が 66.3%で最も多く、「子どもの教育や発達のために預けたいから」が 31.2%で続いています。

(1) 母親【N=1,661】



(2) 父親【N=1,551】



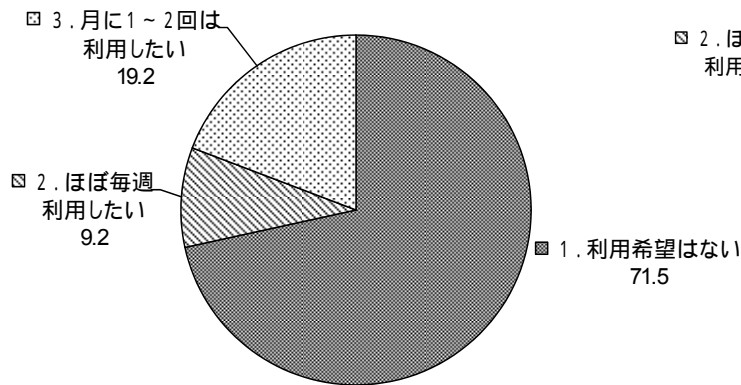
あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます

問 19 あて名のお子さんについて、(1)土曜日と(2)日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか(一時的な利用は除きます)。(はひとつ)

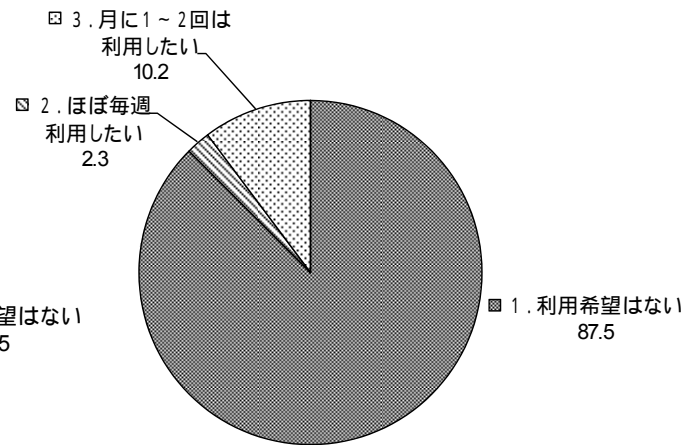
土曜日と日曜日・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望については、土曜日は、「利用希望はない」が71.5%を占めており、「月に1~2回は利用したい」(19.2%)と「ほぼ毎週利用したい」(9.2%)を合わせた『利用希望』は28.4%となっています。

日曜日・祝日は、「利用希望はない」が87.5%を占めており、「月に1~2回は利用したい」(10.2%)と「ほぼ毎週利用したい」(2.3%)を合わせた『利用希望』は12.5%となっています。

(1) 土曜日【N=1,850】



(2) 日曜・祝日【N=1,823】

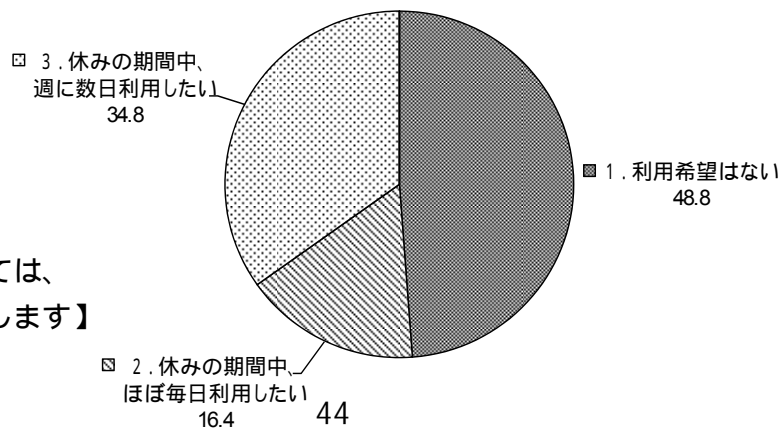


【希望する時間については、今回の資料では省略します】

問 20 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。

あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。(はひとつ)【N=666】

長期の休暇期間中の教育・保育の事業の利用希望は、「利用希望はない」が48.8%を占めており、「休みの期間中、週に数日利用したい」(34.8%)と「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(16.4%)を合わせた『利用希望』は51.2%となっています。

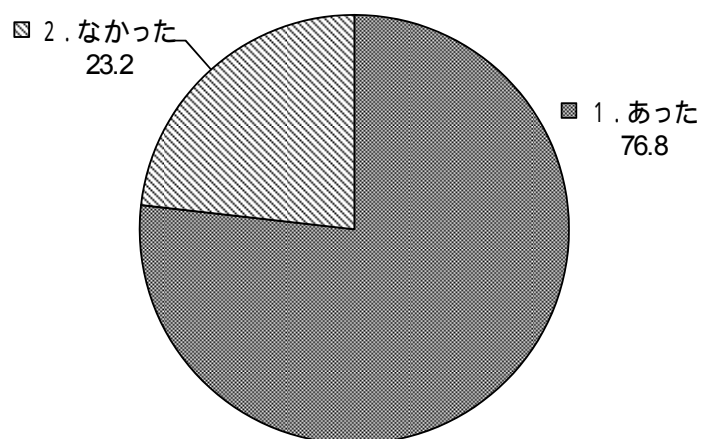


【希望する時間については、今回の資料では省略します】

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます (平日の教育・保育を利用する方のみ)

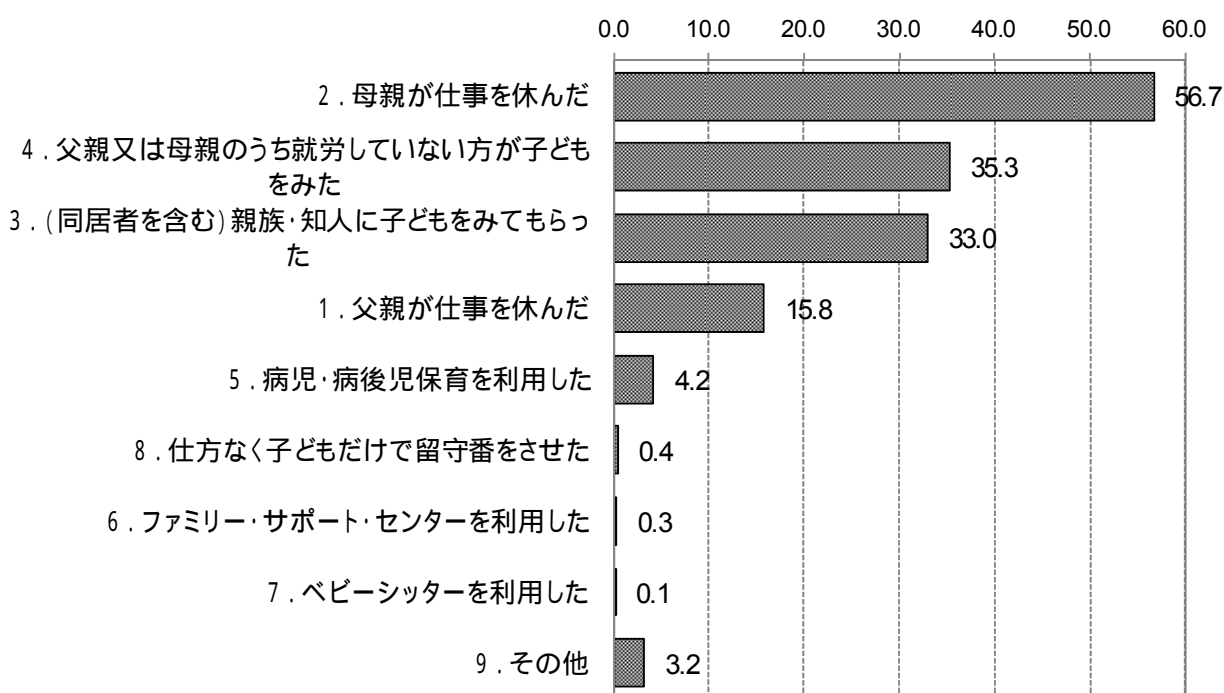
問 21 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで、いつも利用している教育・保育の事業が利用できなかったことはありませんか。(1 はひとつ)【N=1,040】

この1年間に、お子さんが病気やけがでいつも利用している教育・保育事業が利用できなかったことが「あった」方は76.8%、「なかった」方は3.2%となっています。



問 21 - 問 21 で「 1 . あった」に をつけた方にうかがいます。
 あて名のお子さんが病気やけがで、いつも利用している教育・保育の事業
 が利用できなかった場合に、この 1 年間に行った対処方法は何ですか。(あ
 てはまるものすべてに 、日数を数字で記入) 【N=793】

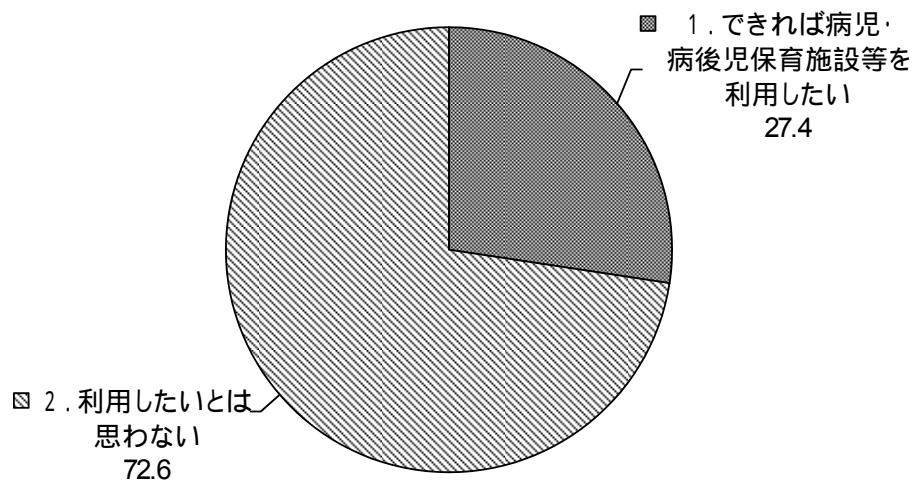
お子さんが病気やけがでいつも利用している教育・保育事業が利用できなかった場合の対
 処方法は、「母親が仕事を休んだ」が 56.7%で最も多く、次いで、「父親又は母親のうち就
 労していない方が子どもをみた」(35.3%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみて
 もらった」(33.0%)が続いています。
 一方、「病児・病後児保育を利用した」は 4.2%にとどまりました。



【日数については、今回の資料では省略します】

問 21 - 問 21 - で「1. 父親が仕事を休んだ」、「2. 母親が仕事を休んだ」につけた方にうかがいます。
その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。（どちらかに、日数を数字で記入）【N=463】

仕事を休んだ際に「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思った方は 27.4%となっており、「利用したいとは思わない」方が 72.6%を占めています。

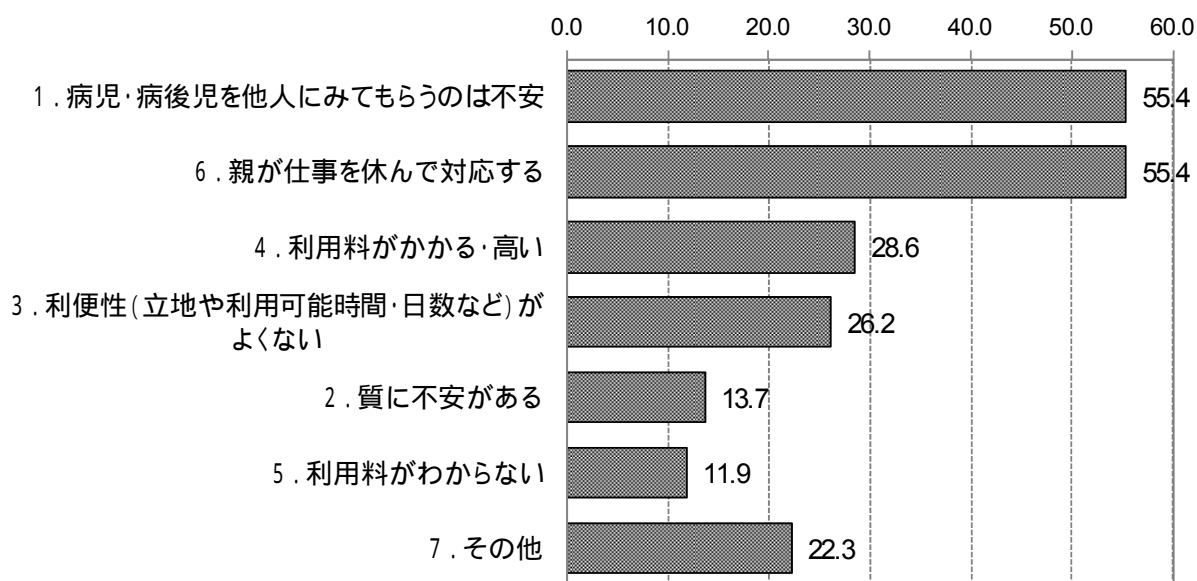


【日数については、今回の資料では省略します】

問 21 - 問 21 - で「2. 利用したいとは思わない」に つけた方にうかがいます。

そう思われる理由は何ですか。（あてはまるものすべてに ）【N=336】

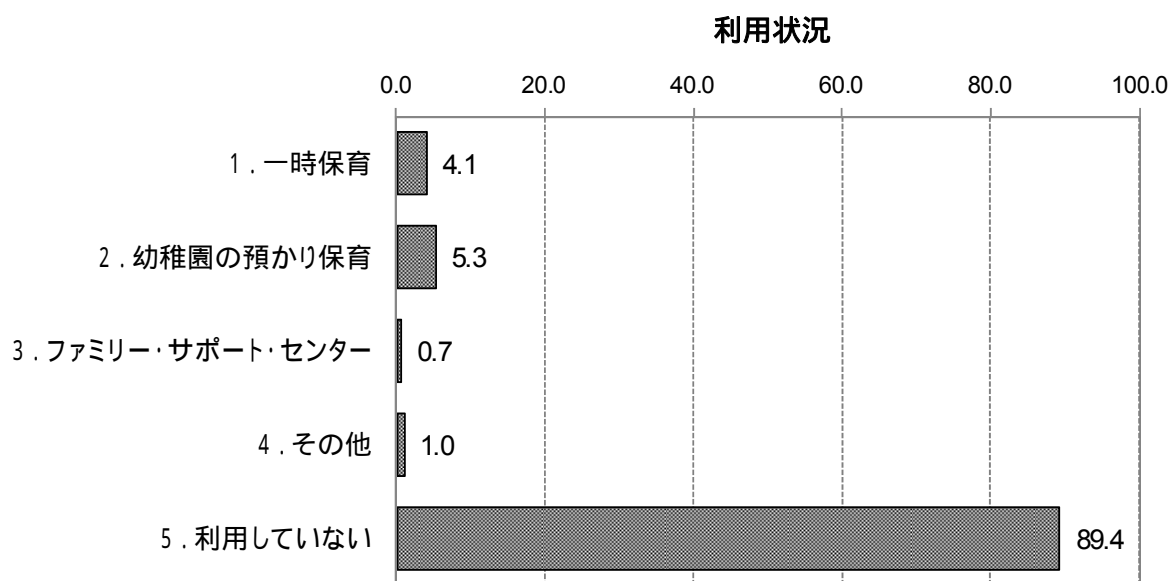
病児・病後児保育を利用したいとは思わない理由は、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」と「親が仕事を休んで対応する」が同率（55.4%）で最も多く、次いで、「利用料がかかる・高い」（28.6%）、「利便性（立地や利用可能時間・日数など）がよくない」（26.2%）が続いています。



あて名のお子さんの「不規則の」教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます

問 22 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか。
(あてはまるものすべてに、利用日数を数字で記入)【N=1,895】

不規則で利用している事業は、「幼稚園の預かり保育」が 5.3%、「一時預かり」が 4.1%、「ファミリー・サポート・センター」が 0.7%、「その他」が 1.0%と少なく、「利用していない」が 89.4%を占めています。

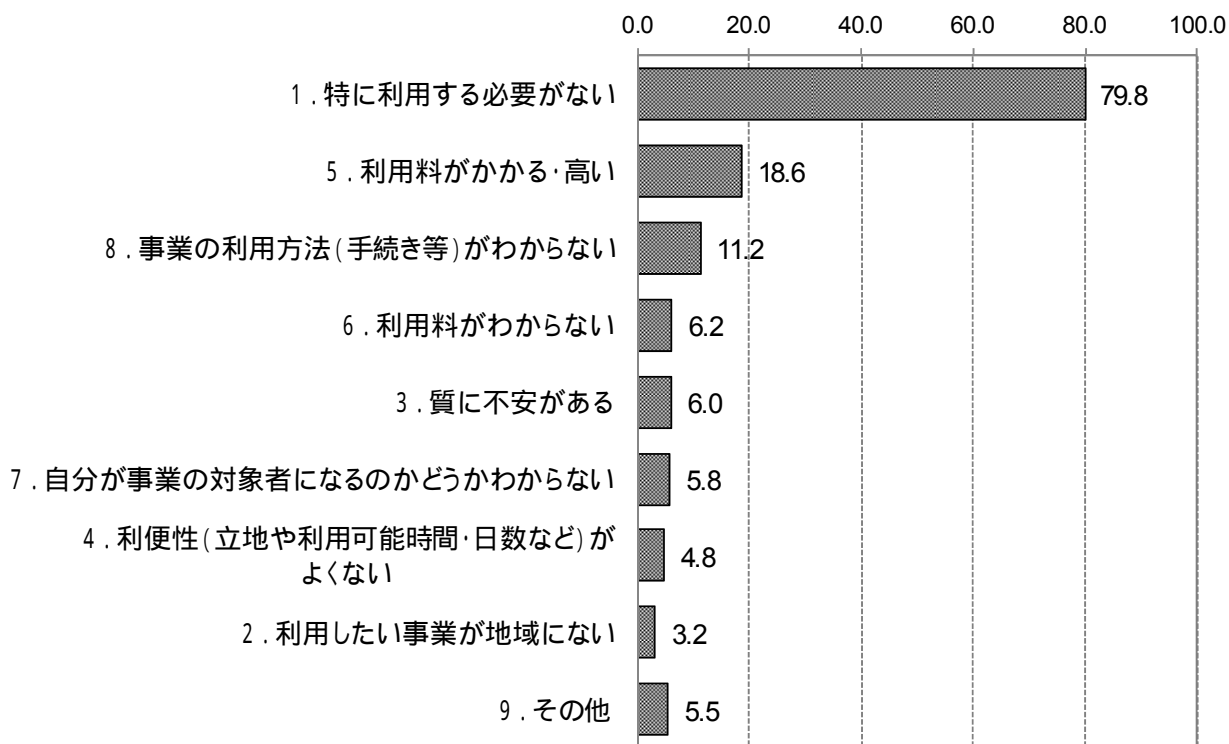


【日数については、今回の資料では省略します】

問 22 - 問 22 で「5 . 利用していない」に をつけた方にうかがいます。
 現在利用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)
 【N=1,685】

不定期で教育・保育事業を利用していない理由は、「特に利用する必要がない」が79.8%で最も多くなっています。

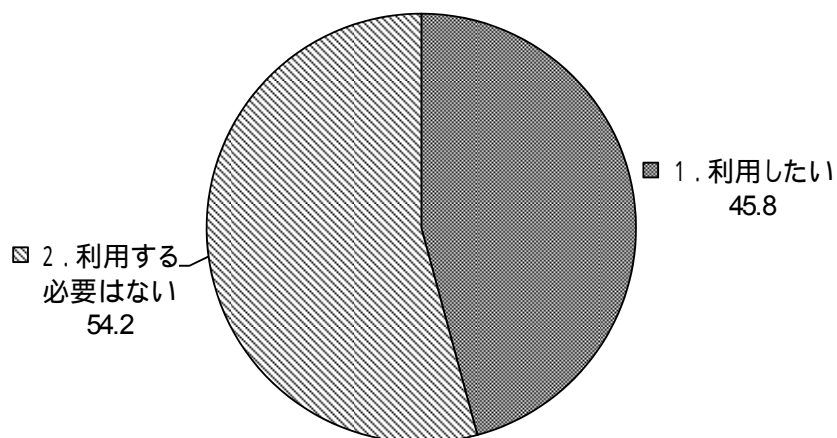
一方、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(11.2%)や、「利用料がわからない」(6.2%)、「自分が事業の対象者になるのかどうかかわからない」(5.8%)などは、情報不足によって利用していないと思われます。また、「利用料がかかる・高い」(18.6%)や「事業の質に不安がある」(6.0%)、「利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない」(4.8%)、「利用したい事業が地域にない」(3.2%)などは、内容や条件等によって利用していないと思われます。



問 23 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、問 22 のような事業を利用したいと思いますか。(どちらかに)【N=1,855】

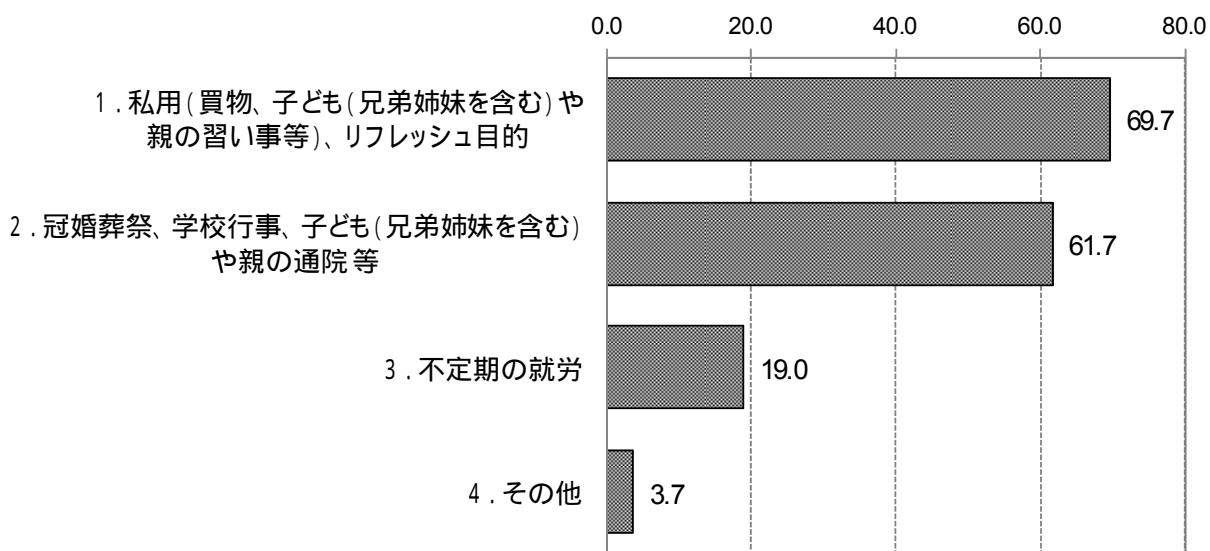
不定期で今後事業を「利用したい」方は 45.8%、「利用する必要はない」方は 54.2%となっています。

利用希望



問 23 - 問 23 で「1. 利用したい」に つけた方にうかがいます。私用、親の通院、不定期の就労等の目的で事業を利用する場合、それぞれ年間何日くらい利用したいと思いますか。(あてはまるものすべてに、日数を記入)【N=846】

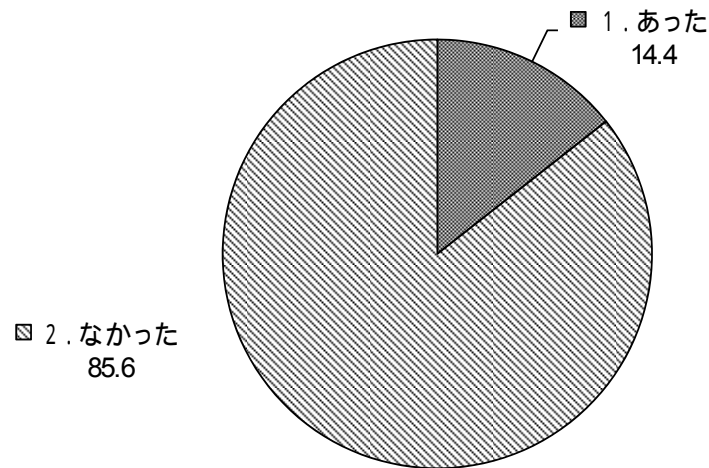
不定期で事業を利用する場合、「私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的」で事業を利用したい方が 69.7%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等」で事業を利用したい方が 61.7%である一方、「不定期の就労」で事業を利用したい方は 19.0%となっています。



【日数については、今回の資料では省略します】

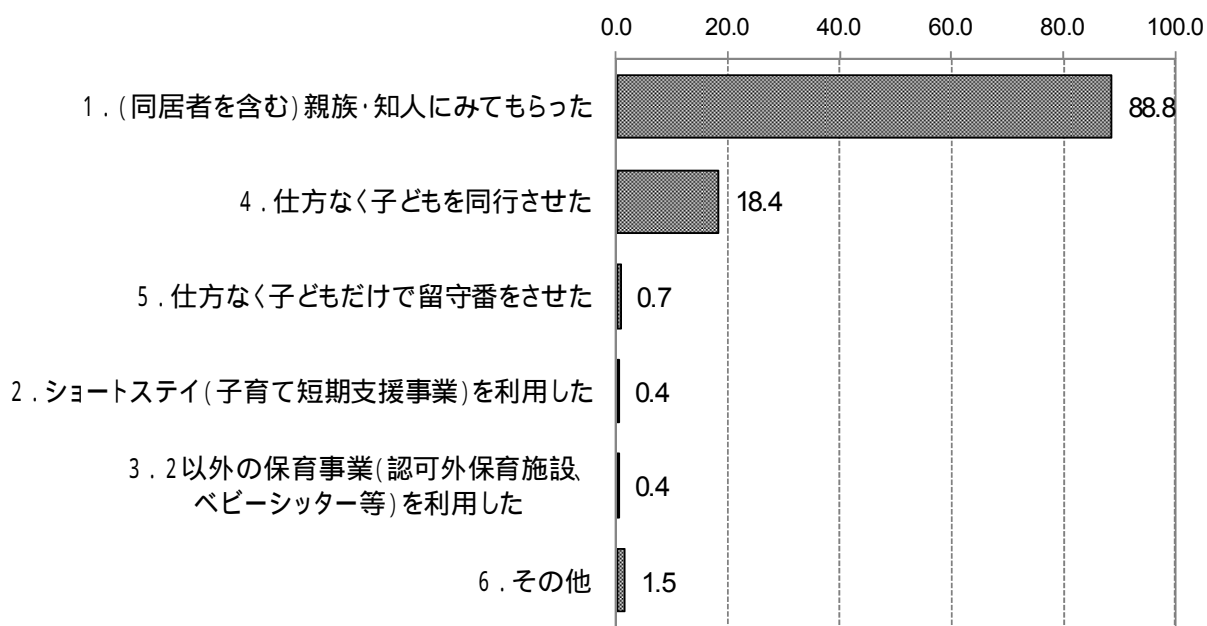
問 24 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含まれます）。（どちらかに）【N=1,856】

この1年間に、保護者の用事でお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことが「あった」方は14.4%、「なかった」方は85.6%となっています。



問 24 - 問 24 で「 1 . あった」に をつけた方にうかがいます。
 この 1 年間に行った対処方法は何ですか。(あてはまるものすべてに、
 日数を数字で記入)【N=267】

この 1 年間に行った対処方法は、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が 88.8%と大半を占めています。一方、「仕方なく子どもを同行させた」が 18.4%、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が 0.7%(2 人)、「ショートステイ(子育て短期支援事業)」と「認可外保育施設、ベビーシッター等」が 0.4%(1 人)となっています。

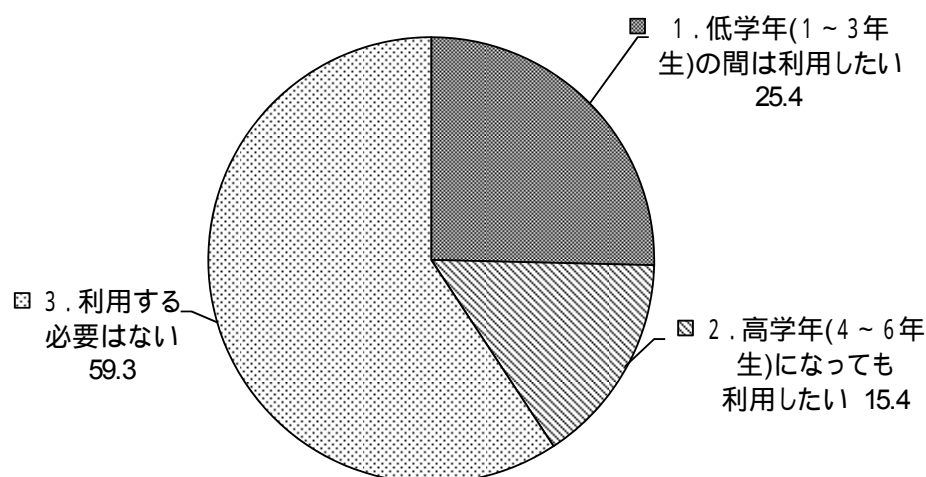


【日数については、今回の資料では省略します】

あて名のお子さんが5歳以上である方に、 小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます

問 25 あて名のお子さんについて、小学校入学以降のことについてうかがいます。
放課後に、「放課後児童クラブ(学童保育所)」を利用したいと思いますか。(はひとつ)【N=911】

小学校入学以降、「放課後児童クラブ(学童保育)」を「利用する必要はない」方が59.3%と過半数を占めており、「低学年(1~3年生)の間は利用したい」は25.4%、「高学年(4~6年生)になっても利用したい」は15.4%となっており、放課後児童クラブ(学童保育)を利用したい人は約40%に上ります。

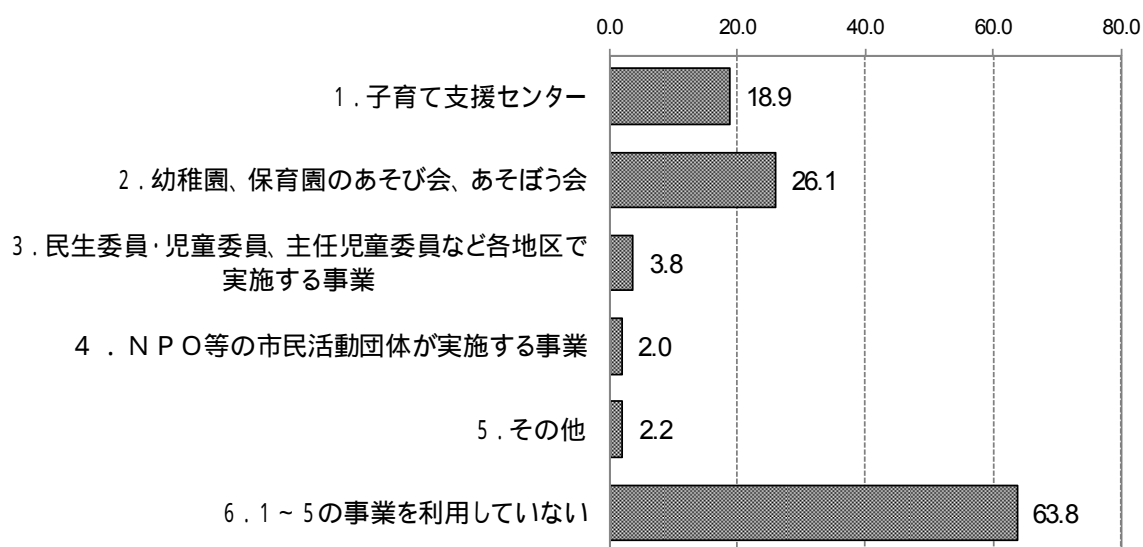


あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況について うかがいます

問 26 あて名のお子さんは、現在、親子が集まって交流や相談の場を提供する事業等
を利用していますか。（あてはまるものすべてに、回数を数字で記入）

【N=1,846】

親子が集まって交流や相談の場を提供する事業等の利用状況は、「利用していない」が
63.8%を占めています。利用している事業は、「幼稚園、保育園のあそび会、あそぼう会」
が26.1%で最も多く、次いで、「子育て支援センター」が18.9%が続いています。



【回数については、今回の資料では省略します】

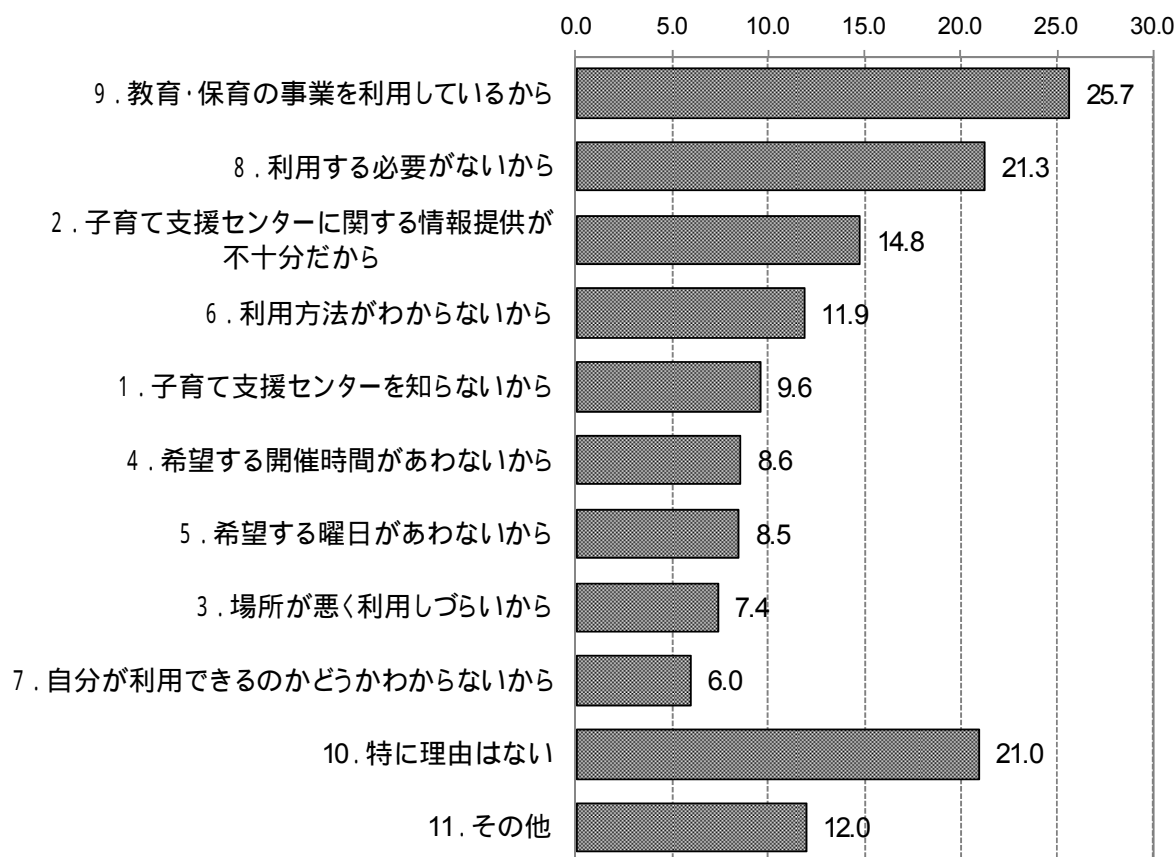
問 26 - 問 26 で「1. 子育て支援センター」に をつけなかった方にうかがいます。

現在、子育て支援センターを利用していない理由はどのようなことですか。(あてはまるものすべてに)【N=1,298】

利用していない理由は、「教育・保育の事業を利用しているから」が 25.7%で最も多く、次いで、「利用する必要がないから」が 21.3%で続いています。

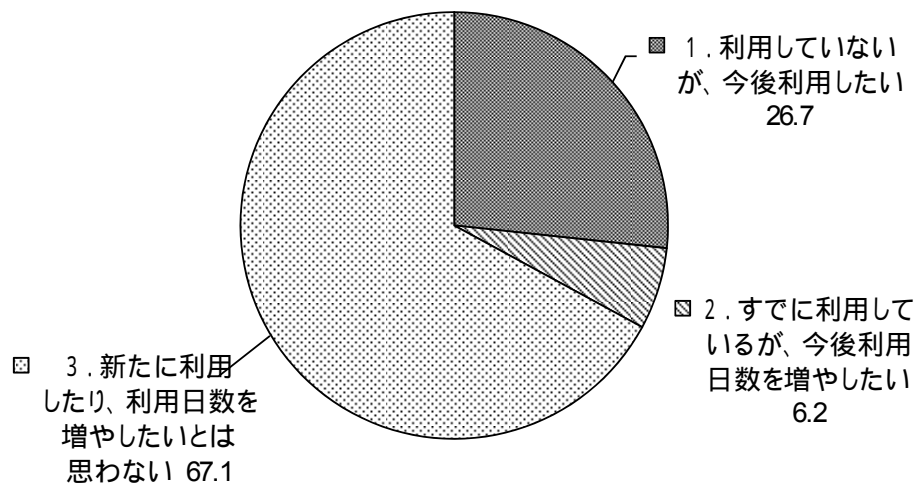
「子育て支援センターに関する情報提供が不十分だから」(14.8%) や「利用方法がわからないから」(11.9%) 「子育て支援センターを知らないから」(9.6%) 「自分が利用できるのかわからないから」(6.0%) などは、情報不足によって利用していないと思われます。また、「希望する開催時間があわないから」(8.6%) や「希望する曜日があわないから」(8.5%) 「場所が悪く利用しづらいから」(7.4%) などは、条件等によって利用していないと思われます。

一方、「特に理由はない」は 21.0%となっています。



問 27 問 26 の「1. 子育て支援センター」を今は利用していないが、今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。(はひとつ、回数を数字で記入)【N=1,454】

今後、地域子育て支援センターを利用したいかどうかについては、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」と回答した方が 67.1%を占めており、「利用していないが、今後利用したい」方は 26.7%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」方は 6.2%となっています。



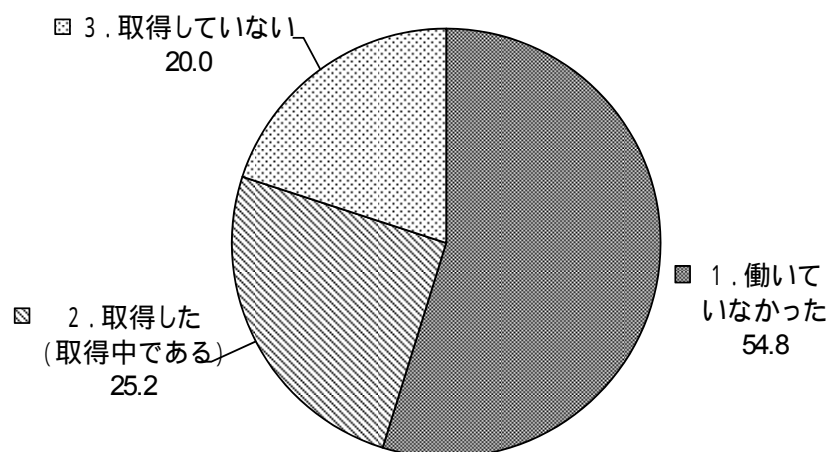
すべての方に、育児休業など 職場の両立支援制度についてうかがいます

問 28 あて名のお子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。

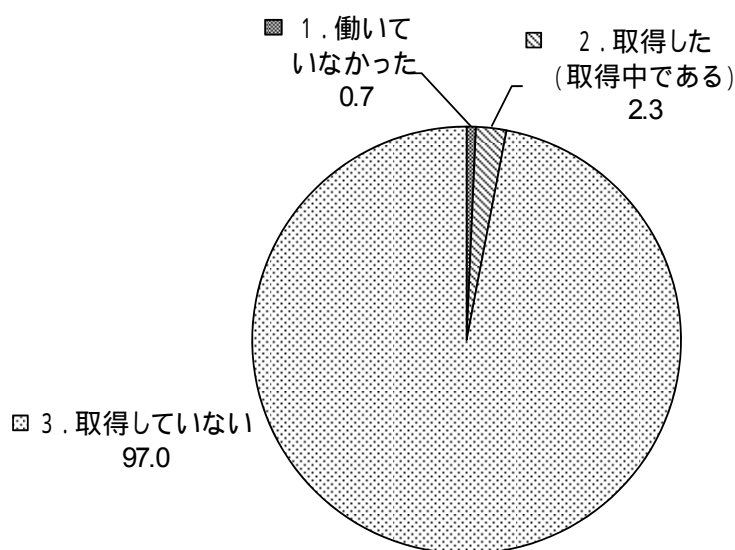
育児休業を取得したかどうかについては、「母親」は「取得した(取得中である)」は25.2%、「取得していない」は20.0%となっています。また、「働いていなかった」が54.8%で最も多くなっています。

「父親」は「取得していない」が97.0%を占めており、「取得した(取得中である)」は2.3%となっています。

(1) 母親【N=1,877】



(2) 父親【N=1,692】

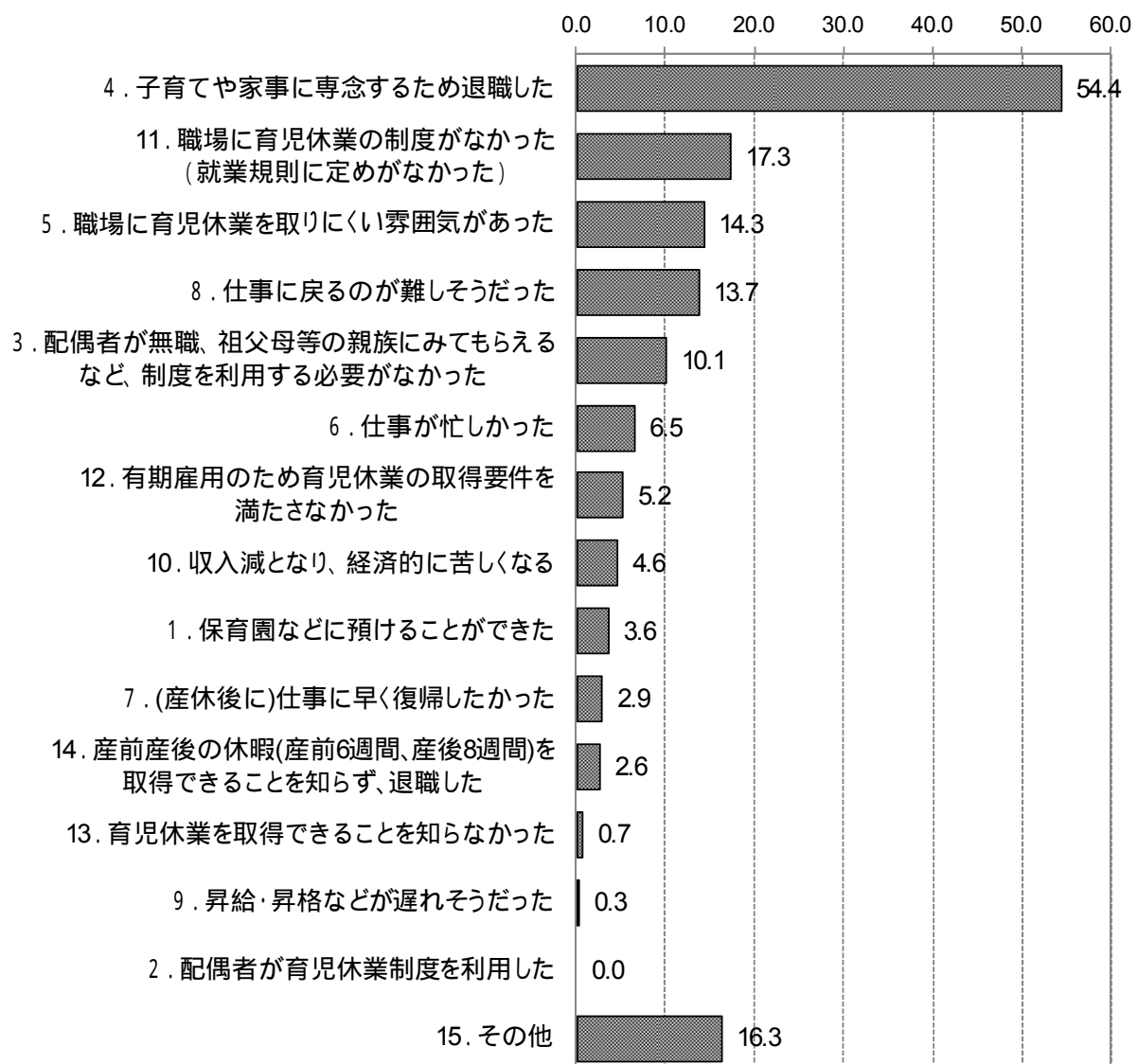


また、「3. 取得していない」を選ばれる方はその理由を選んでください。

(1) 母親【N=307】

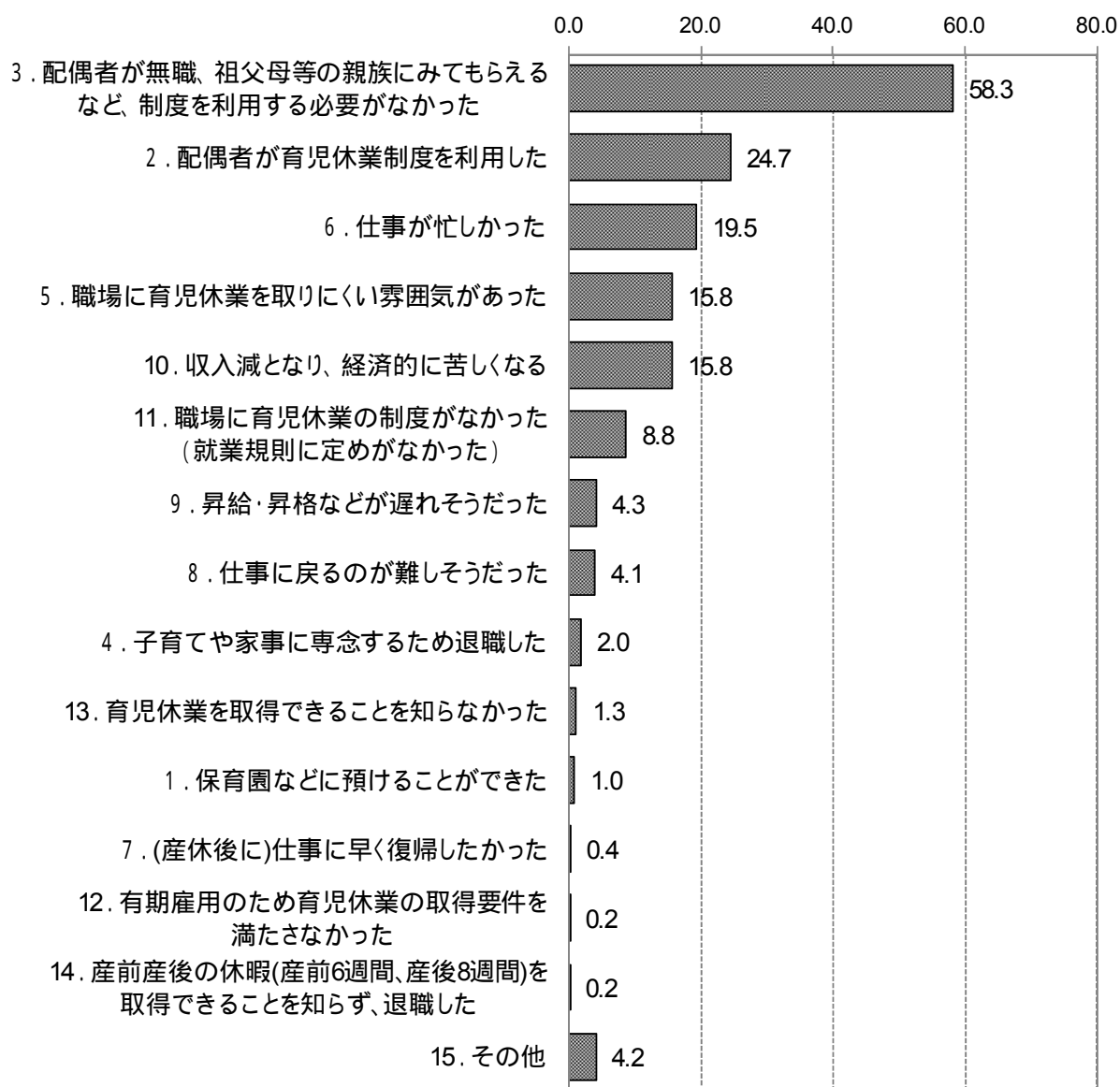
育児休業を取得していない理由は、「母親」では「子育てや家事に専念するため退職した」が54.4%で最も多く、次いで、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」(17.3%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(14.3%)、「仕事に戻るのが難しそうだった」(13.7%)と続いています。

一方、「産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した」は2.6%、「育児休業を取得できることを知らなかった」は0.7%あります。



(2) 父親【N=1,243】

「父親」では「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が 58.3%で最も多く、次いで、「配偶者が育児休業制度を利用した」(24.7%)、
「仕事が忙しかった」(19.5%)、「職場に育児休業をとりにくい雰囲気があった」「収入減となり、経済的に苦しくなる」(15.8%)が続いています。
一方、「育児休業を取得できることを知らなかった」は 1.3%あります。



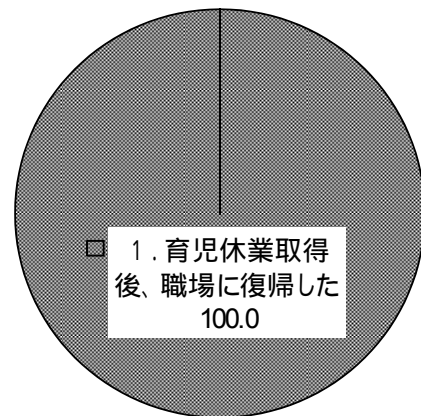
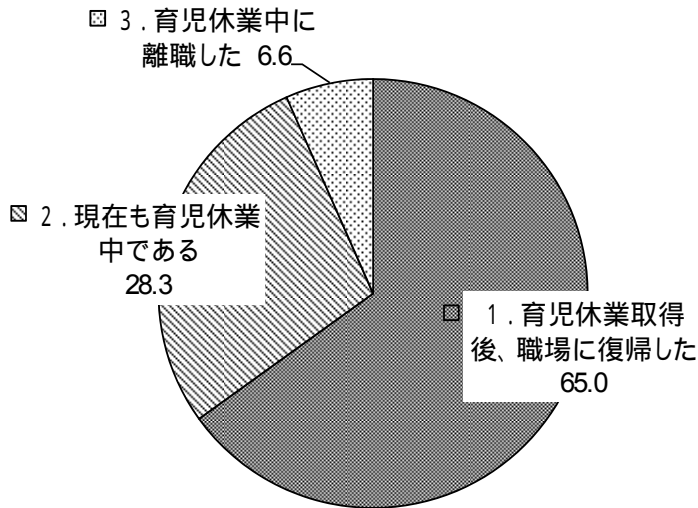
問 28 で「2. 取得した（取得中である）」に つけた方につながります。

問 29 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（いずれかに ）

育児休業取得後に職場に復帰した方は、母親では 65.0%、父親では 100% となっています。

(1) 母親【N=452】

(2) 父親【N=35】



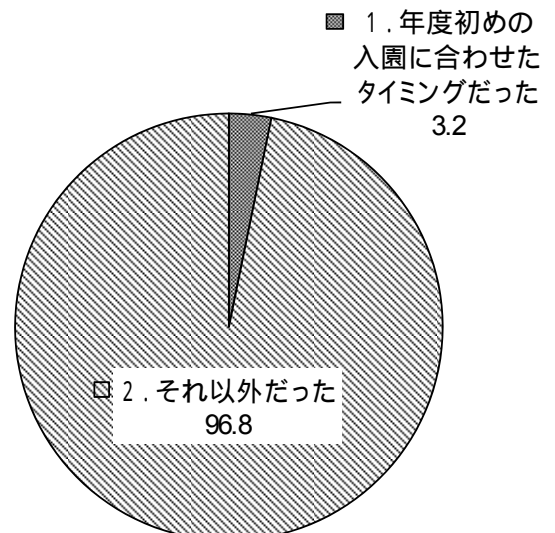
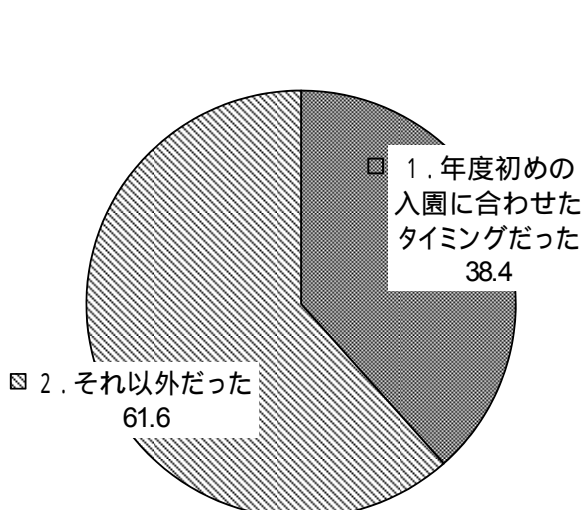
問 29 - ~ は、問 29 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に つけた方につながります。

問 29 - 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育園入園に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（いずれかに ）

育児休業から職場に復帰したタイミングが「年度初めの入園に合わせたタイミングだった」方は、母親では 38.4%、父親では 3.2% (1 人) となっており、「それ以外だった」方が母親では 61.6%、父親では 96.8% となっています。

(1) 母親【N=289】

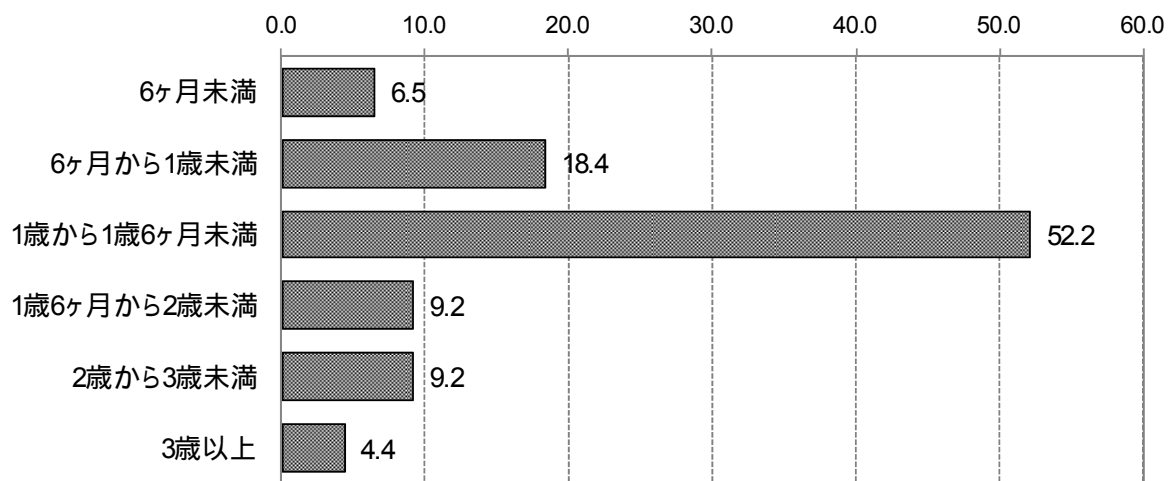
(2) 父親【N=31】



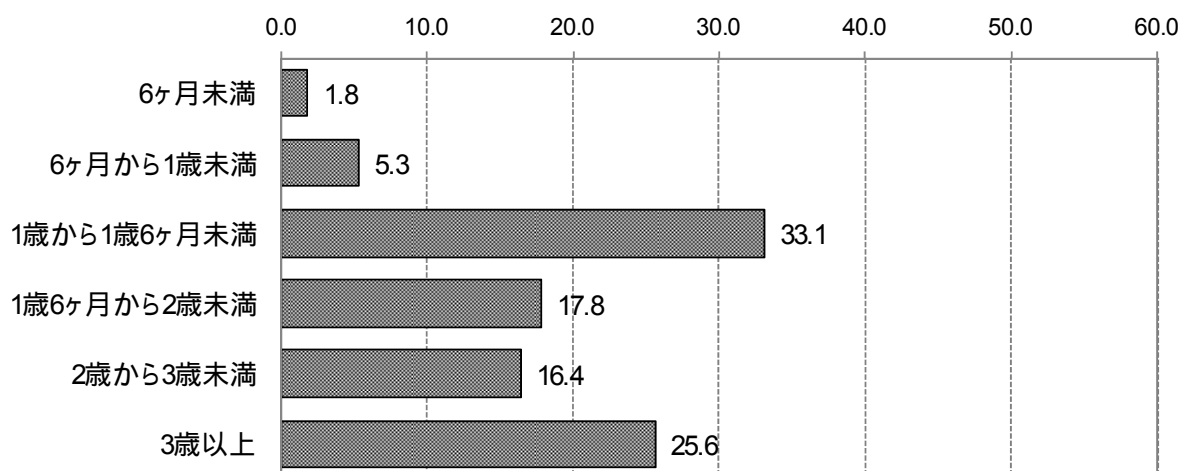
問 29 - 育児休業からは、(ア)「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、(イ)「希望」としては、何歳何か月のときまで取りたかったですか。(数字で記入)

(1) 母親 - 実際【N=293】

実際に、母親が育児休業から職場に復帰したタイミングは、お子さんが「1歳～1歳6か月」が52.2%で最も多く、次いで、「6か月～1歳」が18.4%が続いています。
希望した、育児休業から職場に復帰するタイミングは、実際と同様に「1歳～1歳6か月」が33.1%で最も多く、次いで、「3歳以上」が25.6%となっています。

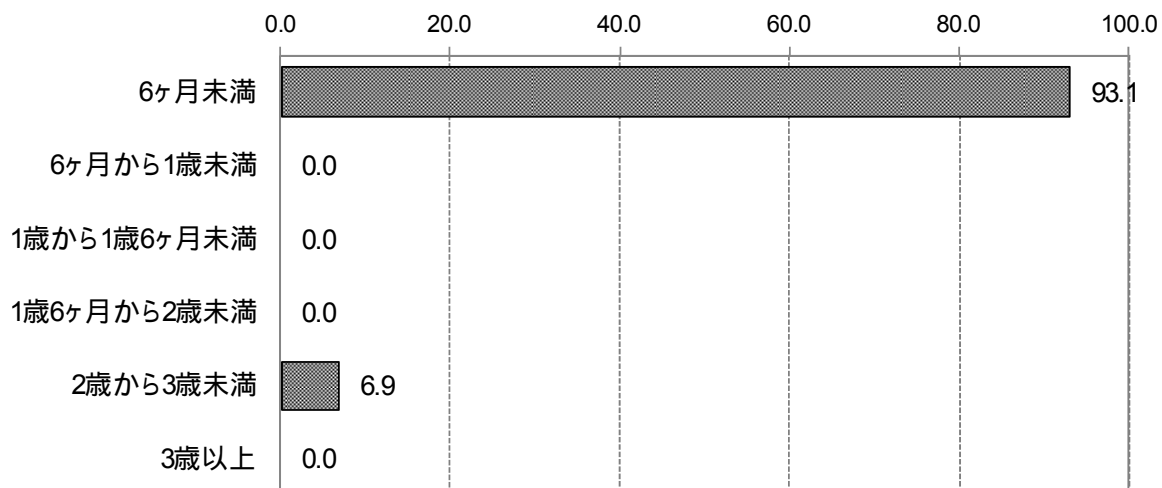


- 希望【N=281】

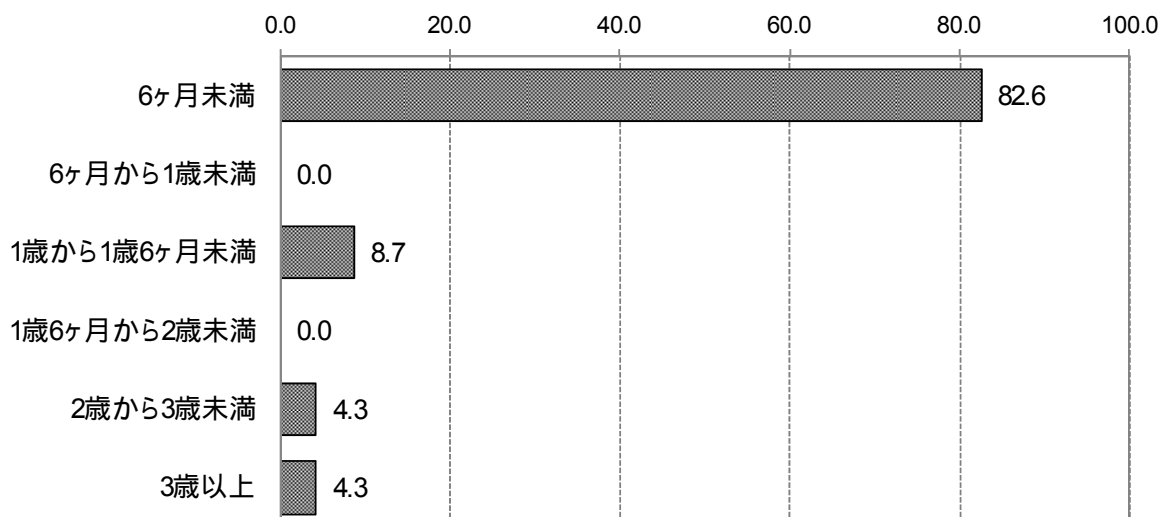


(2) 父親 - 実際【N=29】

実際に、父親が育児休業から職場に復帰したタイミングは、お子さんが「6か月未満」が93.1%で最も多く、「2歳から3歳」は6.9%となっています。
 希望した、育児休業から職場に復帰するタイミングは、実際と同様に「6か月未満」が82.6%で最も多く、「1歳から1歳6ヶ月」が8.7%、「2歳から3歳未満」と「3歳以上」が4.3%となっています。



- 希望【N=23】

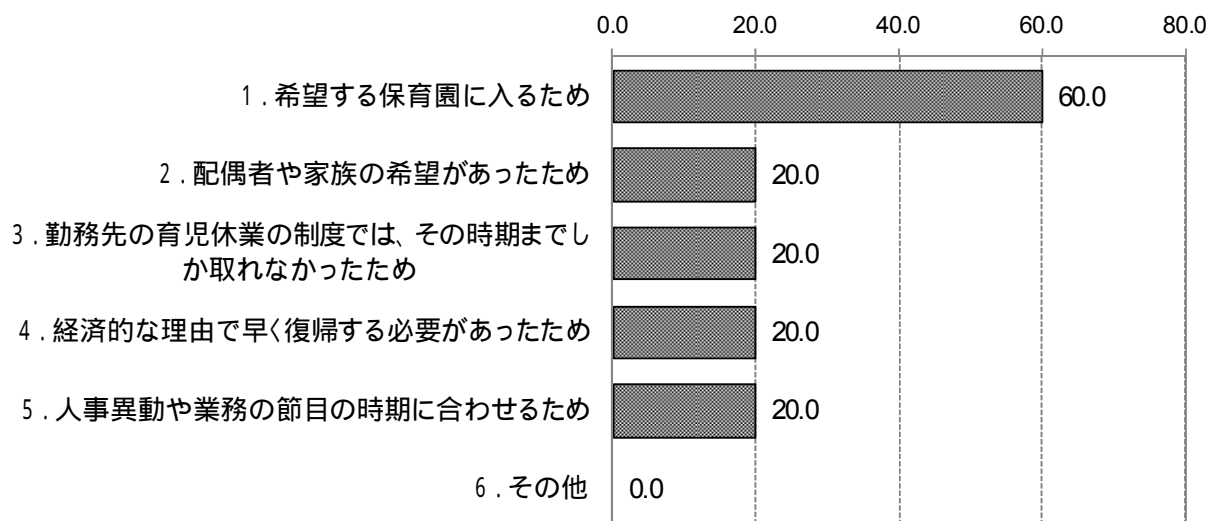


問 29 - 問 29 - で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。
 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか。(あてはまるものすべてに)

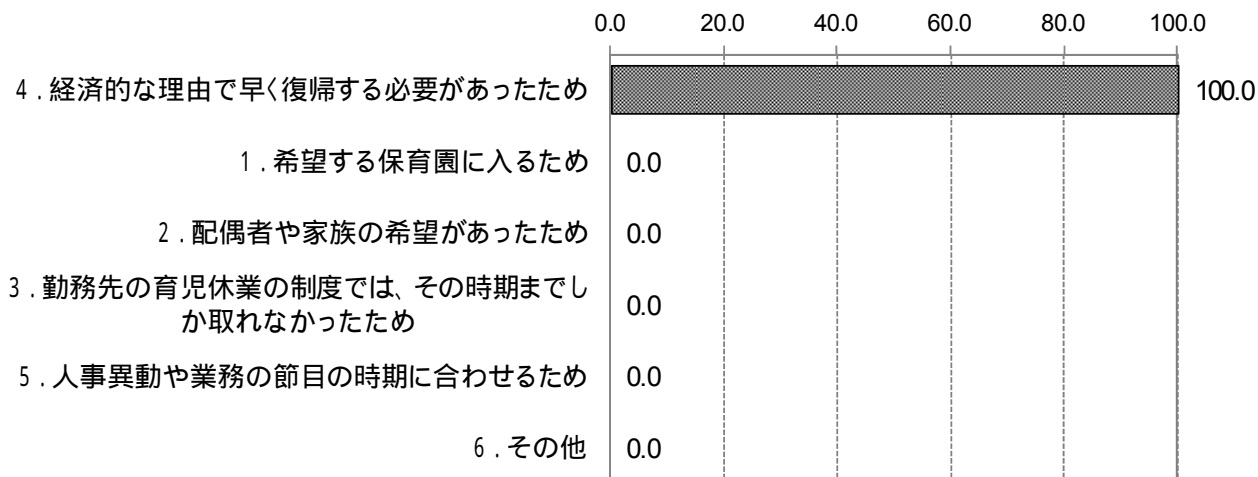
(A) 「希望」より早く復帰した方

希望の時期より早く復帰した理由は、母親では「希望する保育所に入るため」が 60.0% (3 人) で最も多く、その他は 20% (1 人) ずつとなっています。
 父親では、「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」が 100% (1 人) となっています。

(1) 母親【N=5】



(2) 父親【N=1】

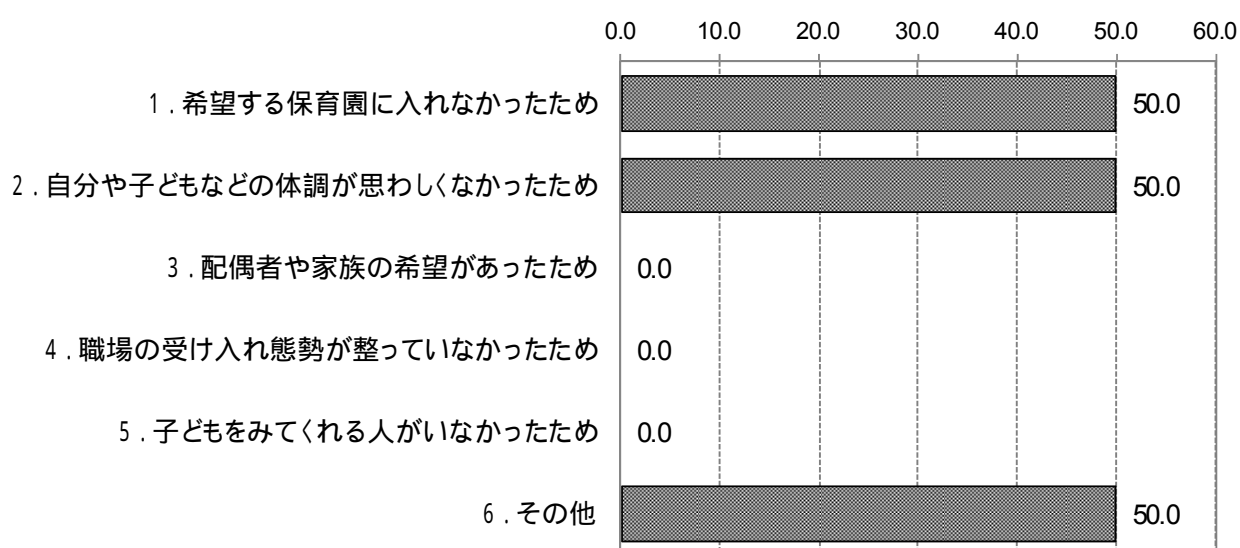


(B) 「希望」より遅く復帰した方

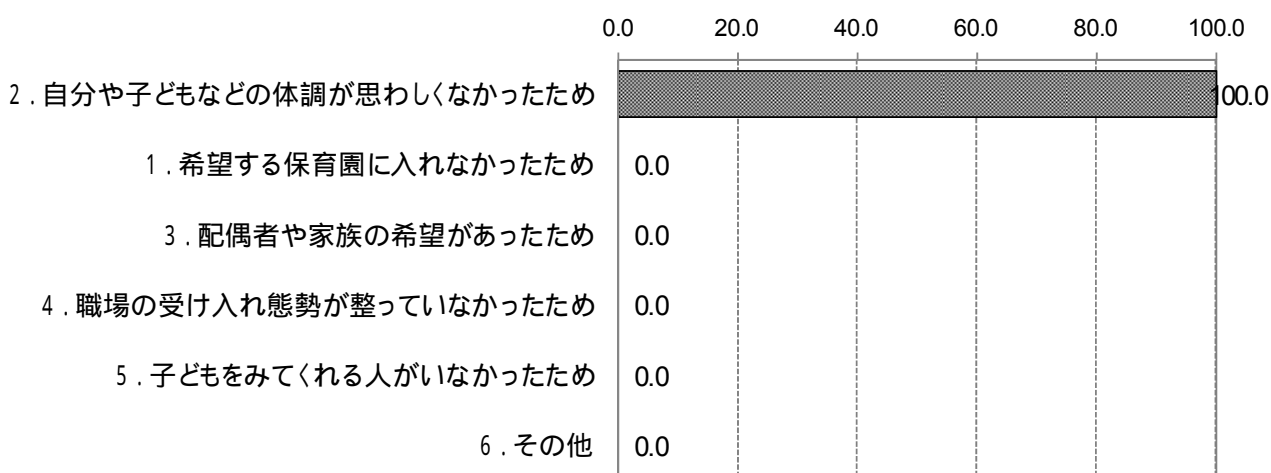
希望の時期より遅く復帰した理由は、母親では「希望する保育所に入れなかったため」と「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」、「その他」が 50.0% (1人) ずつとなっています。

父親では、「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」が 100% (1人) となっています。

(1) 母親【N=2】



(2) 父親【N=1】



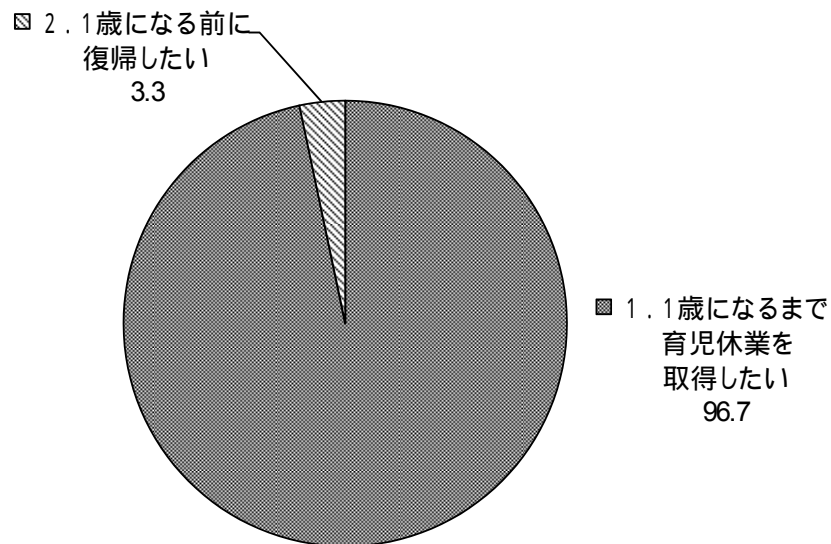
問 29 で「 2 . 現在も育児休業中である」に つけた方にかがいます。

問 29 - あて名のお子さんが 1 歳になったときに必ずお子さんを預けられる教育・保育や子育て支援の事業があれば、1 歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても 1 歳になる前に復帰しますか。(いずれかに)

お子さんが 1 歳になったときに必ずお子さんを預けられる教育・保育や子育て支援の事業があれば、1 歳になるまで育児休業を取得するかどうかについては、母親では、「1 歳になるまで育児休業を取得したい」と考える方が 96.7%を占めています。また、「1 歳になる前に復帰したい」方は 3.3% (4 人) となっています。

「父親」の該当者はいません。

(1) 母親【N=122】



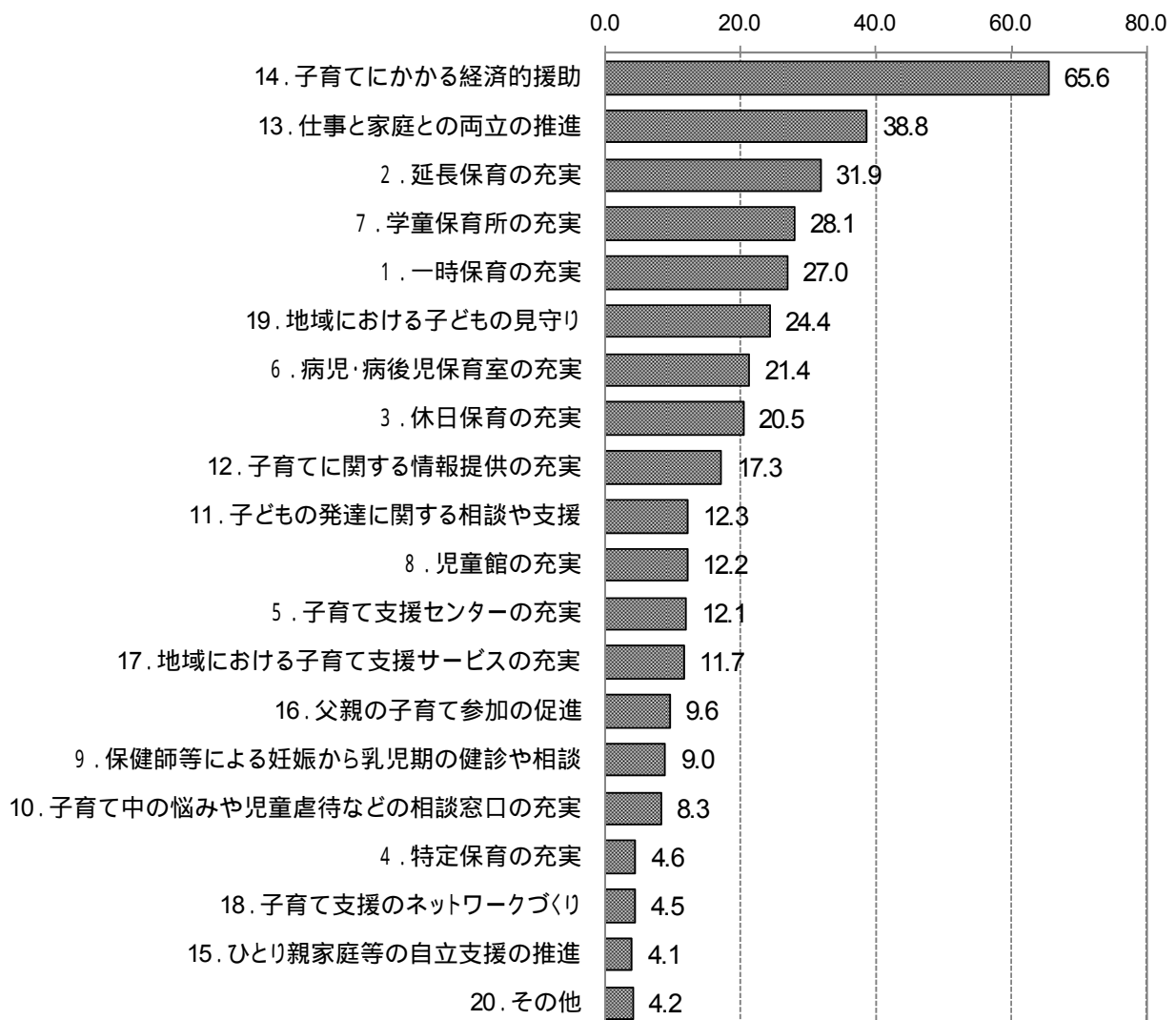
(2) 父親

【該当なし】

子育て全般についてうかがいます

問 30 安心して子どもを産み育てるうえで、今後、市に期待する施策は何ですか。
(は5つまで)【N=1,768】

今後、市に期待する施策は、「子育てにかかる経済的援助」が65.6%で最も多く、次いで、「仕事と家庭生活との両立の推進」(38.8%)となっています。さらに、「延長保育の充実」(31.9%)、「学童保育所の充実」(28.1%)、「一時保育の充実」(27.0%)といった保育内容の充実に対する回答が続いています。



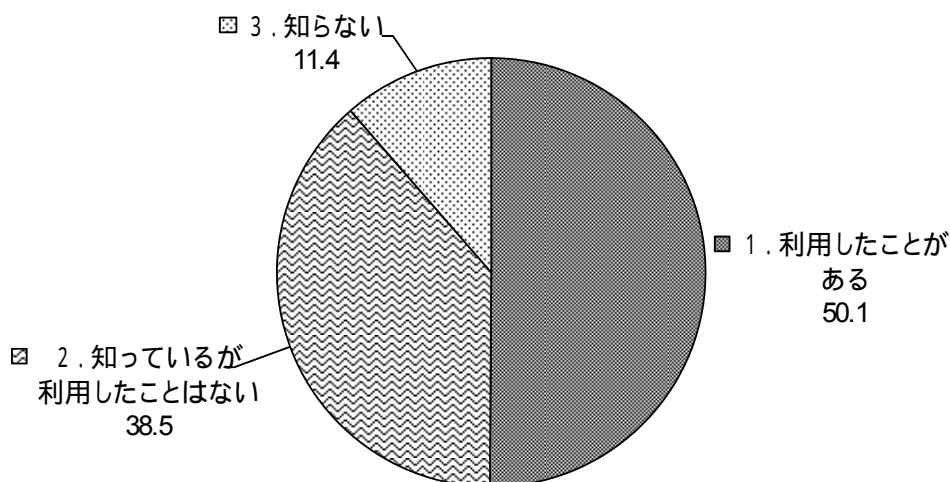
問 31 下の ~ の事業のことはご存じですか。また、利用したことがありますか。
 あてはまる数字にそれぞれ をつけてください。(はひとつずつ)

認知度が高い(「利用したことがある」と「知っているが利用したことはない」の計が多い)事業は、「 保育園のあそぼう会」(92.9%)、「 幼稚園のあそび会」(89.2%)、「 子育て支援センター」(88.6%)、「 児童館」(71.8%)などとなっています。

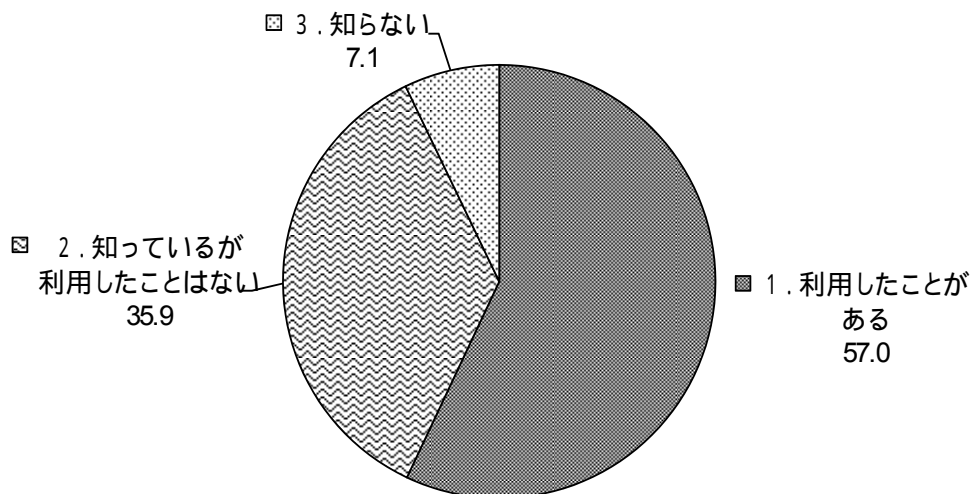
利用度が高い(「利用したことがある」が多い)事業は、「 保育園のあそぼう会」(57.0%)、「 子育て支援センター」(50.1%)、「 幼稚園のあそび会」(46.4%)などとなっています。

一方、認知度が低い(「知らない」が多い)事業は、「 ショートステイ「エスペランス四日市」」(77.3%)、「 発達総合支援室」(58.5%)、「 家庭児童相談室」(49.2%)などとなっています。

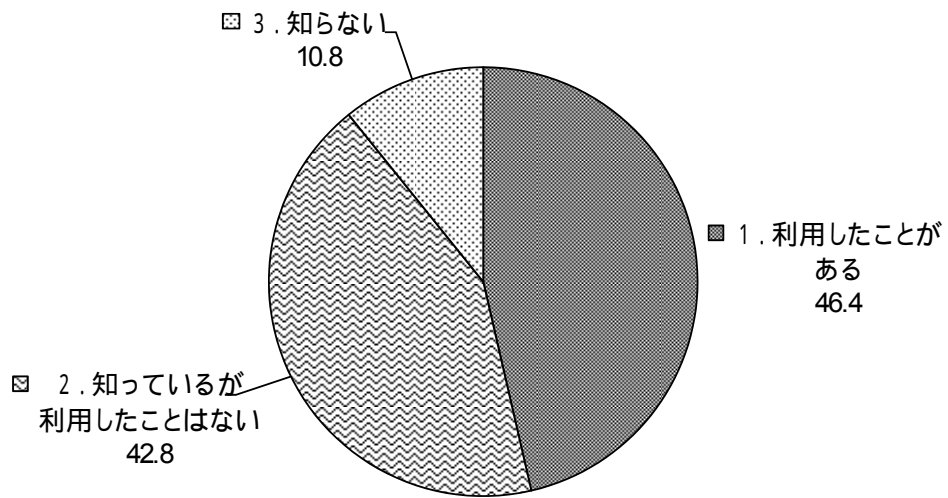
子育て支援センター (塩浜や橋北など、市内 16 か所)【N=1,871】



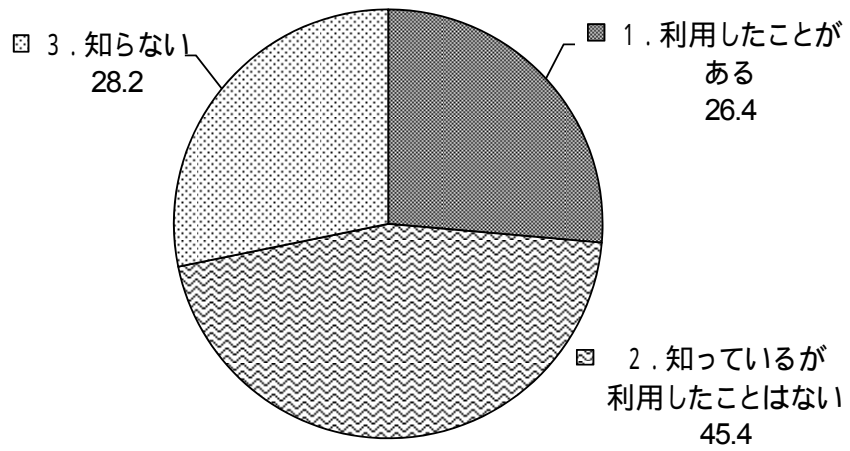
保育園のあそぼう会【N=1,876】



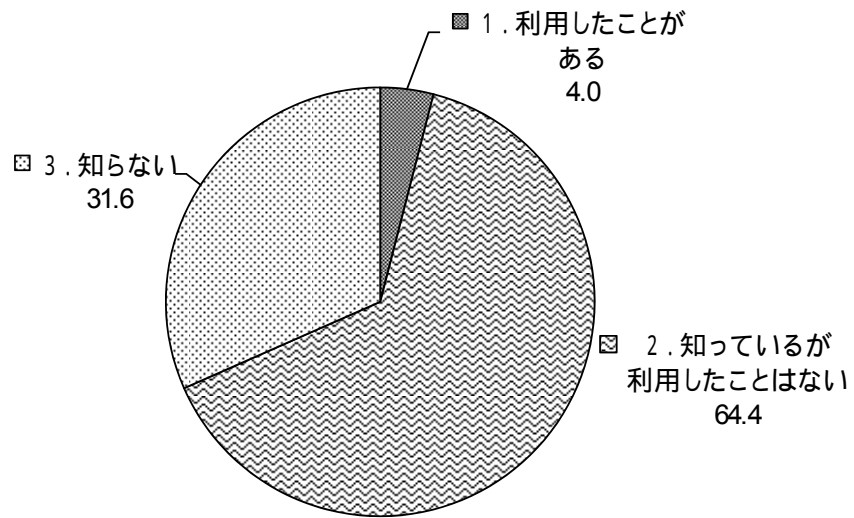
幼稚園のあそび会【N=1,864】



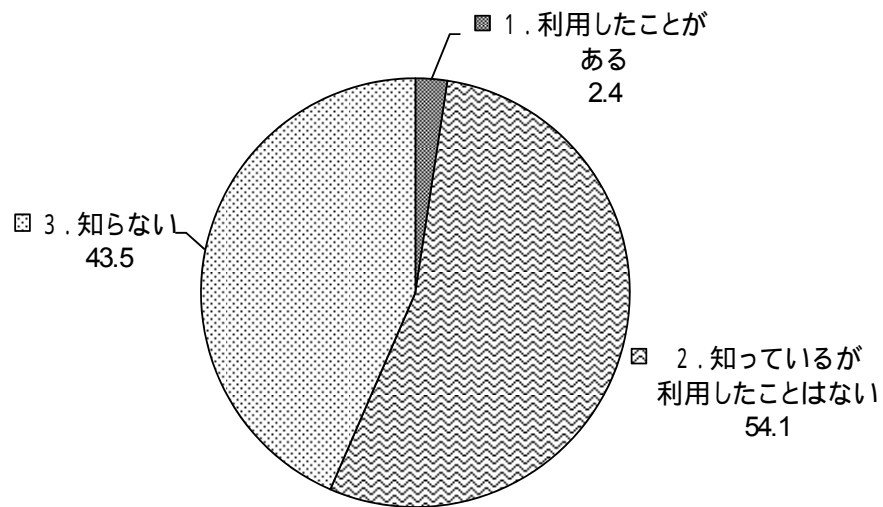
児童館【N=1,855】



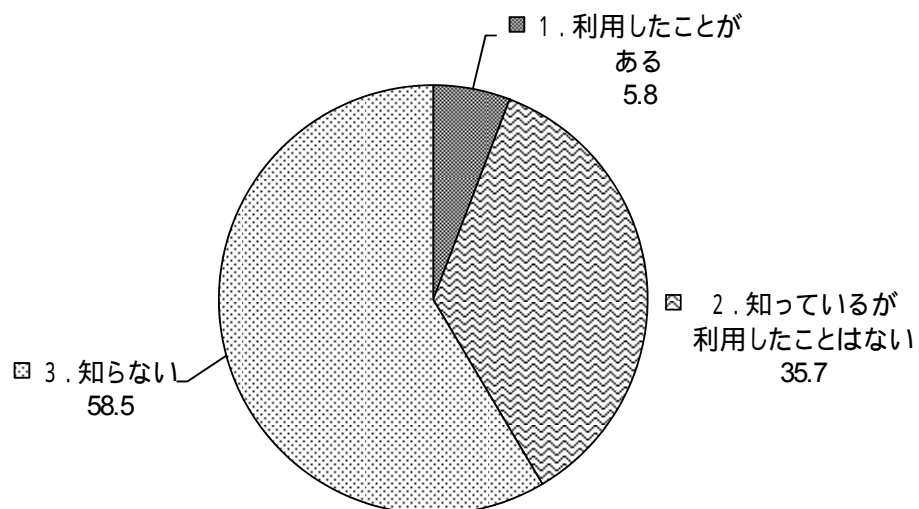
病児・病後児保育室「カンガルーム」【N=1,836】



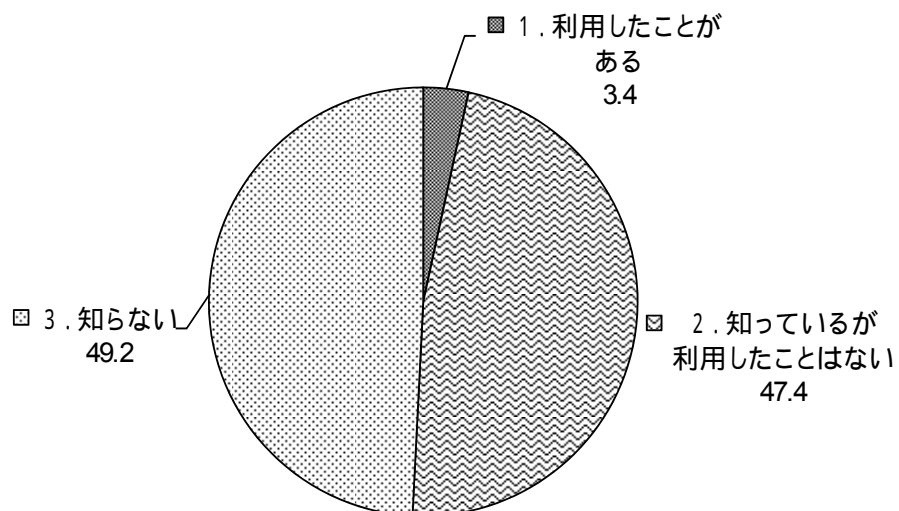
ファミリー・サポート・センター【N=1,836】



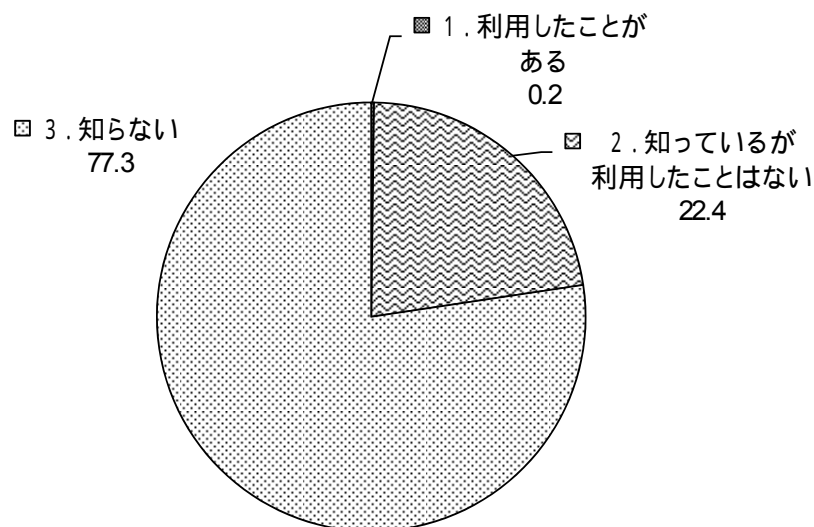
発達総合支援室（子どもの発達に関する相談）【N=1,835】



家庭児童相談室（子どもの心配ごとなどの相談）【N=1,834】

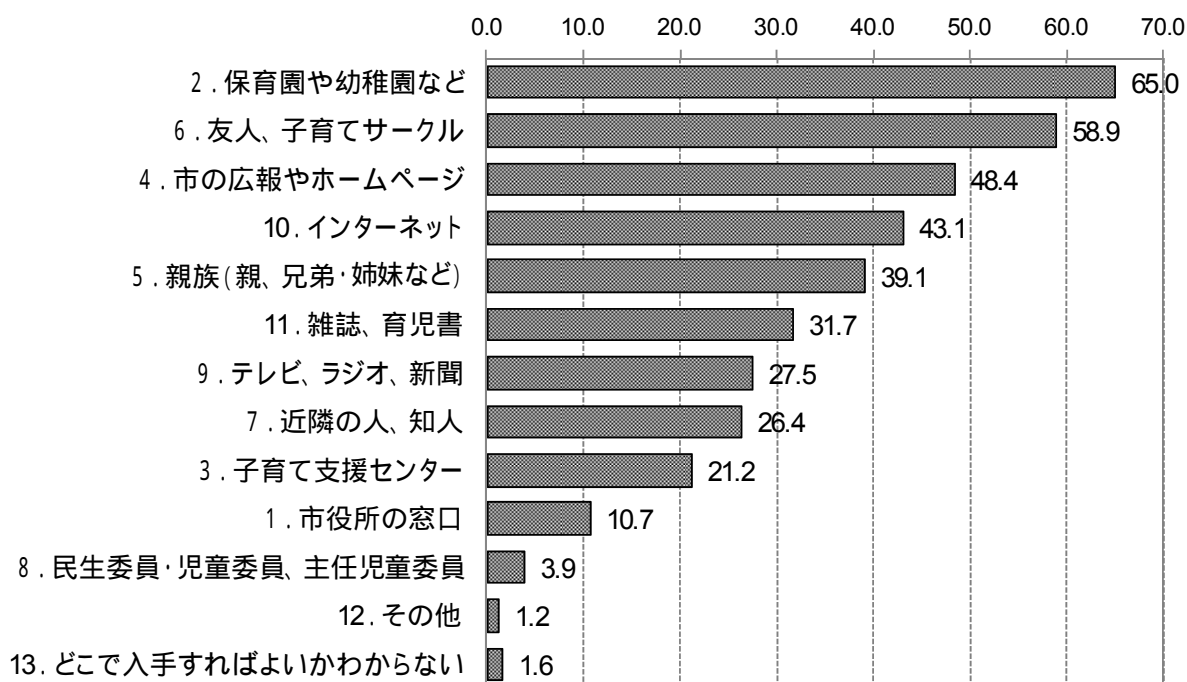


ショートステイ「エスペランス四日市」【N=1,832】



問 32 子育てに関する情報をどのように入手していますか。(あてはまるものすべてに)【N=1,895】

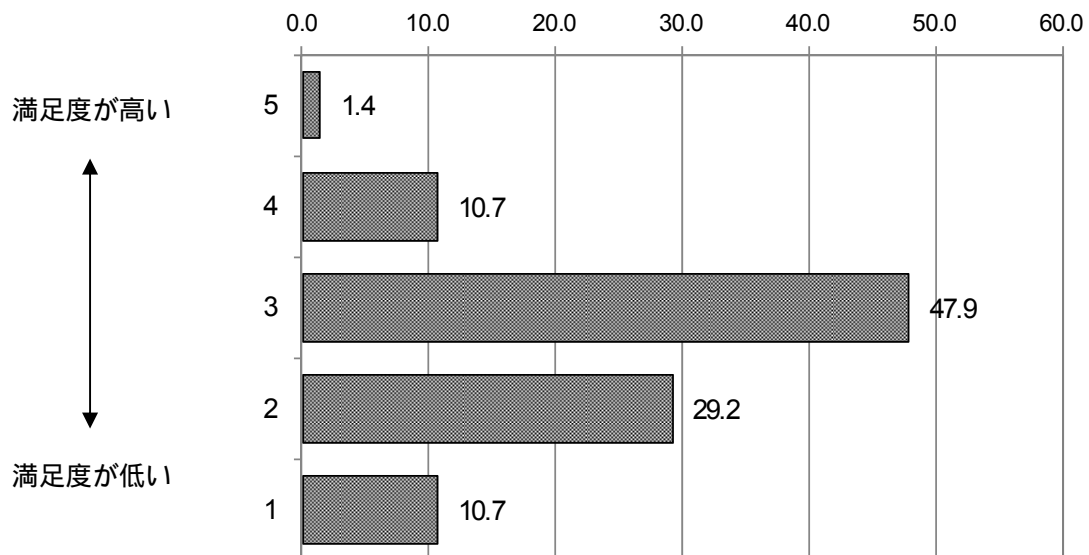
子育てに関する情報の入手方法は、「保育園や幼稚園など」が65.0%で最も多く、「友人、子育てサークル」が58.9%、「市の広報やホームページ」が48.4%が続いています。一方、「どこで入手すればよいかわからない」方は1.6%になります。



問 33 四日市市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号 1 つに をつけてください。(はひとつ)【N=1,882】

四日市市における子育ての環境や支援への満足度は、満足と不満の中間の「3」を選んだ方が 47.9%で最も多くなっています。

満足度の低い「1」や「2」を選んだ方は合わせて 39.9%あり、満足度の高い「5」や「4」を選んだ方(12.1%)を大きく上回っています。



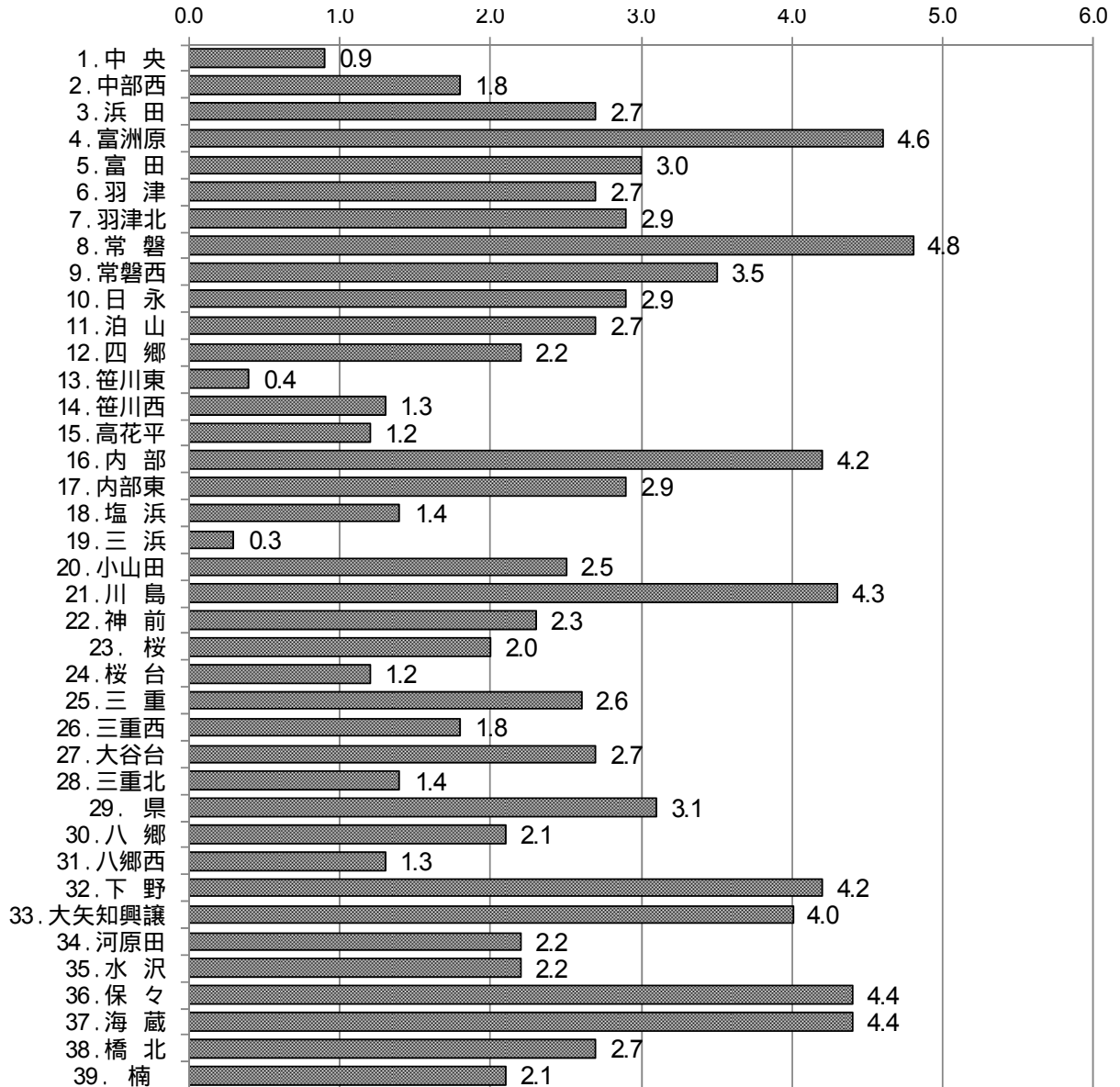
問 34 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。(自由記述)

【今回の資料では省略します】

【小学校児童用調査結果・速報】

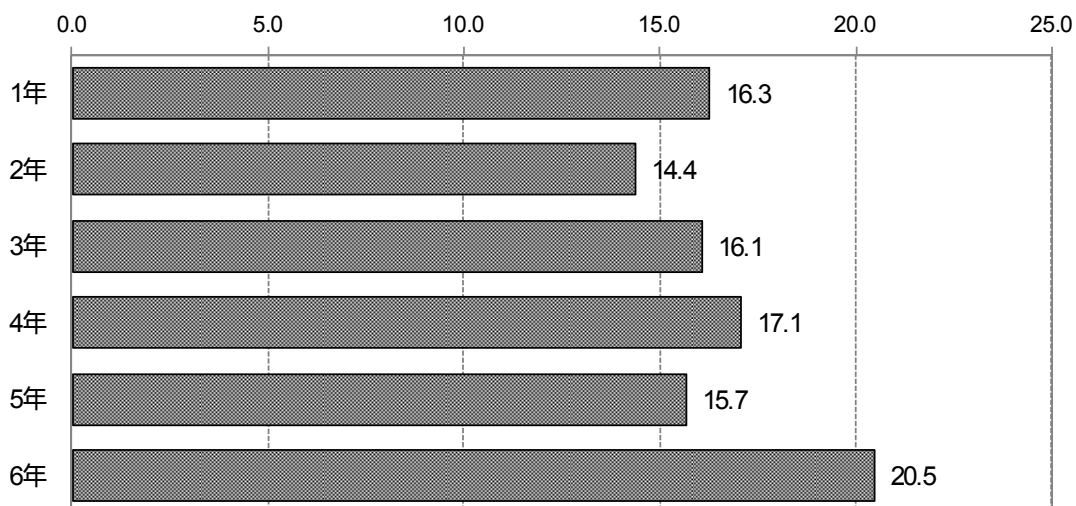
お住まいの地域についてうかがいます

問 1 お住まいの地域の小学校区は、どちらですか。(はひとつ)【N=768】

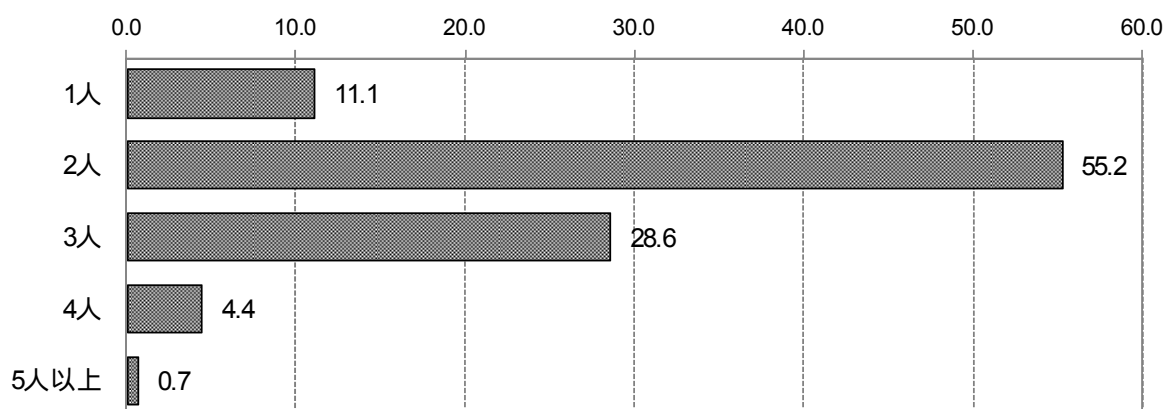


封筒のあて名のお子さんをご家族の状況についてうかがいます

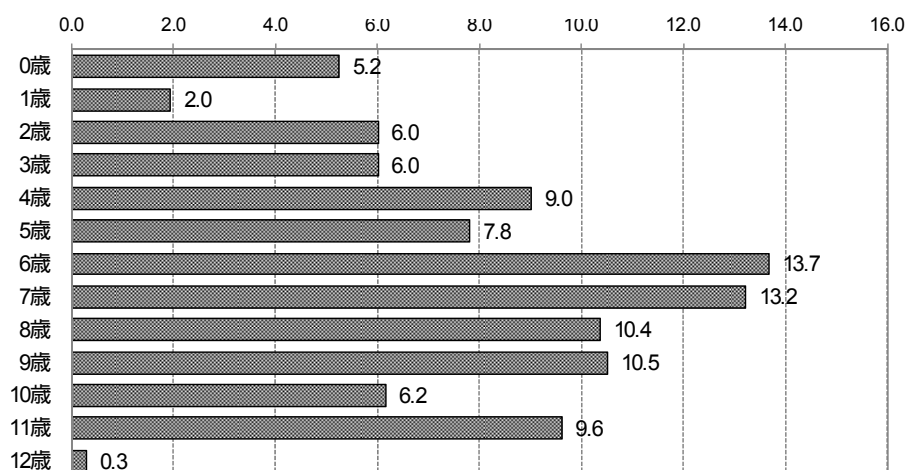
問2 あて名のお子さんの生年月と学年をご記入ください。(数字で記入)【N=797】



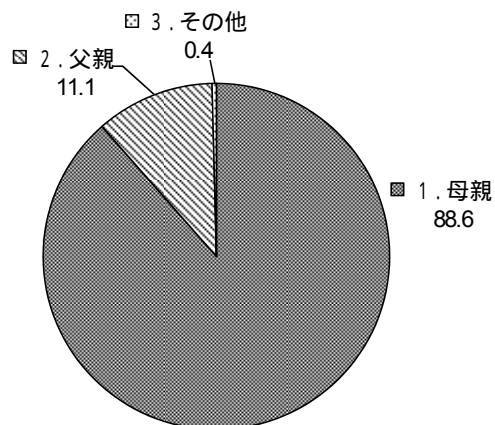
問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。【N=766】



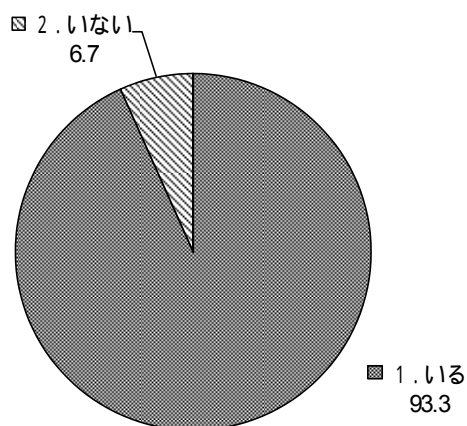
また、2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月
をご記入ください。(数字で記入)【N=665】



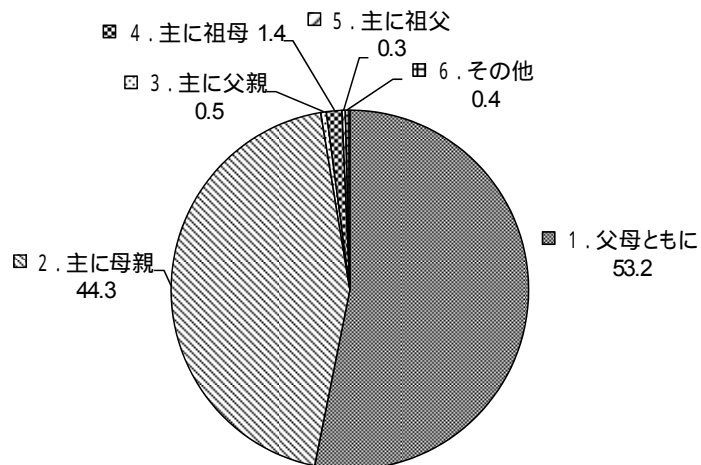
問 4 このアンケートにご回答いただいている方の、あて名のお子さんからみた関係をお答えください。(はひとつ)【N=796】



問 5 このアンケートにご回答いただいている方に、配偶者はいらっしゃいますか。(どちらかに)【N=791】



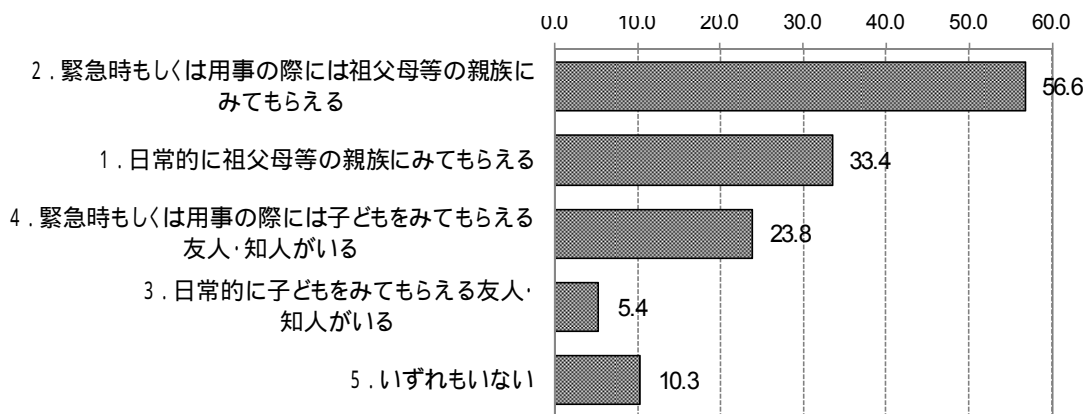
問 6 あて名のお子さんの子育てを主に行っている方は、あて名のお子さんからみてどなたですか。(はひとつ)【N=795】



子どもの育ちをめぐる環境についてうかがいます

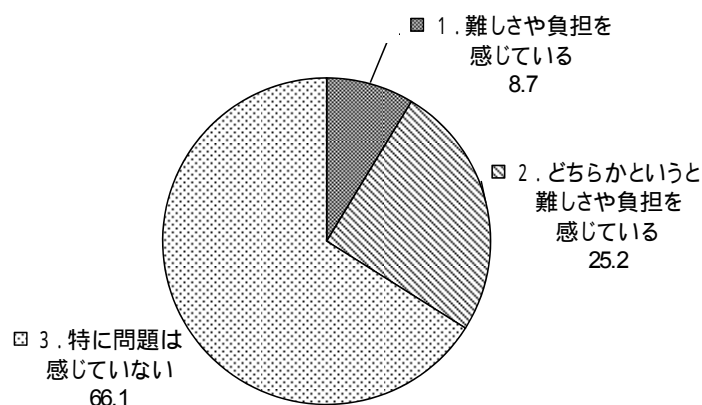
問 7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。(あてはまるものすべてに)【N=785】

日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人がいるかどうかについては、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が56.6%で最も多くなっています。次いで、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が33.4%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が23.8%が続いています。一方、10.3%の人が「いずれもない」と回答しています。



問 7 - 問 7 で「1」～「4」に をつけた方にうかがいます。お子さんをみてもらっている状況について、あなたはどのように感じていますか。(はひとつ)【N=699】

お子さんを親族や知人にみてもらっている状況については、「難しさや負担を感じている」(8.7%)と「どちらかというとなんか難しさや負担を感じている」(25.2%)の負担感を感じている方を合わせると33.9%となっていますが、「特に問題は感じていない」と回答した方が66.1%と、負担感を感じている人の約2倍に上っています。



問 7 - 問 7 で「5. いずれもない」に をつけた方にうかがいます。子育てをする上で、周囲(身近な人、行政担当者など)からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。(自由記述)

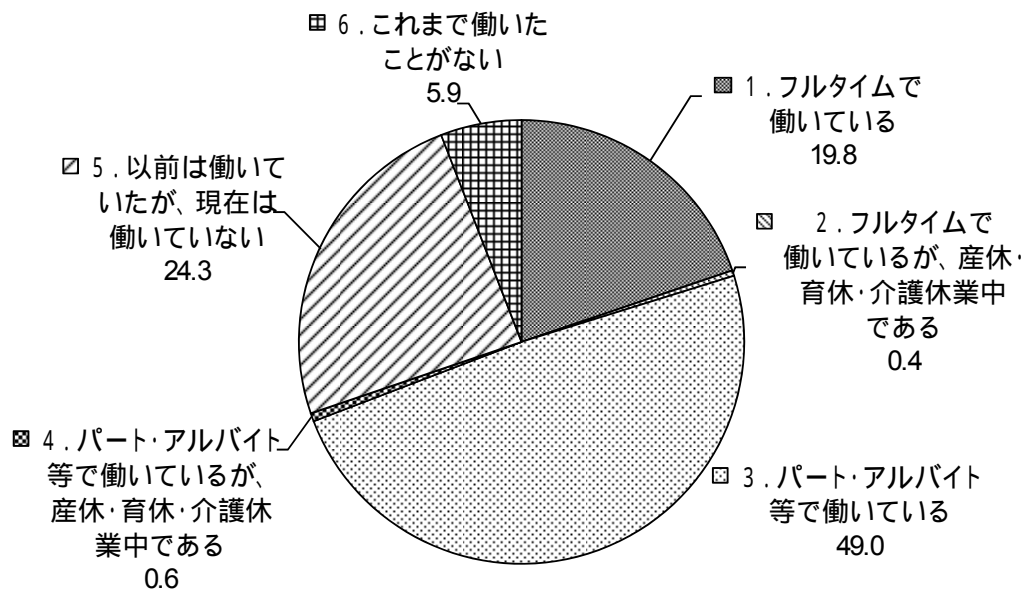
【今回の資料では省略します】

あて名のお子さんの母親の就労状況についてうかがいます

問 8 あて名のお子さんの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（ はひとつ）【N=782】

母親の現在の就労状況は、「パート・アルバイト等で働いている」が49.0%で最も多く、産休・育休・介護休業中（0.6%）を合わせて約50%がパート・アルバイト等という状況です。一方、「フルタイムで働いている」は19.8%で、産休・育休・介護休業中（0.4%）を合わせてフルタイムは約20%にとどまっています。

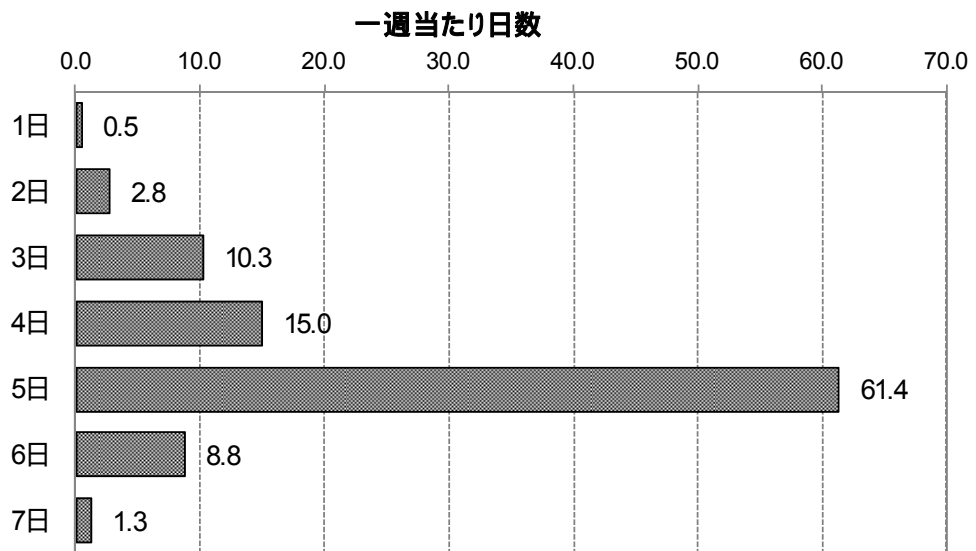
また、「以前は働いていたが、現在は働いていない」「これまで働いたことがない」を合わせて約30%の人が働いていないという状況です。



問9 問8で「1」～「4」に つけた方にうかがいます。
 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。（数字で記入）

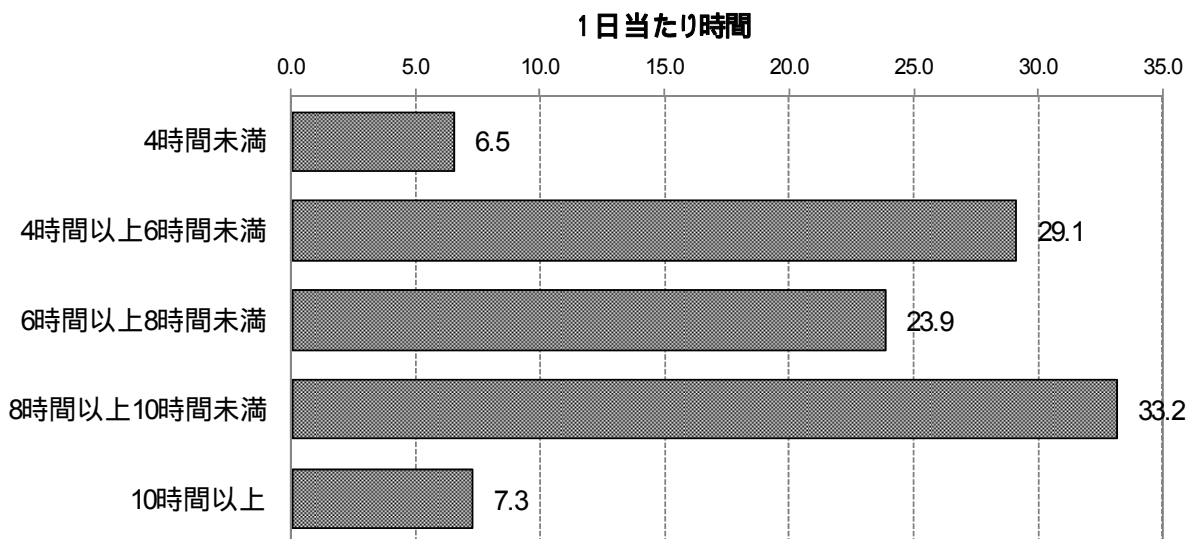
(1) 就労日数【N=399】

母親の週当たりの就労日数は、「5日」が61.4%占め最も多くなっています。



(1) 就労時間【N=398】

1日当たりの就労時間は、「8時間以上10時間未満」が33.2%で最も多く、「4時間以上6時間未満」が29.1%が続いています



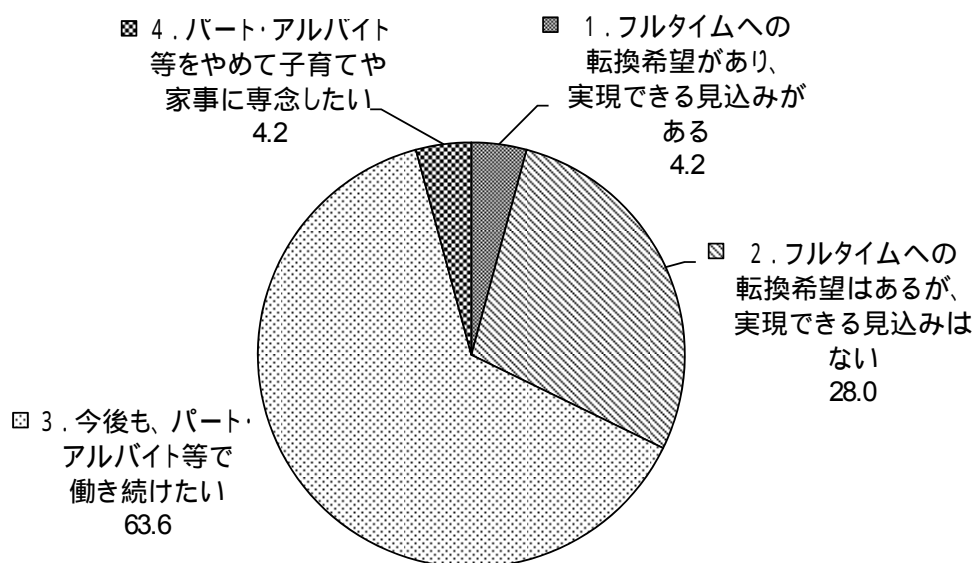
(2) 家を出る時刻、帰宅時刻

【今回の資料では省略します】

問 10 問 9 で「3」または「4」に つけた方 にかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。(はひとつ)【N=382】

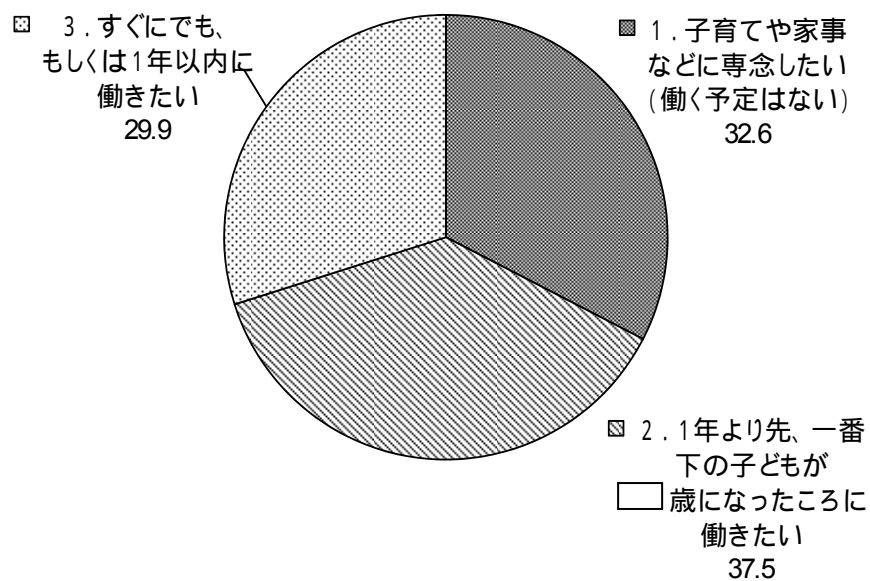
現在パート・アルバイト等で働いている方のフルタイムへの転換希望は、「今後も、パート・アルバイト等で働きたい」が 63.6%を占めます。

「フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない」が 28.0%である一方、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は 4.2%となっており、約 30%の人が転換を希望していますが、実現の見込みは僅かという状況です。

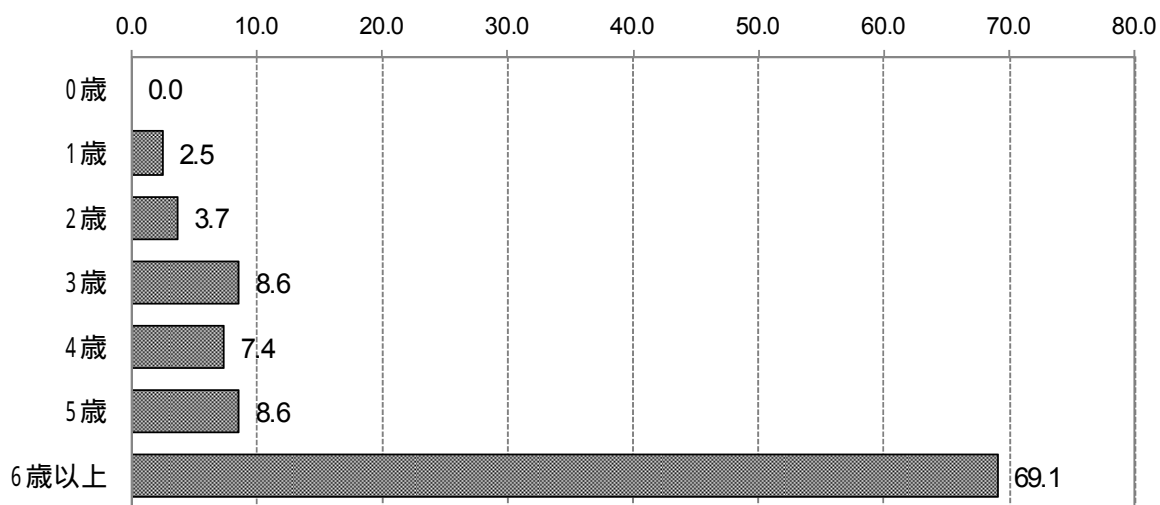


問 11 問 8 で「 5 」または「 6 」に つけた方にうかがいます。
 働きたいという希望はありますか。(はひとつ)【N=224】

現在働いていない方の就労希望は、「 1 年より先、一番下の子どもが 歳になったころに働きたい」が 37.5% を占めて最も多くなっており、「すぐにでも、もしくは 1 年以内に働きたい」(29.9%) を合わせると『働きたい』方は 67.4% に上っています。一方、「子育てや家事などに専念したい(働く予定はない)」方は 32.6% で 2 番目に多くなっています。
 1 番下の子どもが「 6 歳以上」になったら働きたいと考える方が 69.1% に上ります。



「 2 」を選んだ方は希望する年齢を記入してください。【N=81】



「3」を選んだ方は希望する働き方1つにし、パートタイム・アルバイト等を希望の方は希望就労日数・時間を数字で記入してください。

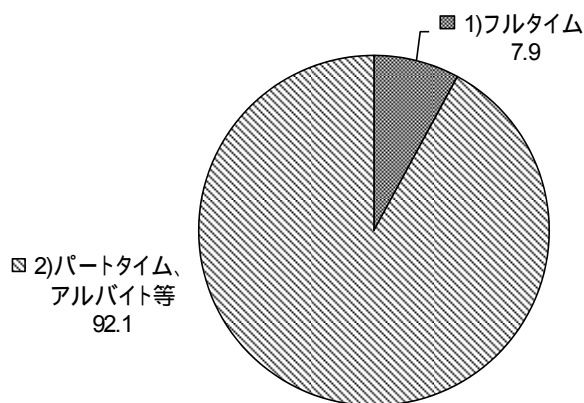
【N=63】

すぐにも、もしくは1年以内に働きたい方の希望する働き方は、「パートタイム、アルバイト等」が92.1%を占め、「フルタイム」は7.9%（5人）となっています。

パートタイム、アルバイト等で就労する場合の1週当たりの希望日数は、「4日」が42.1%で最も多く、次いで、「5日」（35.1%）、「3日」（21.1%）と続いています。

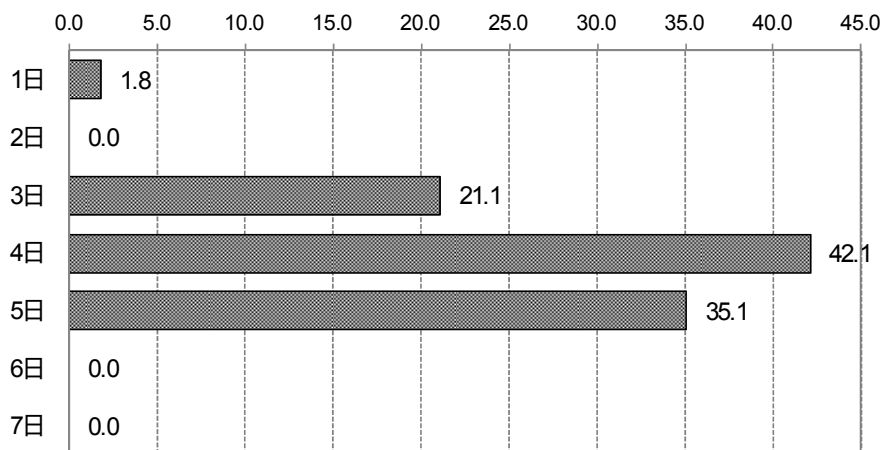
1日当たりの希望時間は、「4～6時間」が80%以上を占め、最も多くなっています。

希望する働き方



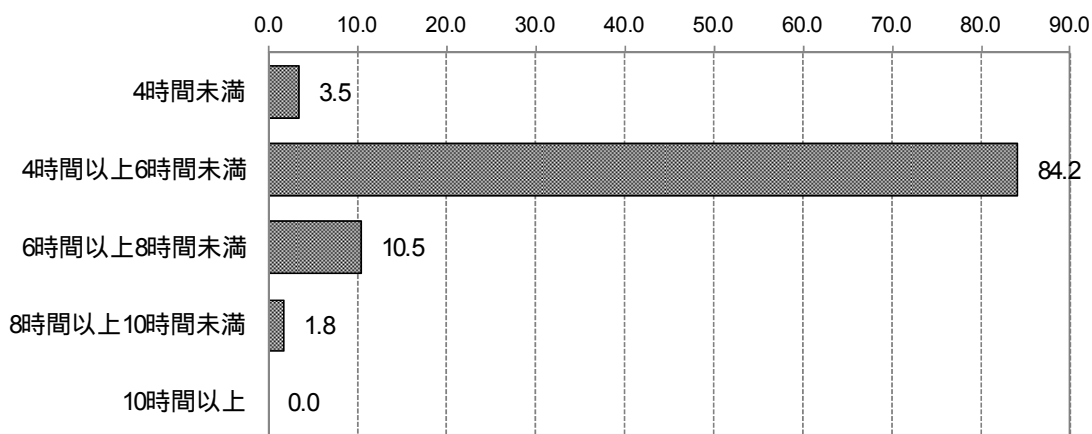
【N=57】

1週当たりの日数（2）パートタイム、アルバイト等）



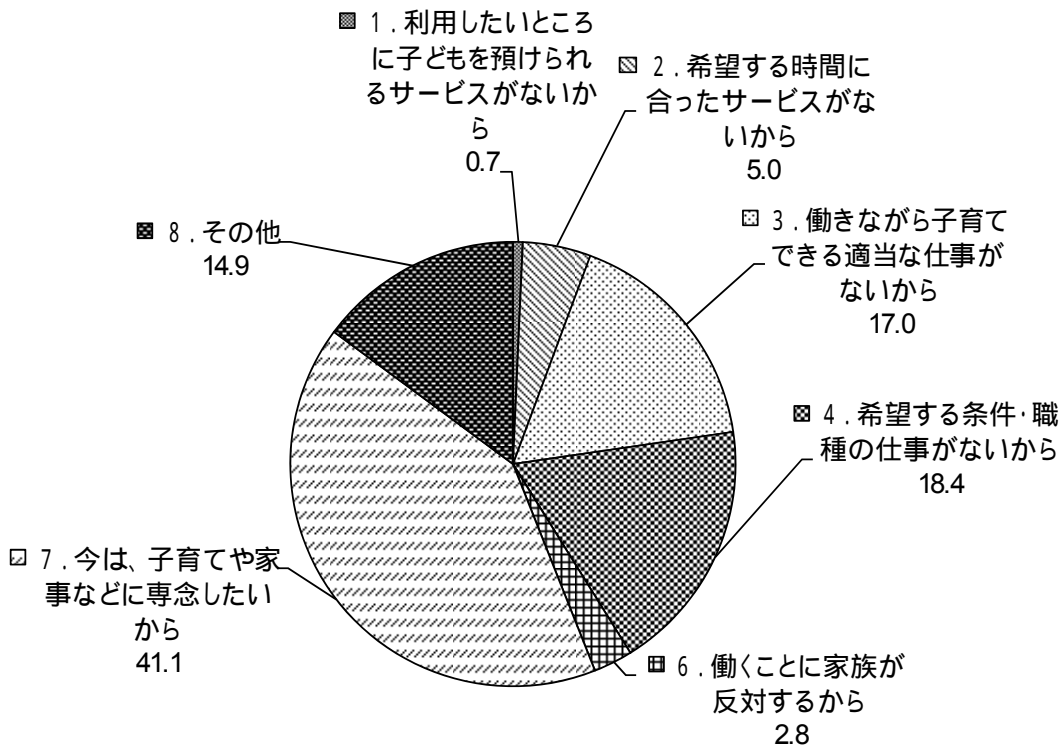
【N=57】

1日当たりの時間（2）パートタイム、アルバイト等）



問 11 - 問 11 で「 2 」または「 3 」に をつけた方にうかがいます。
 働く希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。(もっとも近いもの 1 つに)【N=141】

働く希望がありながら働いていない理由は、「今は、子育てや家事などに専念したいから」が 41.1%を占める一方、「希望する条件・職種の仕事がないから」(18.4%)、「働きながら子育てできる適当な仕事がないから」(17.0%)など、仕事のないことが原因であるとの回答が一定数に上ります。

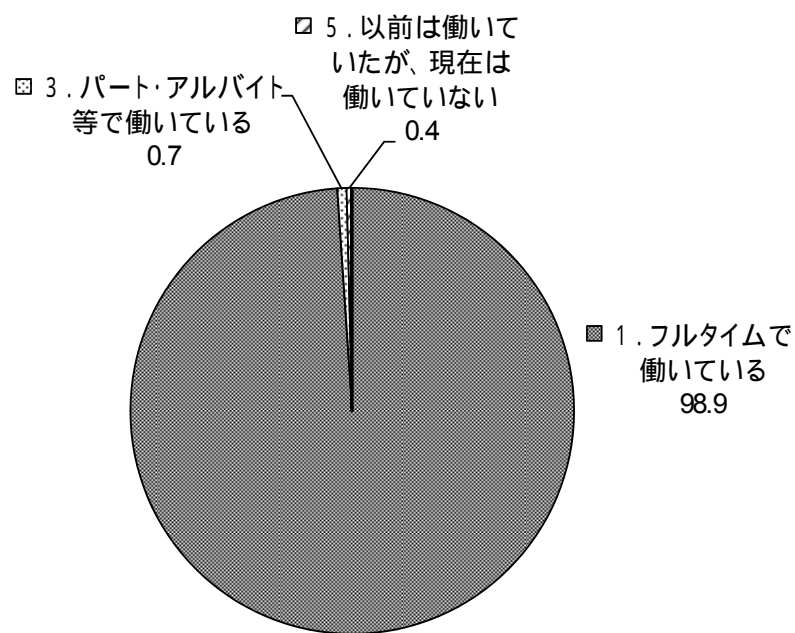


あて名のお子さんの父親の就労状況についてうかがいます

問 12 あて名のお子さんの父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をお答えください。（ はひとつ）【N=743】

父親の現在の就労状況は、「フルタイムで働いている」が98.9%を占めています。「以前は働いていたが、現在は働いていない」は0.4%（3人）、「パート・アルバイト等で働いている」は0.7%（5人）となっています。

一方、「フルタイムで働いているが、育休・介護休業中である」はいません。

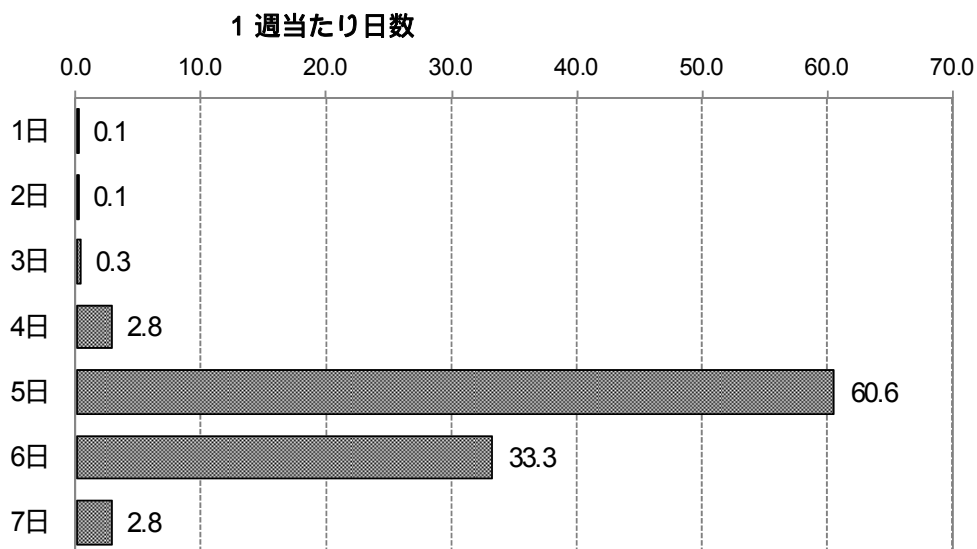


問 13 問 12 で「1」～「4」に をつけた方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間（残業時間を含む）」、家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。（数字で記入）

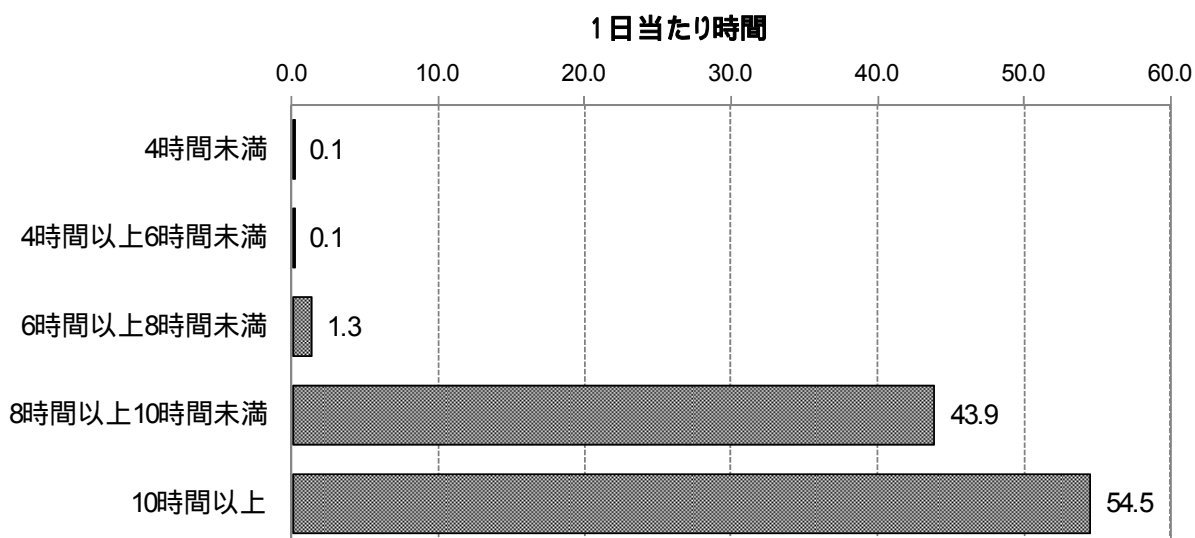
(1) 就労日数【N=726】

父親の週当たりの就労日数は、「5日」が60.6%占め最も多くなっています。



(1) 就労時間【N=701】

1日当たりの就労時間は、「10時間以上」が54.5%で最も多く、「8時間以上10時間未満」が43.9%で続いています

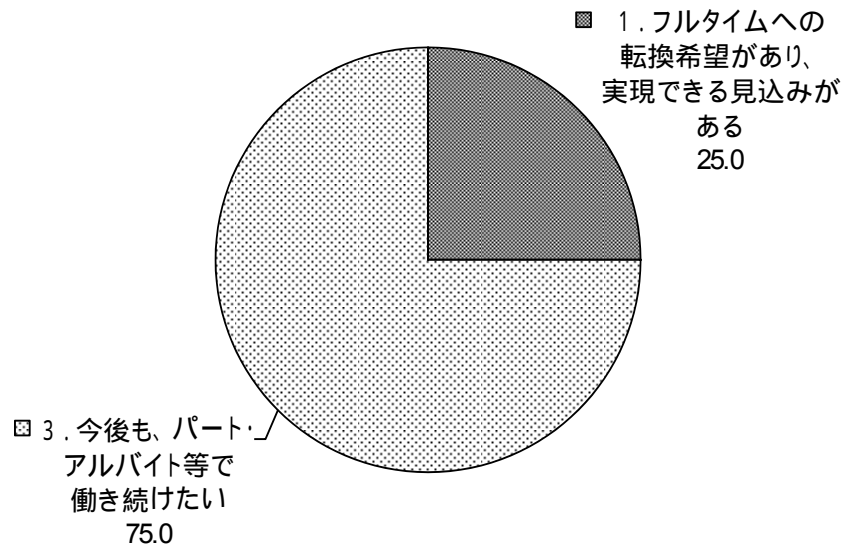


(2) 家を出る時刻、帰宅時刻

【今回の資料では省略します】

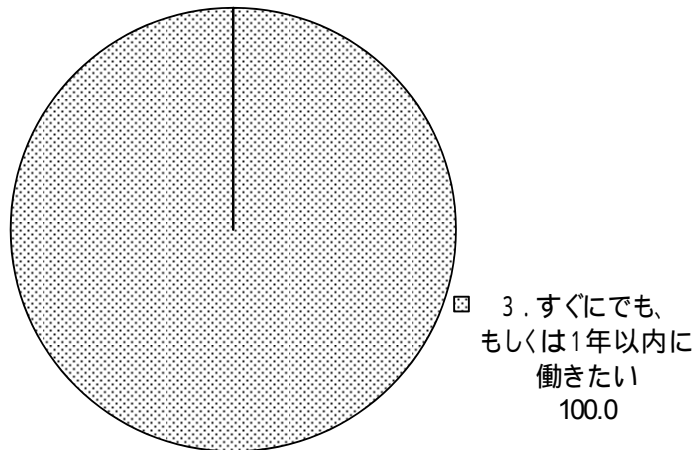
問 14 問 12 で「3」または「4」に をつけた方にかがいます。
フルタイムへの転換希望はありますか。(はひとつ)【N=4】

現在パート・アルバイト等で働いている方のフルタイムへの転換希望は、「今後も、パート・アルバイト等で働きたい」は75.0%(3人)、「フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある」は25.0%(1人)となっています。



問 15 問 12 で「5」または「6」に をつけた方にうかがいます。
働きたいという希望はありますか。(はひとつ)【N=1】

現在働いていない方の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に働きたい」が100%
(1人)となっています。



【-2 年齢 回答なし】

【-3 希望する働き方 回答なし】

【-3 1週当たり日数 回答なし】

問 15 - 問 15 で「2」または「3」に をつけた方にうかがいます。
働く希望がありながら、現在働いていない理由は何ですか。(もっとも近いもの1つに)

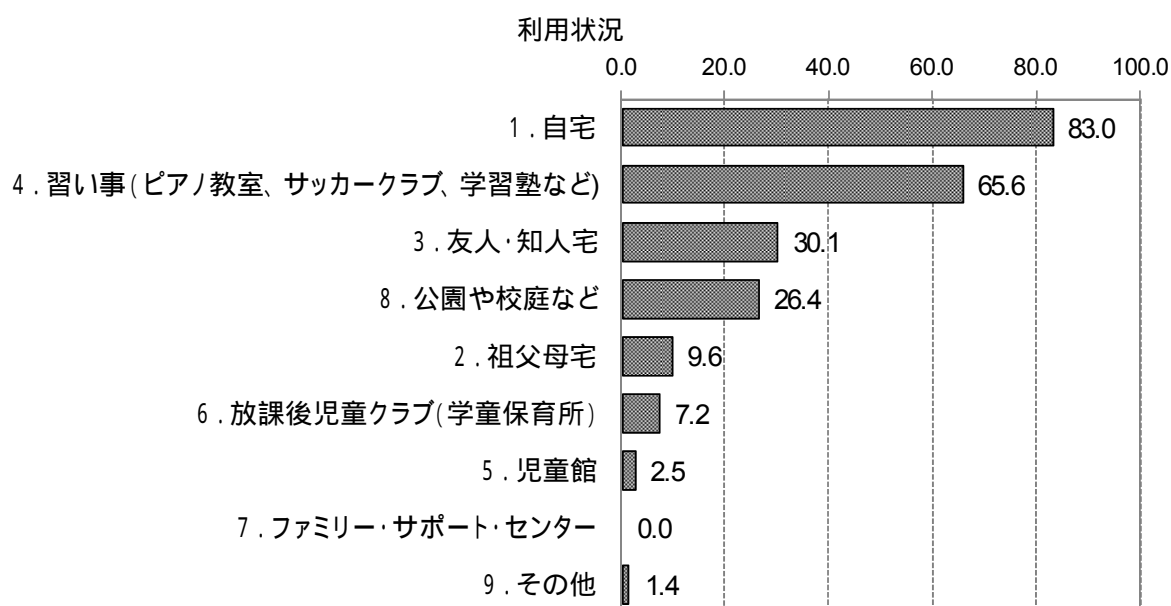
【回答なし】

あて名のお子さんの「現在の」放課後の過ごし方について うかがいます

問 16 あて名のお子さんについて、現在、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごしていますか。（あてはまるものすべてに、日数を数字で記入）【N=793】

現在のお子さんの放課後の過ごし方については、「自宅」が83.0%で最も多く、次いで、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（65.6%）、「友人・知人宅」（30.1%）が続いています。

一方、「放課後児童クラブ（学童保育所）」は7.2%、「児童館」は2.5%となっており、「ファミリー・サポート・センター」の利用はありません。



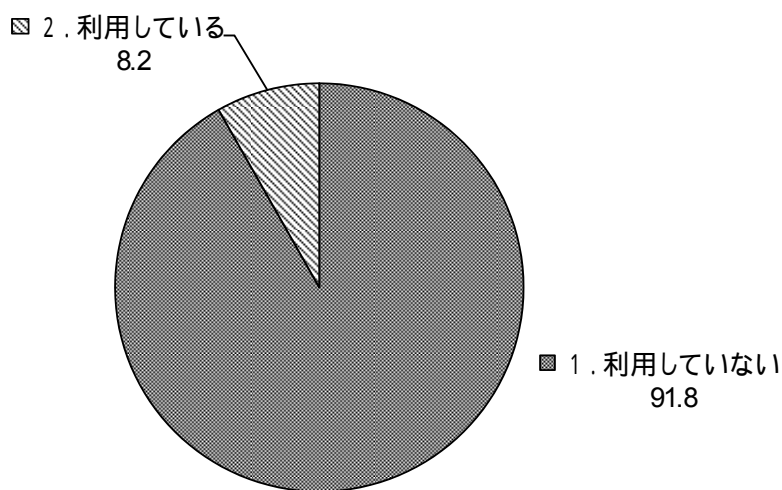
【日数については、今回の資料では省略します】

問 17 あて名のお子さんについて、現在、放課後児童クラブ（学童保育所）を利用していますか。（ はひとつずつ、時間を数字で記入）

放課後児童クラブの利用状況は、平日の放課後が 8.2%、土曜日が 1.4%（11人）、日曜・祝日が 0.5%（4人）、長期休暇期間中が 8.9%となっており、長期休暇期間中の利用がやや多くなっていますが、利用している人の割合は 10%未満です。

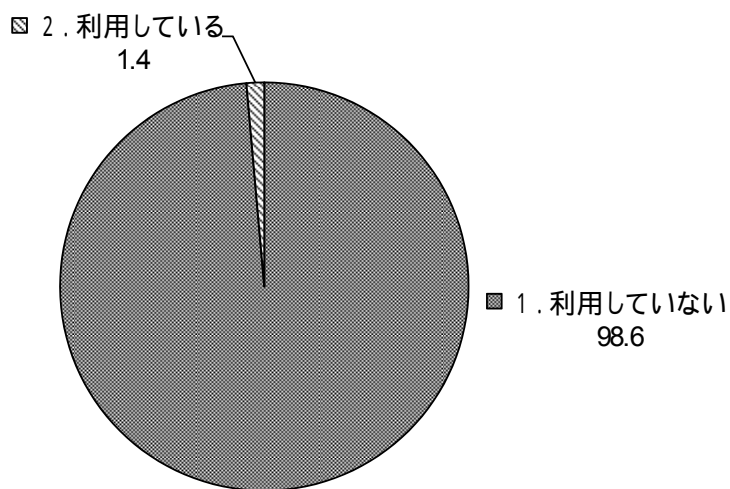
利用状況

(1)平日の放課後【N=772】



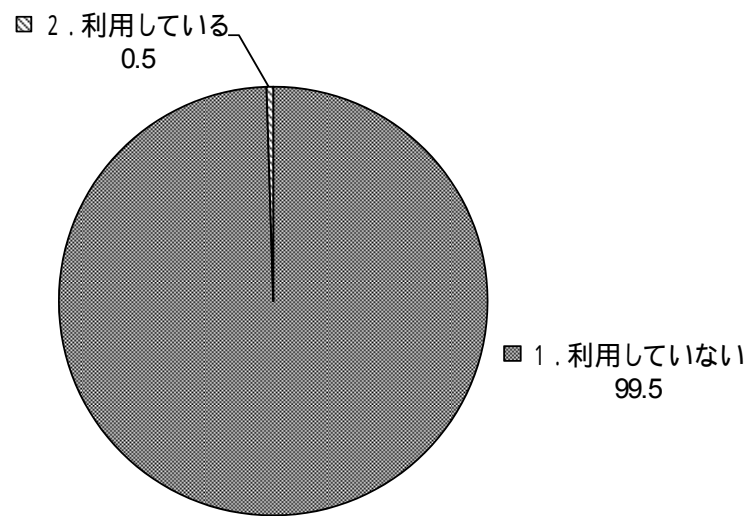
【時間については、今回の資料では省略します】

(2)土曜日【N=770】



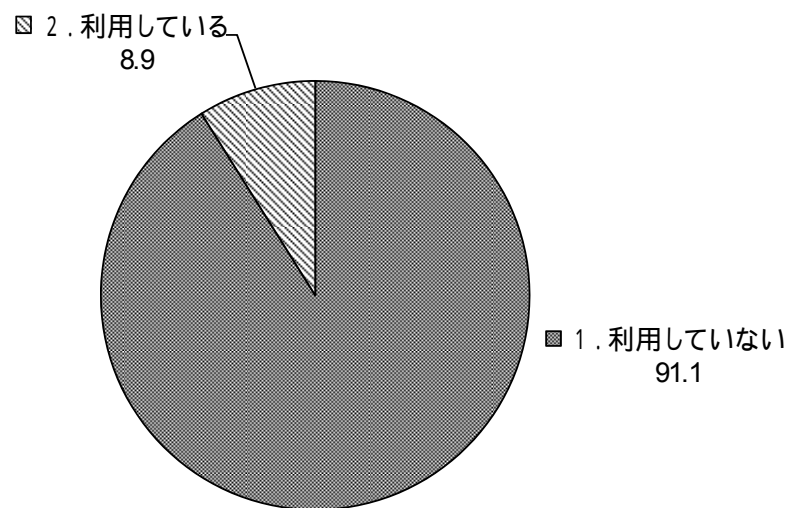
【時間については、今回の資料では省略します】

(3)日曜・祝日【N=769】



【時間については、今回の資料では省略します】

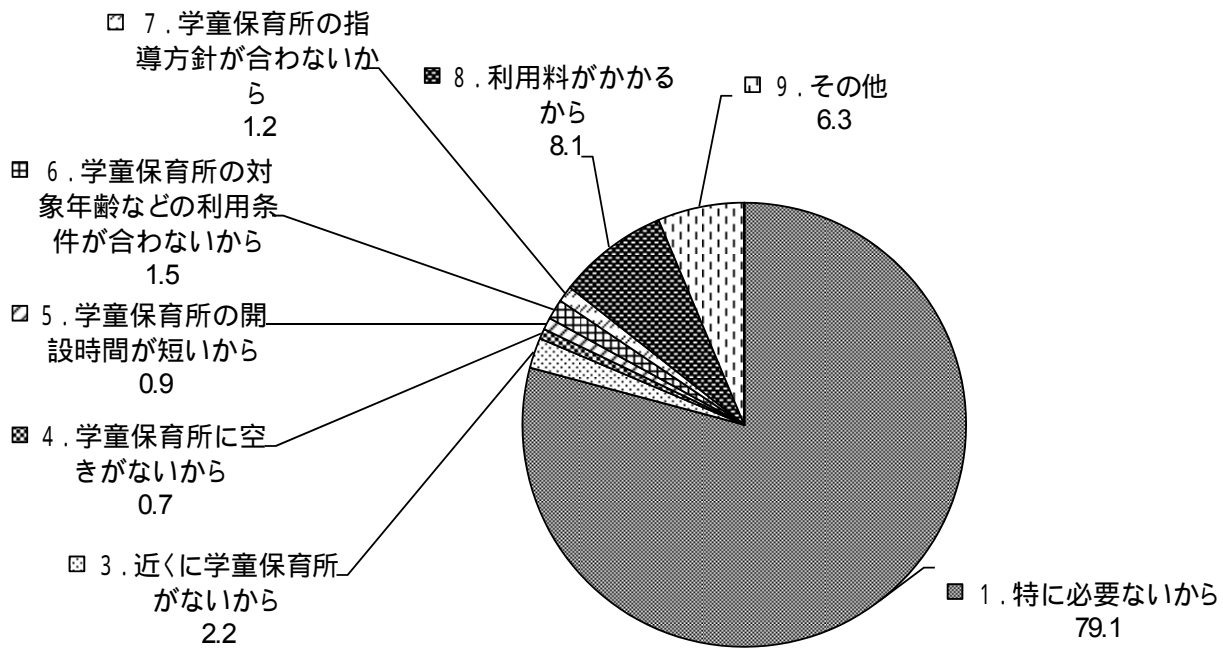
(4)長期休暇期間中（夏休みや冬休みなど）【N=772】



【時間については、今回の資料では省略します】

問 18 放課後児童クラブ(学童保育所)を利用していない方(問 17 の(1)~(4)でいずれも「1.利用していない」に を付けた方)にうかがいます。
 利用していない理由は何ですか。(はひとつ)【N=681】

放課後児童クラブ(学童保育所)を利用していない理由は、「特に必要ないから」が79.1%を占めています。
 一方、「近くに学童保育所がないから」(2.2%)や「学童保育所の対象年齢などの利用条件が合わないから」(1.5%・10人)、「学童保育所の指導方針が合わないから」(1.2%・8人)、「学童保育所の開設時間が短いから」(0.9%・6人)、「学童保育所に空きがないから」(0.7%・5人)など、内容や条件等によって利用していないと思われる方が合わせて6.5%となっています。

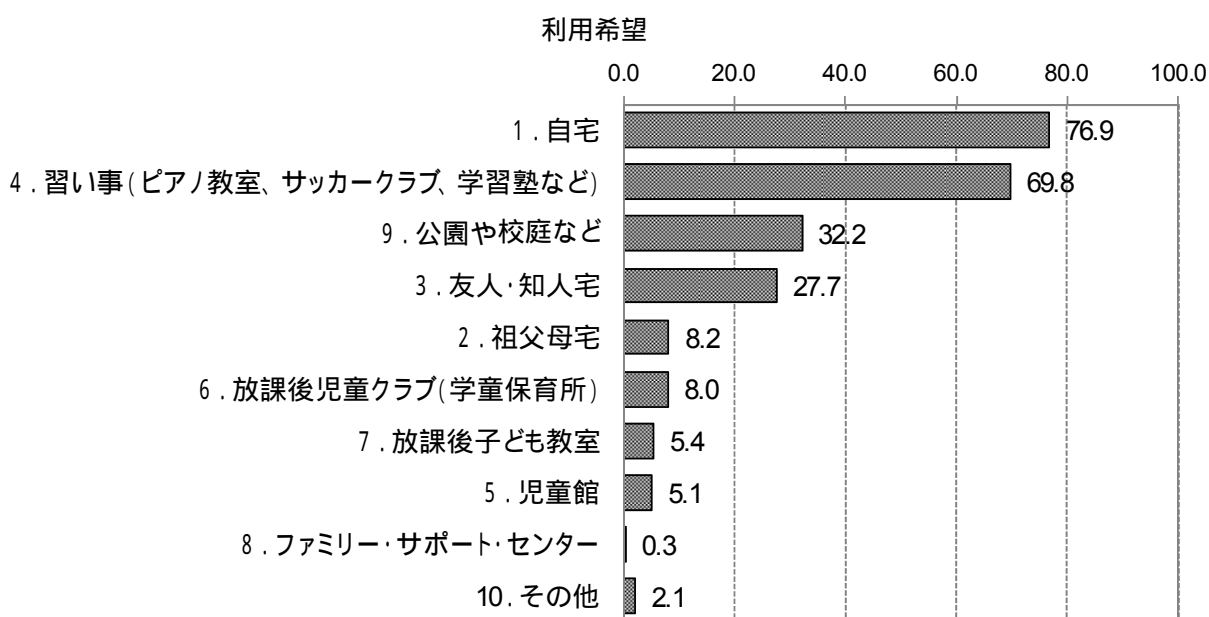


あて名のお子さんの「今後の」放課後の過ごし方の希望についてうかがいます

問 19 あて名のお子さんについて、今後、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに、日数を数字で記入）【N=792】

今後、どのような場所で放課後を過ごさせたいかについては、「自宅」が76.9%で最も多く、次いで、「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」（69.8%）、「公園や校庭など」（32.2%）、「友人・知人宅」（27.7%）と続いています。

一方、「放課後児童クラブ」は8.0%、「放課後子ども教室」は5.4%、「児童館」は5.1%、「ファミリー・サポート・センター」は0.3%（2人）となっています。



【日数については、今回の資料では省略します】

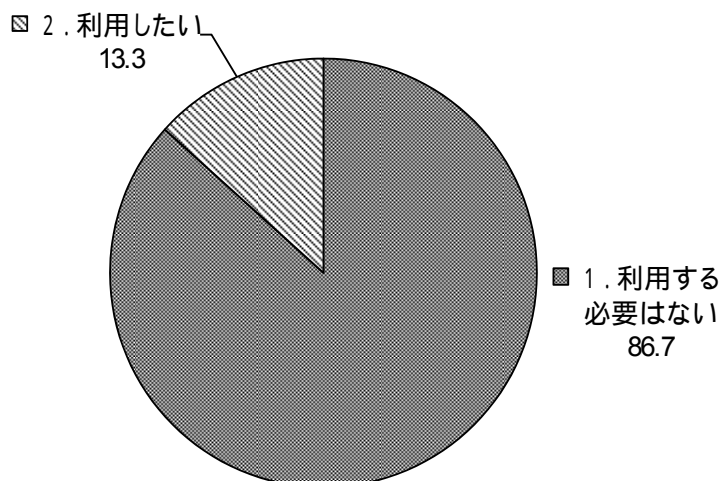
問 20 現在、利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんについて、今後、放課後児童クラブ（学童保育所）を利用したいと思いますか。（はひとつずつ、時間を数字で記入）

今後の放課後児童クラブの利用希望は、平日の放課後が 13.3%、土曜日が 4.2%、日曜・祝日が 1.8%、長期休暇期間中が 21.3%となっており、現在の利用状況と同様、長期休暇期間中の利用希望が多くなっています。

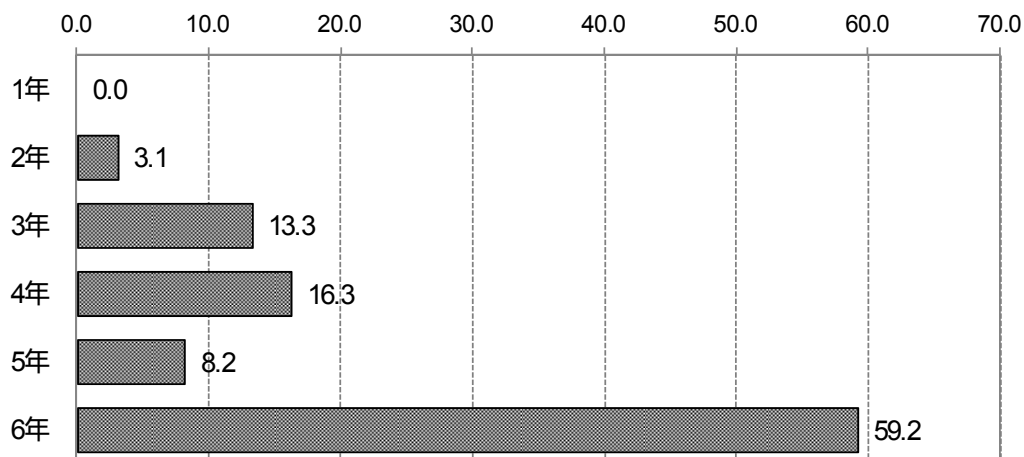
利用したい場合、何年生まで利用したいかについては、平日の放課後、土曜日、日曜・祝日、長期休暇期間中のいずれも「6年生」まで利用したい方が最も多く、約 60～70 に上ります。

利用希望

(1)平日の放課後【N=768】

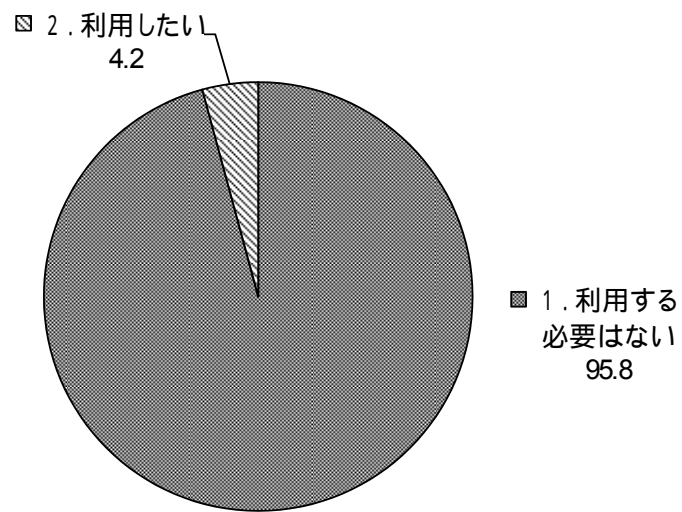


- 学年【N=98】

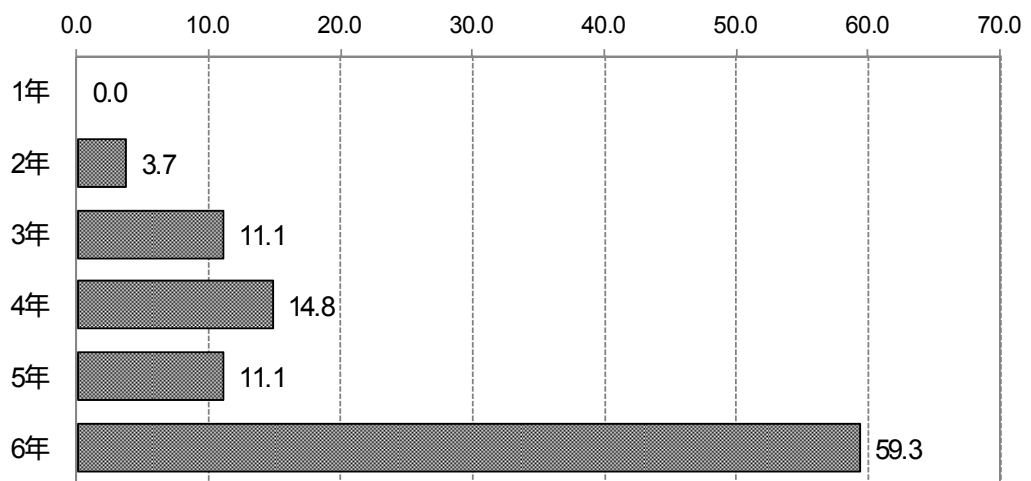


【時間については、今回の資料では省略します】

(2)土曜日【N=762】

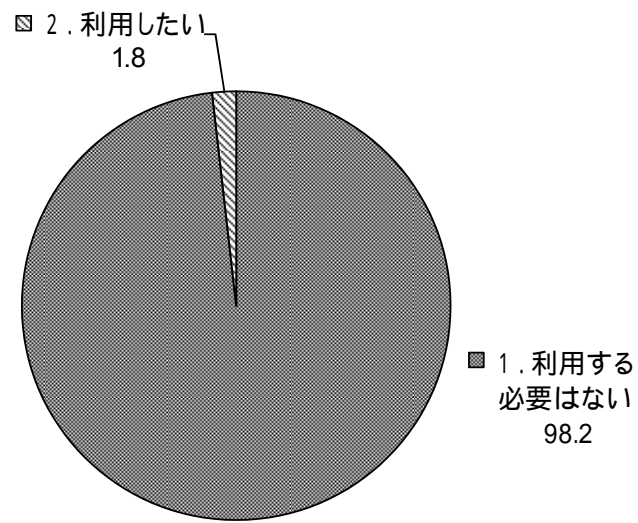


- 学年【N=27】

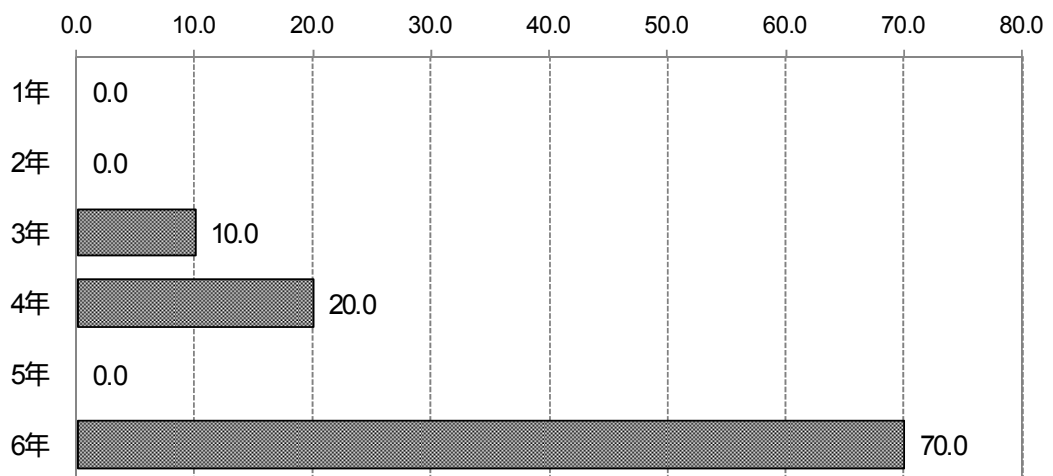


【時間については、今回の資料では省略します】

(3)日曜・祝日【N=757】

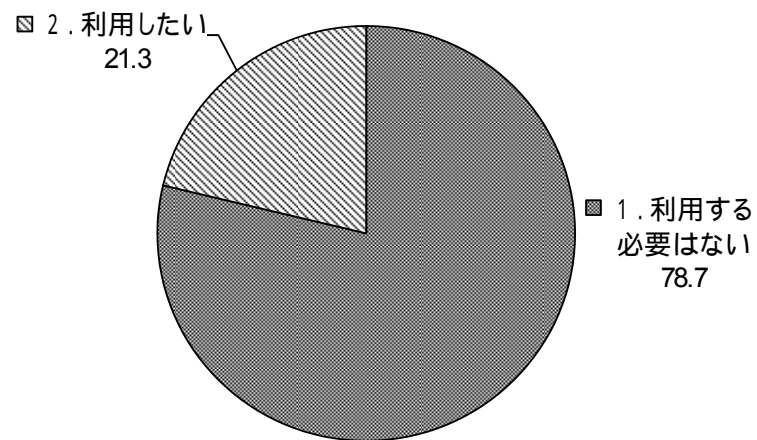


- 学年【N=10】

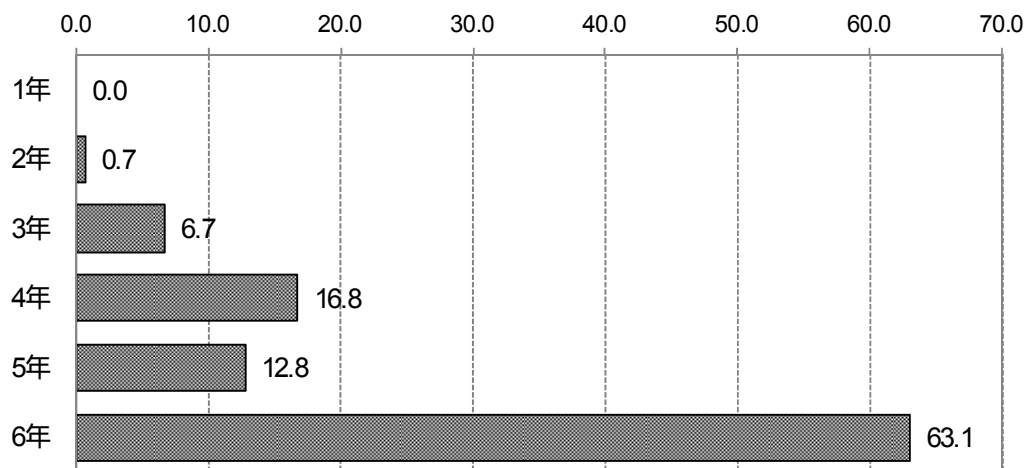


【時間については、今回の資料では省略します】

(4)長期休暇期間中（夏休みや冬休みなど）【N=774】



- 学年【N=149】

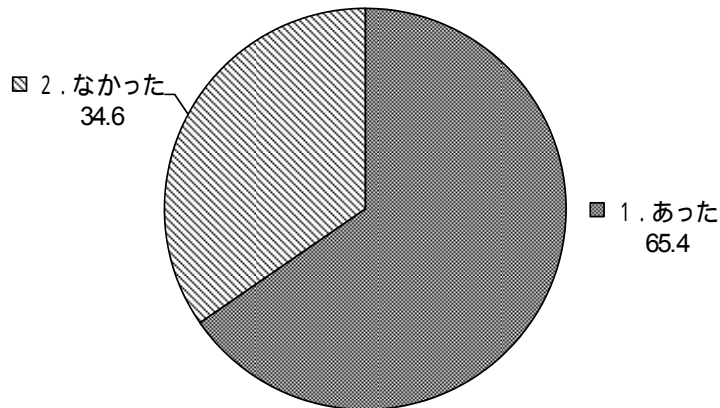


【時間については、今回の資料では省略します】

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます

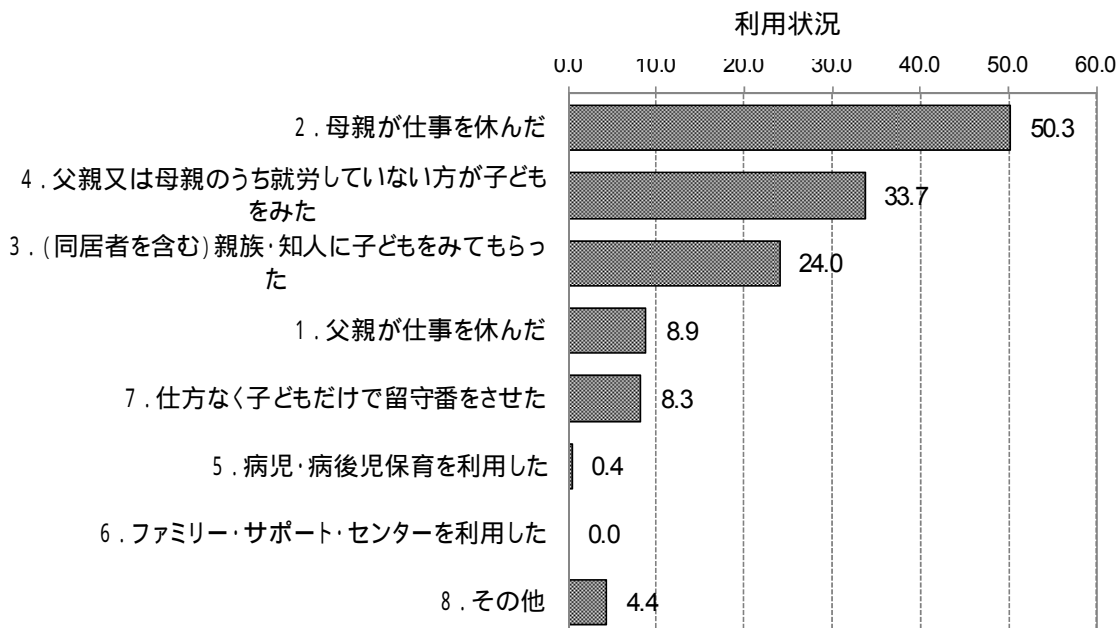
問 21 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかったことはありましたか。(はひとつ)【N=795】

お子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかったことが「あった」方は65.4%、「なかった」方は34.6%となっています。



問 21 - 問 21 で「1. あった」に つけた方にうかがいます。
あて名のお子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかった場合に、この1年間に行った対処方法は何か。(あてはまるものすべてに、日数を数字で記入)【N=517】

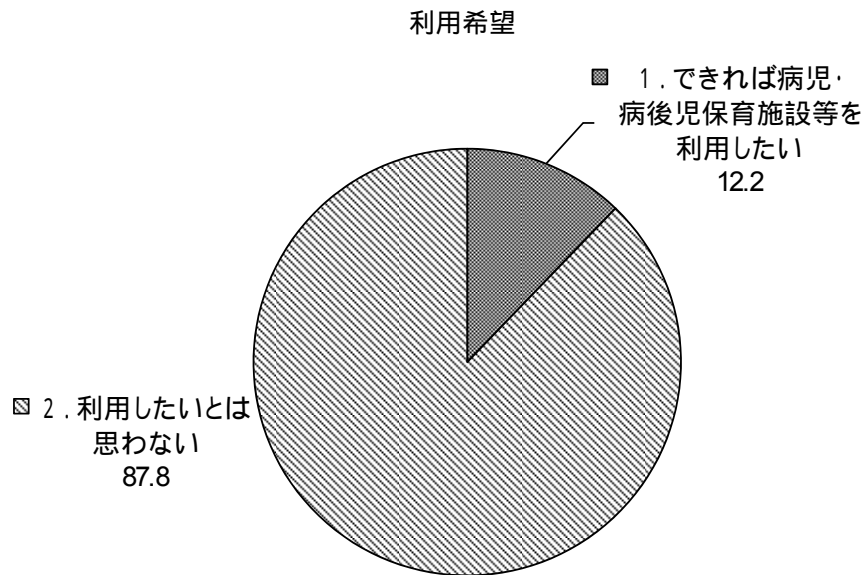
お子さんが病気やけがで小学校を休まなければならなかった場合の対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が50.3%で最も多く、次いで、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」(33.7%)、「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(24.0%)と続いています。



【日数については、今回の資料では省略します】

問 21 - 問 21 - で「1. 父親が仕事を休んだ」、「2. 母親が仕事を休んだ」につけた方にうかがいます。
その際、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。（どちらかに、日数を数字で記入）【N=271】

仕事を休んだ際に「できれば病児・病後時保育施設等を利用したい」方は 12.2%となっており、「利用したいとは思わなかった」方が 87.8%を占めています。

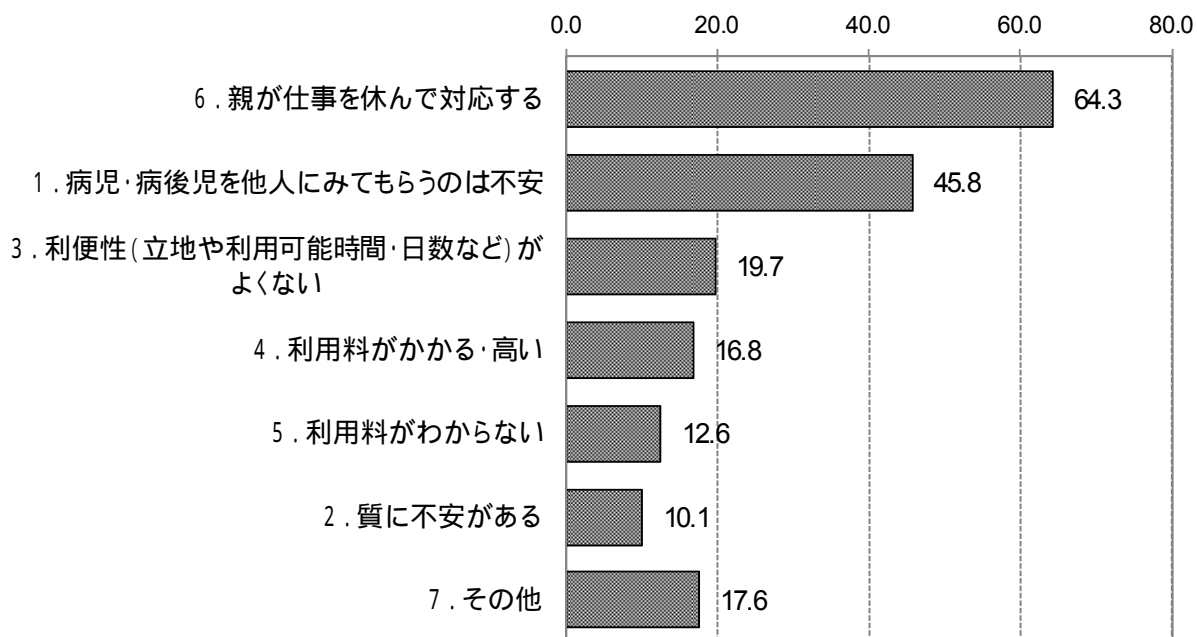


【日数については、今回の資料では省略します】

問 21 - 問 21 - で「2. 利用したいとは思わない」に つけた方にうかがいます。

そう思われる理由は何ですか。（あてはまるものすべてに ）【N=238】

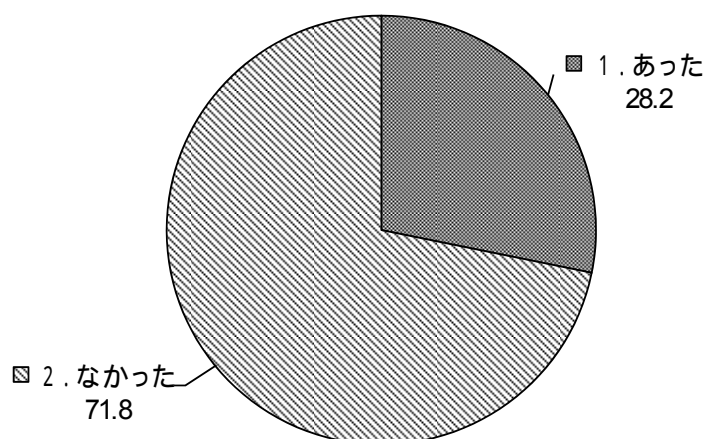
病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由は、「親が仕事を休んで対応する」が64.3%で最も多く、次いで、「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」(45.8%)、「利便性(立地や利用可能時間・日数など)がよくない」(19.7%)と続いています。



あて名のお子さんの不定期の預かり等の利用について うかがいます

問 22 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）や学級閉鎖などにより、あて名のお子さんを家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。（どちらかに ）【N=797】

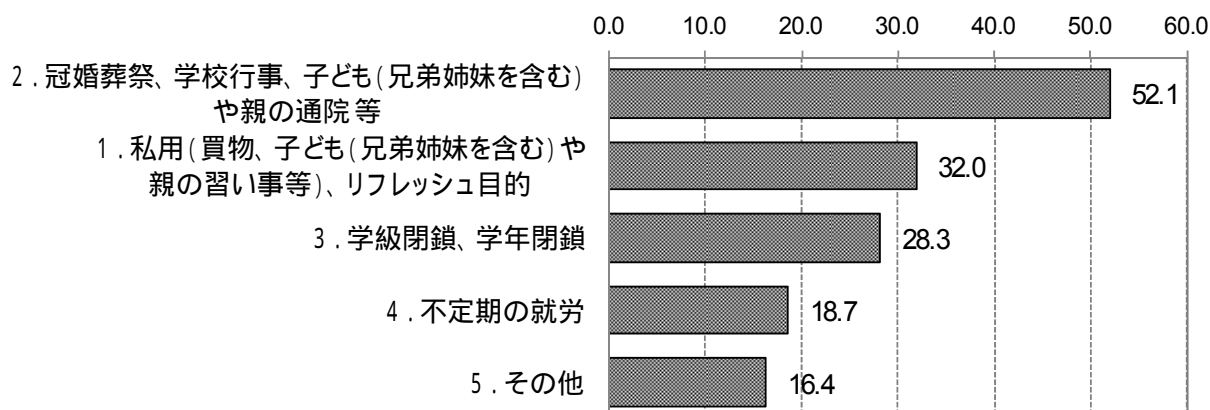
保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）や学級閉鎖などにより、お子さんを家族以外にみてもらわなければならないことが「あった」方は28.2%となっており、「なかった」方は71.8%を占めています。



問 22 - ~ は問 22 で「1. あった」に つけた方についてうかがいます。

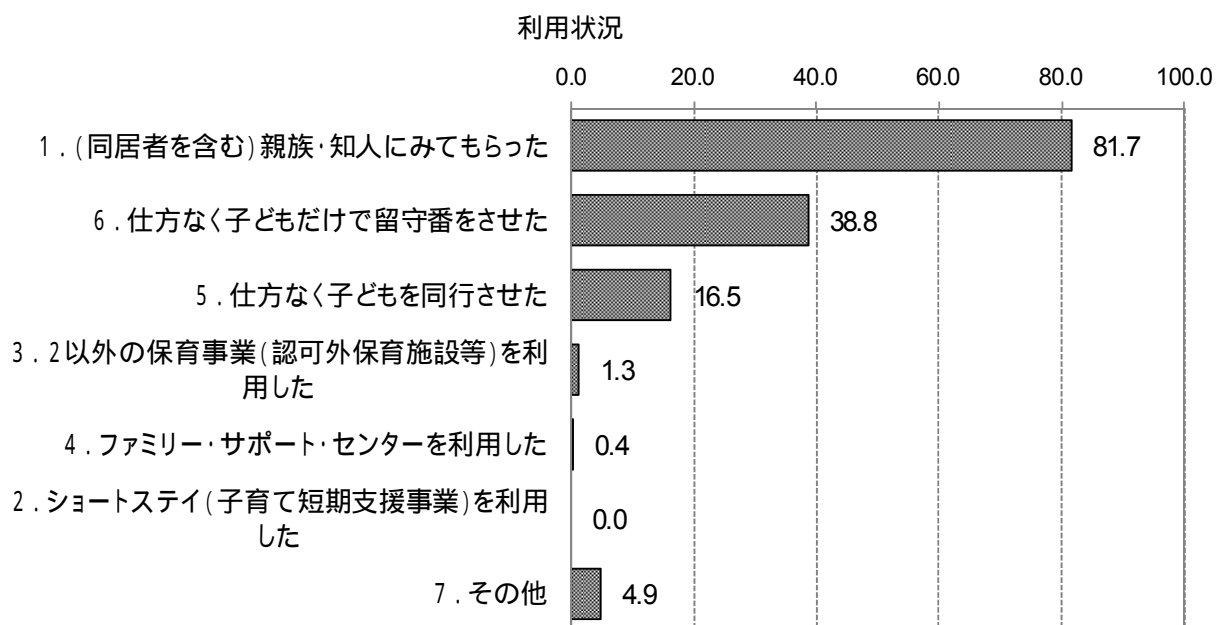
問 22 - あて名のお子さんを家族以外にみてもらったのは、どのような場合でしたか。（あてはまるものすべてに ）【N=219】

不定期で事業を利用する場合、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」で事業を利用したい方が52.1%で最も多く、「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」で事業を利用したい方が32.0%、「学級閉鎖、学年閉鎖」で事業を利用したい方が28.3%、「不定期の就労」で事業を利用したい方が18.7%で続いています。



問 22 - この1年間に行った対処方法は何ですか。(あてはまるものすべてに、日数を数字で記入)【N=224】

この1年間に行った対処方法は、「(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」が81.7%で最も多くなっており、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が38.8%、「仕方なく子どもを同行させた」が16.5%となっています。また、「認可外保育施設等を利用した」は1.3%(3人)、「ファミリー・サポート・センターを利用した」は0.4%(1人)となっており、「ショートステイ(子育て短期支援事業)」の利用者はありませんでした。

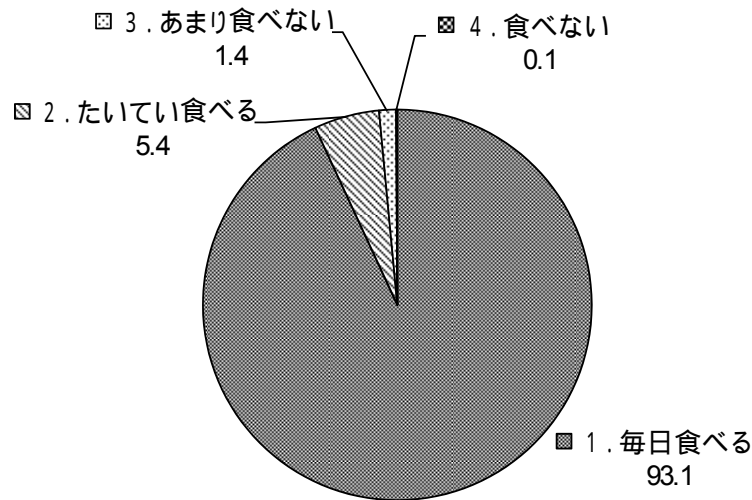


【日数については、今回の資料では省略します】

あて名のお子さんの生活習慣についてうかがいます

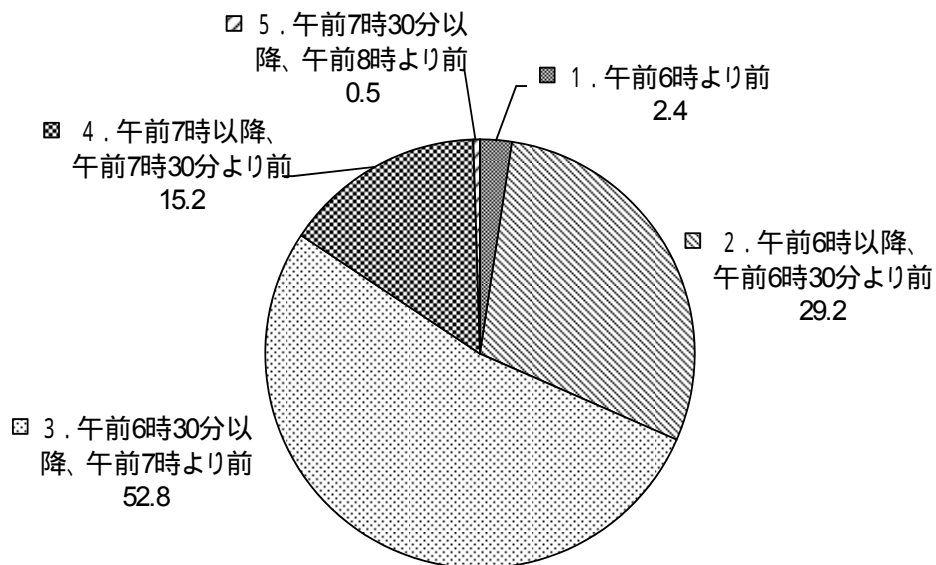
問 23 あて名のお子さんは、朝食を毎日食べますか。(はひとつ)【N=798】

朝食を「毎日食べる」お子さんが 93.1%を占めています。
一方、「あまり食べない」お子さんは 1.4%、「食べない」お子さんは 0.1% (1人) となっています。



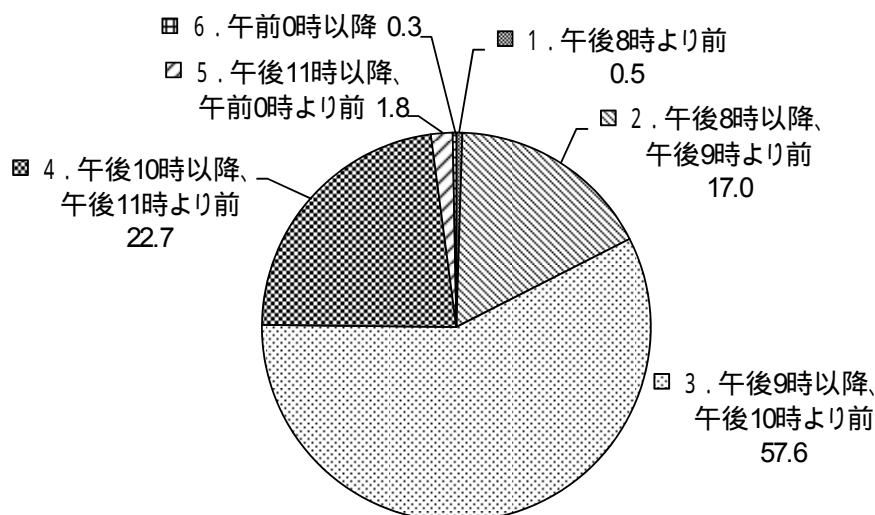
問 24 あて名のお子さんは、ふだん (月～金曜日)、何時頃に起きますか。(はひとつ)【N=798】

お子さんのふだんの起床時間は、「午前 6 時 30 分以降、午前 7 時より前」が 52.8%で最も多く、「午前 6 時以降、午前 6 時 30 分より前」が 29.2%、「午前 7 時以降、午前 7 時 30 分より前」が 15.2%となっています。



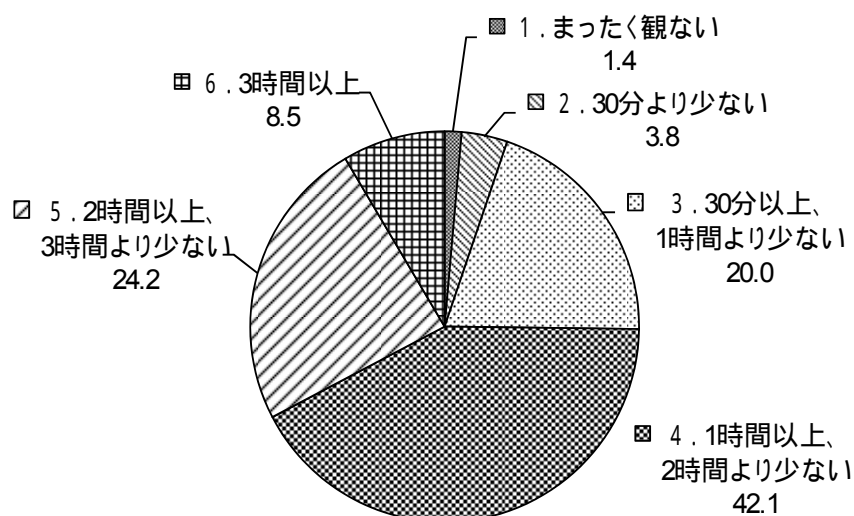
問 25 あて名のお子さんは、ふだん(月～金曜日)、何時頃に寝ますか。(はひとつ)
【N=799】

お子さんのふだんの就寝時間は、「午後9時以降、午後10時より前」が57.6%で最も多く、「午後10時以降、午後11時より前」が22.7%、「午後8時以降、午後9時より前」が17.0%となっています。



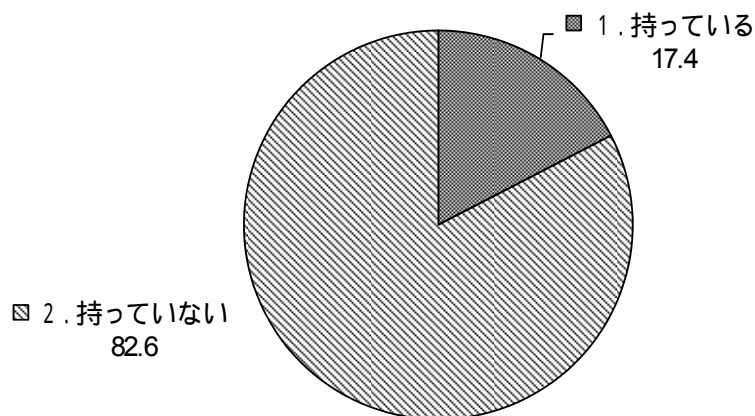
問 26 あて名のお子さんは、ふだん(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを観ていますか。(はひとつ)【N=796】

ふだん、テレビ等をどれくらいの時間観ているかについては、「1時間以上、2時間より少ない」が42.1%で最も多く、「2時間以上、3時間より少ない」は24.2%、「30分以上、1時間より少ない」は20.0%となっています。



問 27 あて名のお子さんは、インターネットに接続できる自分用の携帯電話・スマートフォン・パソコン等を持っていますか。(どちらかに)【N=791】

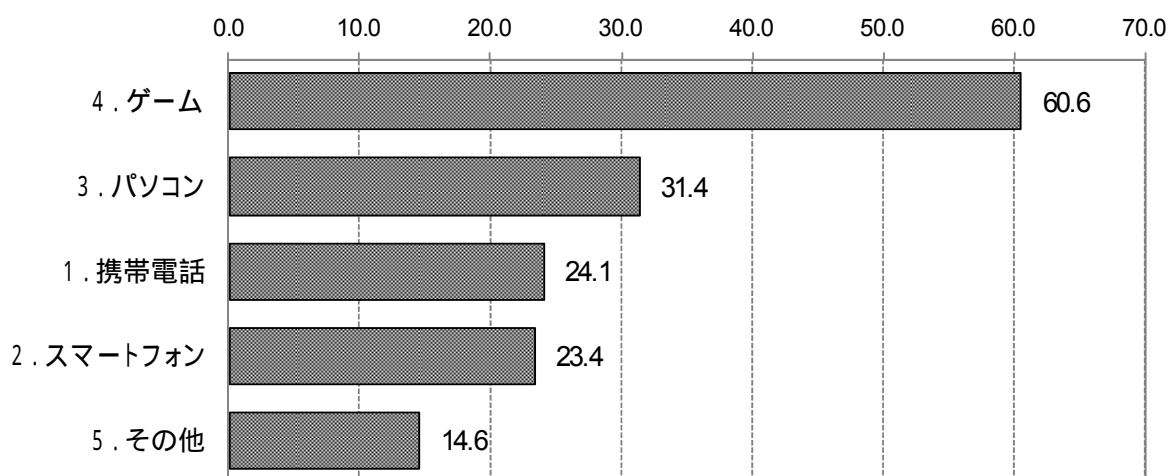
インターネットに接続できる自分用の携帯電話・スマートフォン・パソコン等を持っているかどうかについては、「もっている」が 7.4%となっており、「持っていない」が 82.6%を占めています。



問 27 - ~ は問 27 で「1. 持っている」に をつけた方にうかがいます。

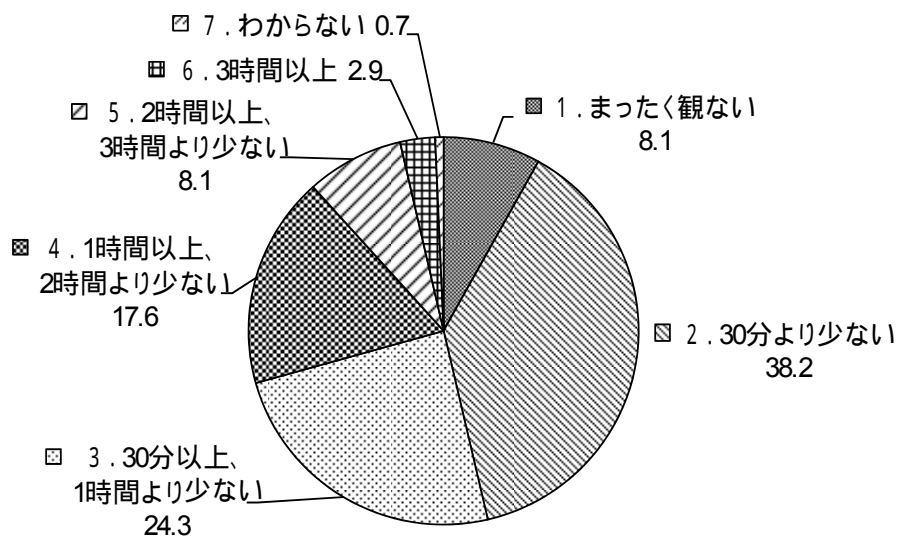
問 27 - インターネットに接続できる機器すべてに をつけてください。(あてはまるものすべてに)【N=137】

持っているインターネットに接続できる機器は、「ゲーム」が 60.6%で最も多く、「パソコン」が 31.4%、「携帯電話」が 24.1%、「スマートフォン」が 23.4%となっています。



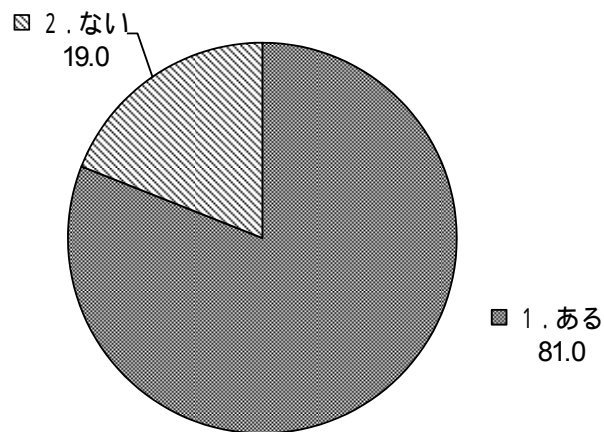
問 27 - お子さんは、ふだん（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話・スマートフォン・パソコン等を利用して、インターネットやメール等をしていますか。（ はひとつ）【N=136】

1日当たり、携帯電話・スマートフォン・パソコン等をどれくらいの時間利用しているかについては、「30分より少ない」が38.2%で最も多く、「30分以上、1時間より少ない」が24.3%、「1時間以上、2時間より少ない」が17.6%となっています。
なかには、「3時間以上」と回答した方も2.9%（4人）います。



問 27 - 使い方について、家で約束（ルール）がありますか。（ はひとつ）
【N=137】

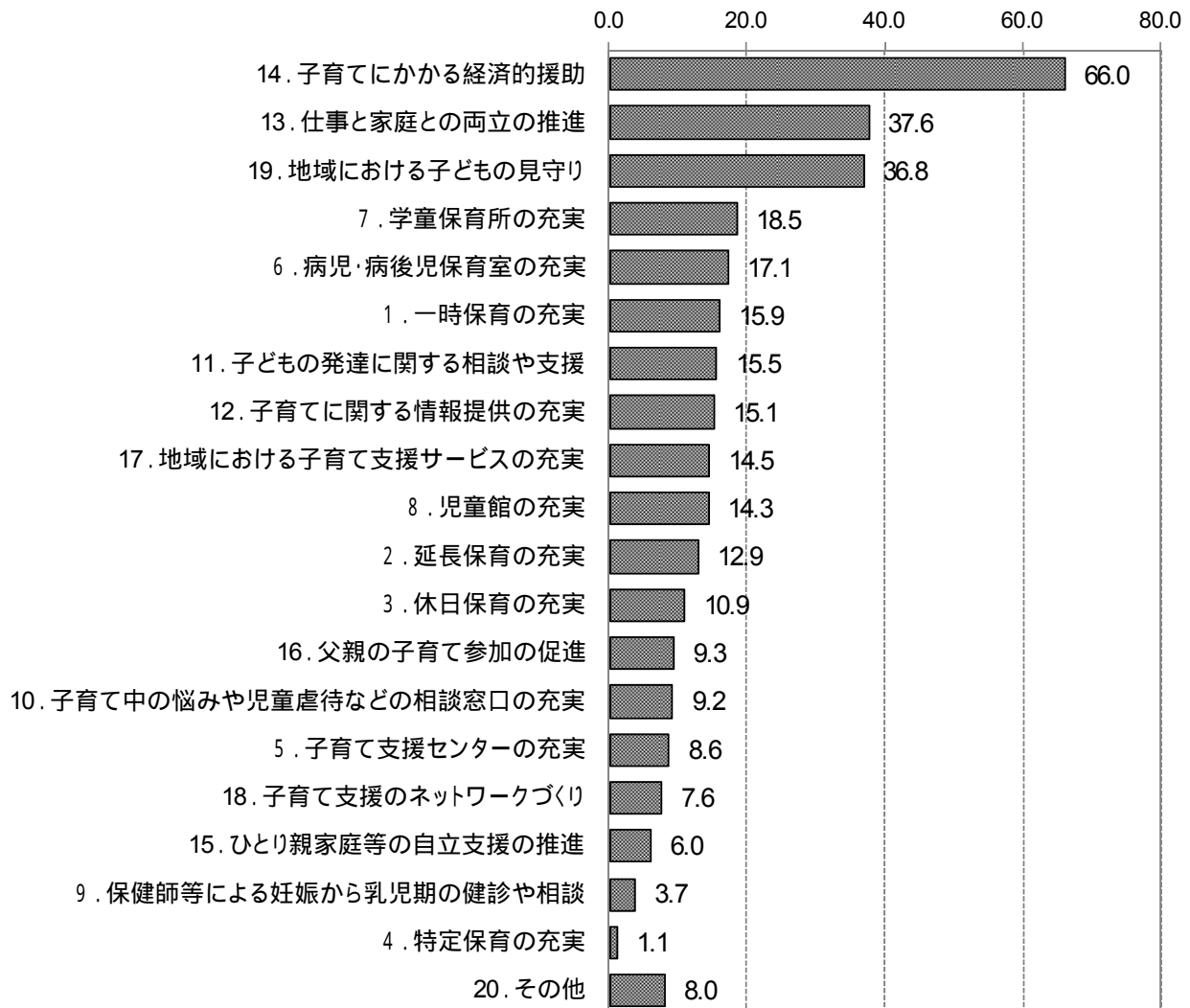
使い方についての約束(ルール)が「ある」方は81.0%を占めており、「ない」方は19.0%となっています。



子育て全般についてうかがいます

問 28 安心して子どもを産み育てるうえで、今後、市に期待する施策は何ですか。(は5つまで)【N=753】

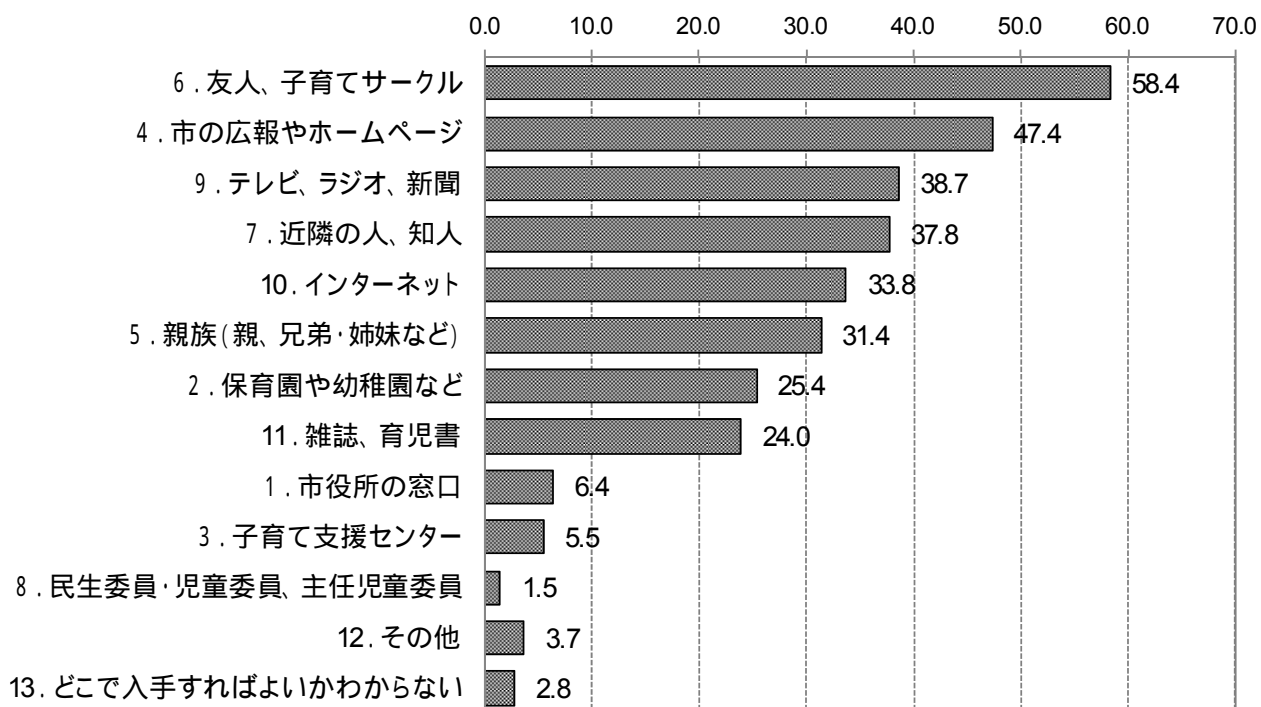
今後、市に期待する施策は、「子育てにかかる経済的援助」が66.0%で最も多く、次いで、「仕事と家庭生活との両立の推進」(37.6%)、「地域における子どもの見守り」(36.8%)が続いています。



問 29 子育てに関する情報をどのように入手していますか。(あてはまるものすべてに)【N=783】

子育てに関する情報の入手方法は、「友人、子育てサークル」が58.4%で最も多く、「市の広報やホームページ」が47.4%、「テレビ、ラジオ、新聞」が38.7%、「近隣の人、知人」が37.8%が続いています。

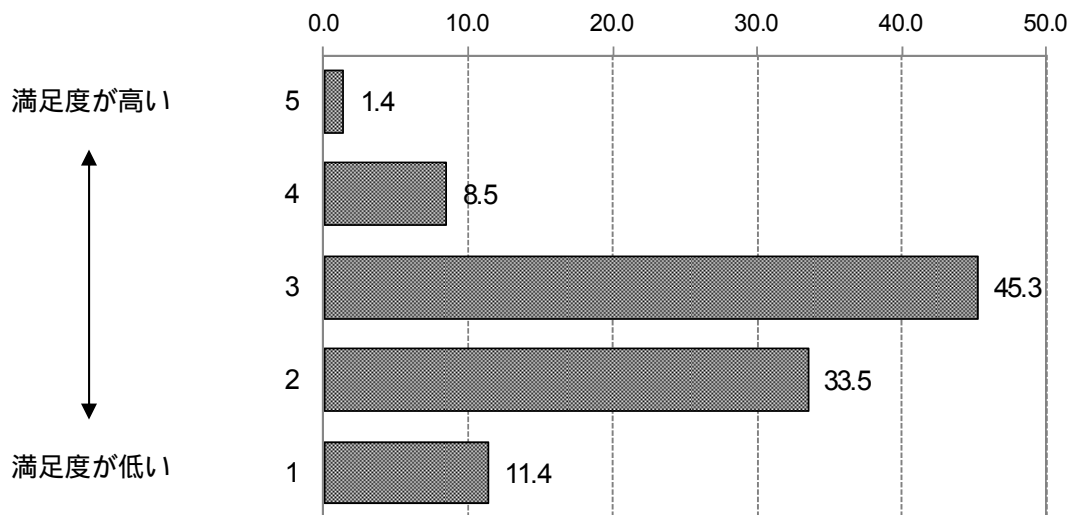
一方、「どこで入手すればよいかわからない」方は2.8%になります。



問 30 四日市市における子育ての環境や支援への満足度について、当てはまる番号1つに をつけてください。(はひとつ)【N=780】

四日市市における子育ての環境や支援への満足度は、満足と不満の中間の「3」を選んだ方が45.3%で最も多くなっています。

満足度の低い「1」や「2」を選んだ方は合わせて44.9%で、満足度の高い「5」や「4」を選んだ方(9.9%)を大きく上回っています。



問 31 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。(自由記述)

【今回の資料では省略します】